

V 大人調査結果

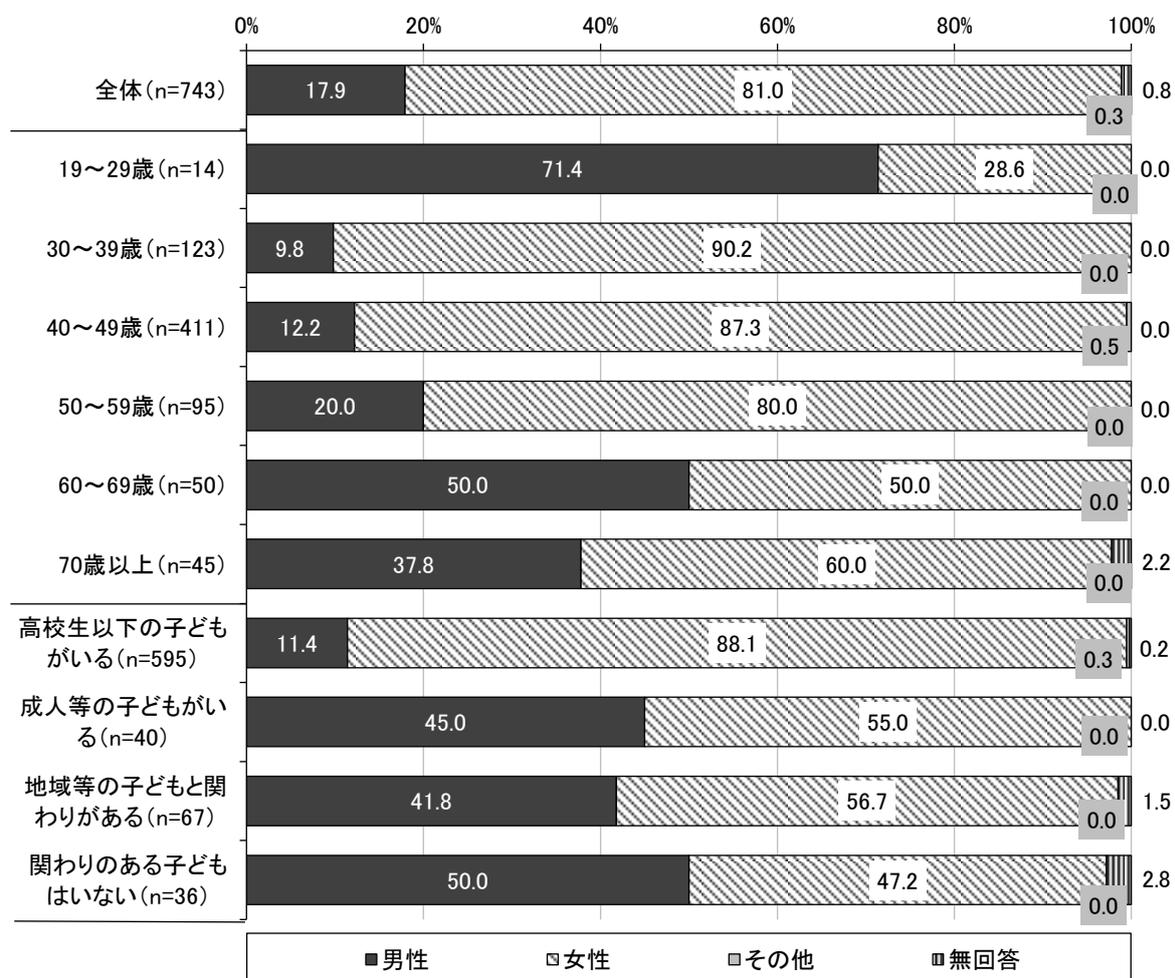
1 あなた自身についておたずねします

問1 あなたの性別について、教えてください。(○は1つ)

性別については、「女性」が81.0%と、「男性」の17.9%を上回っています。

年齢別にみると、30～69歳で年齢が上がるにつれて「男性」の割合が高く、60～69歳では「男性」と「女性」がいずれも50.0%となっています。

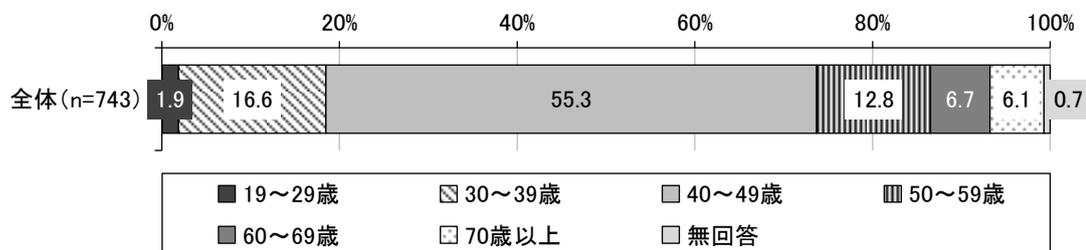
関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】では「男性」が50.0%と、「女性」を上回っています。また、【高校生以下の子どもがいる】では「女性」が88.1%と、特に多くなっています。



問2 あなたの年齢（令和4年10月1日現在）について、教えてください。

（○は1つ）

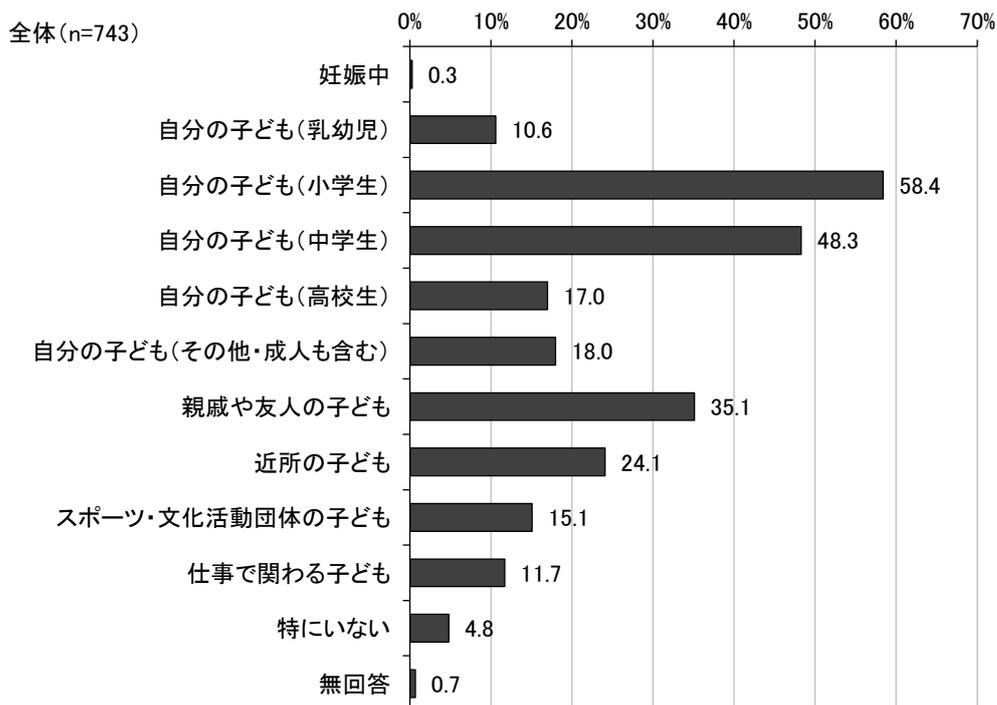
年齢については、「40～49歳」が55.3%と最も多く、次いで「30～39歳」が16.6%、「50～59歳」が12.8%となっています。



2 子どもの状況についておたずねします

問3 あなたには、お子さんや身近に関わりのある子どもがいますか。(○はいくつでも)

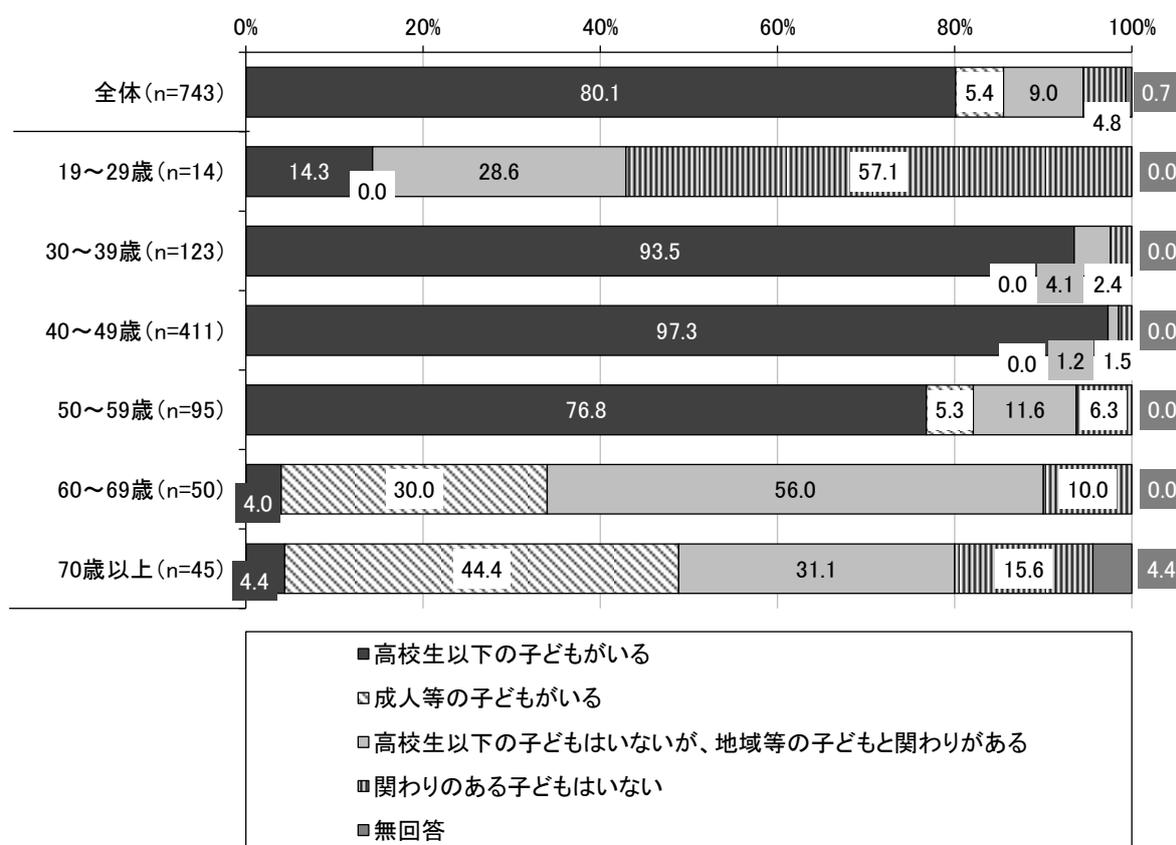
身近に関わりのある子どもがいるかについては、「自分の子ども(小学生)」が58.4%と最も多く、次いで「自分の子ども(中学生)」が48.3%、「親戚や友人の子ども」が35.1%となっています。



★関わりのある子どもについて、教えてください。(○は1つ)

関わりのある子どもについては、「高校生以下の子どもがいる」が80.1%と最も多く、次いで「高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある」が9.0%、「成人等の子どもがいる」が5.4%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「高校生以下の子どもがいる」が7割半ばを超えて、特に多くなっています。また、60～69歳では「高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある」が、70歳以上では「成人等の子どもがいる」が最も多くなっています。



【関わりのある子どもの定義】 問3

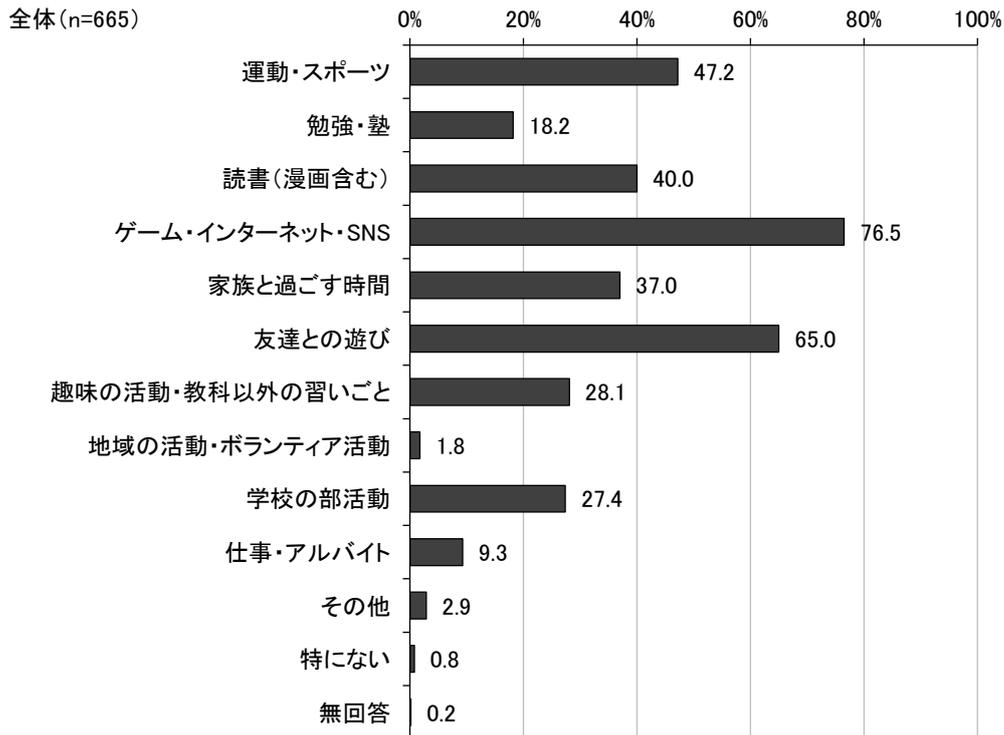
- 高校生以下の子どもがいる
⇒「自分の子ども（乳幼児）」・「自分の子ども（小学生）」・「自分の子ども（中学生）」・「自分の子ども（高校生）」のいずれかを選択した方
- 成人等の子どもがいる
⇒「自分の子ども（その他・成人も含む）」を選択した方
- 高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある
⇒「自分の子ども（乳幼児）」～「自分の子ども（高校生）」を未選択で、「親戚や友人の子ども」・「近所の子ども」・「スポーツ・文化活動団体の子ども」・「仕事で関わる子ども」のいずれかを選択
- 関わりのある子どもはいない
⇒「特にいない」を選択

【問3で「2」「3」「4」「5」「6」のいずれか（自分の子どもがいる）を選択した方のみ】

問3-1 あなたのお子さんが、夢中になれることは何ですか。（○はいくつでも）

お子さんが夢中になれることについては、「ゲーム・インターネット・SNS」が76.5%と最も多く、次いで「友達との遊び」が65.0%、「運動・スポーツ」が47.2%となっています。

年齢別にみると、70歳以上では「仕事・アルバイト」が最も多くなっています。



■クロス集計 年齢別

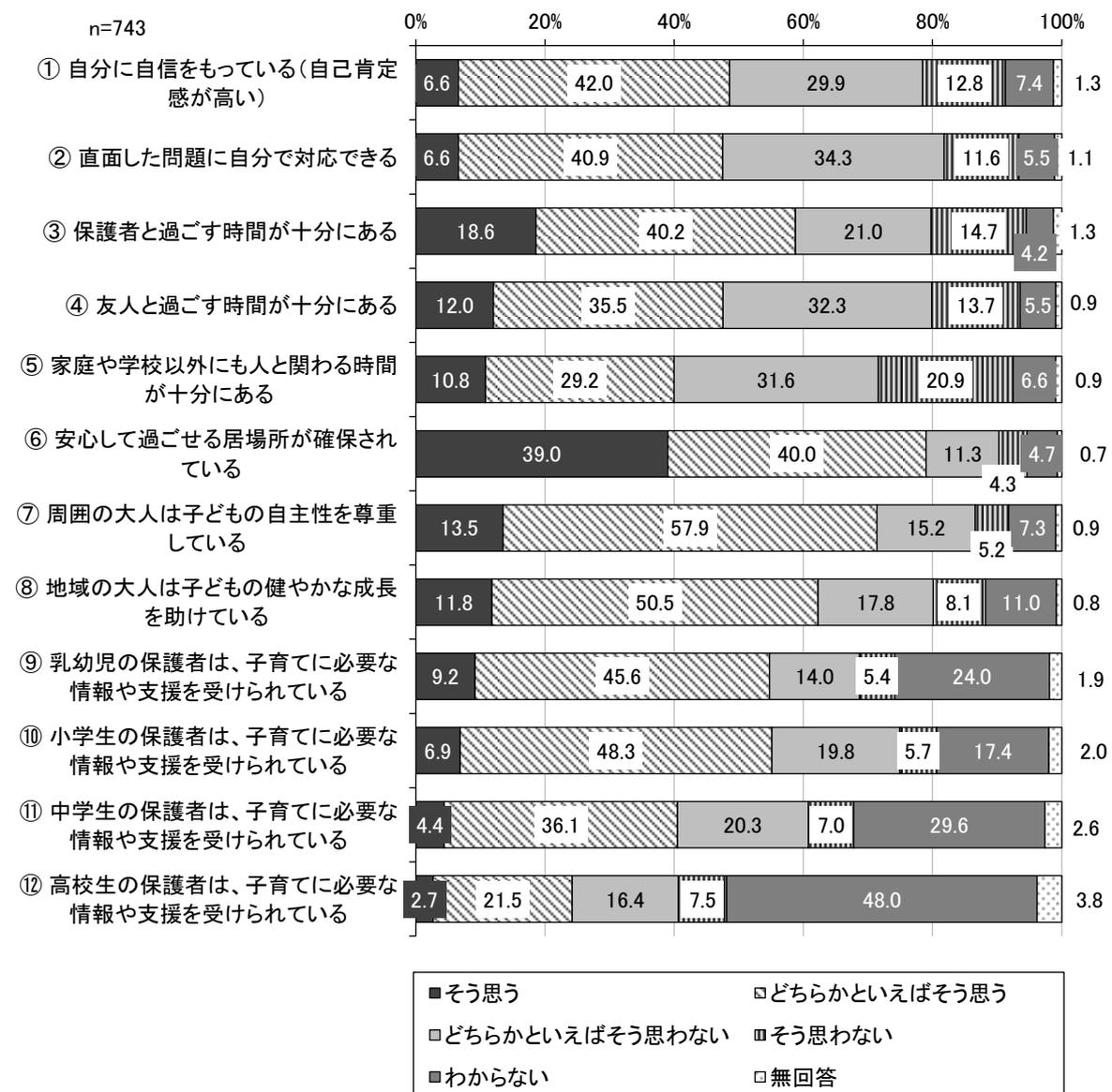
単位: %		運動・スポーツ	勉強・塾	読書(漫画含む)	ゲーム・インターネット・SNS	家族と過ごす時間	友達との遊び	趣味の活動・教科以外の習いごと	地域の活動・ボランティア活動	学校の部活動	仕事・アルバイト	その他	特にない	無回答
年齢別	19~29歳 (n=2)	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30~39歳 (n=115)	50.4	16.5	44.3	80.9	48.7	75.7	28.7	2.6	23.5	1.7	1.7	0.0	0.0
	40~49歳 (n=400)	52.3	20.3	43.3	82.5	38.0	69.8	30.0	1.5	30.8	4.0	3.0	0.0	0.0
	50~59歳 (n=82)	36.6	23.2	39.0	76.8	22.0	58.5	30.5	1.2	35.4	13.4	2.4	0.0	0.0
	60~69歳 (n=33)	33.3	3.0	15.2	48.5	36.4	33.3	12.1	6.1	6.1	42.4	6.1	3.0	0.0
	70歳以上 (n=32)	18.8	3.1	12.5	12.5	21.9	15.6	15.6	0.0	3.1	59.4	3.1	12.5	3.1

問4 あなたは、最近の子どもを取り巻く状況をどのように感じていますか。
(○はそれぞれ1つ)

最近の子どもを取り巻く状況をどのように感じているかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が、<⑥安心して過ごせる居場所が確保されている>と<⑦周囲の大人は子どもの自主性を尊重している>で7割台、<⑧地域の大人は子どもの健やかな成長を助けている>で6割台となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が<⑤家庭や学校以外にも人と関わる時間が十分にある>が5割台となっています。

また、「子育てに必要な情報や支援を受けられているか」という質問では、子どもの年齢が低くなるにしたがって、“そう思う”の割合が高くなる傾向にあります。

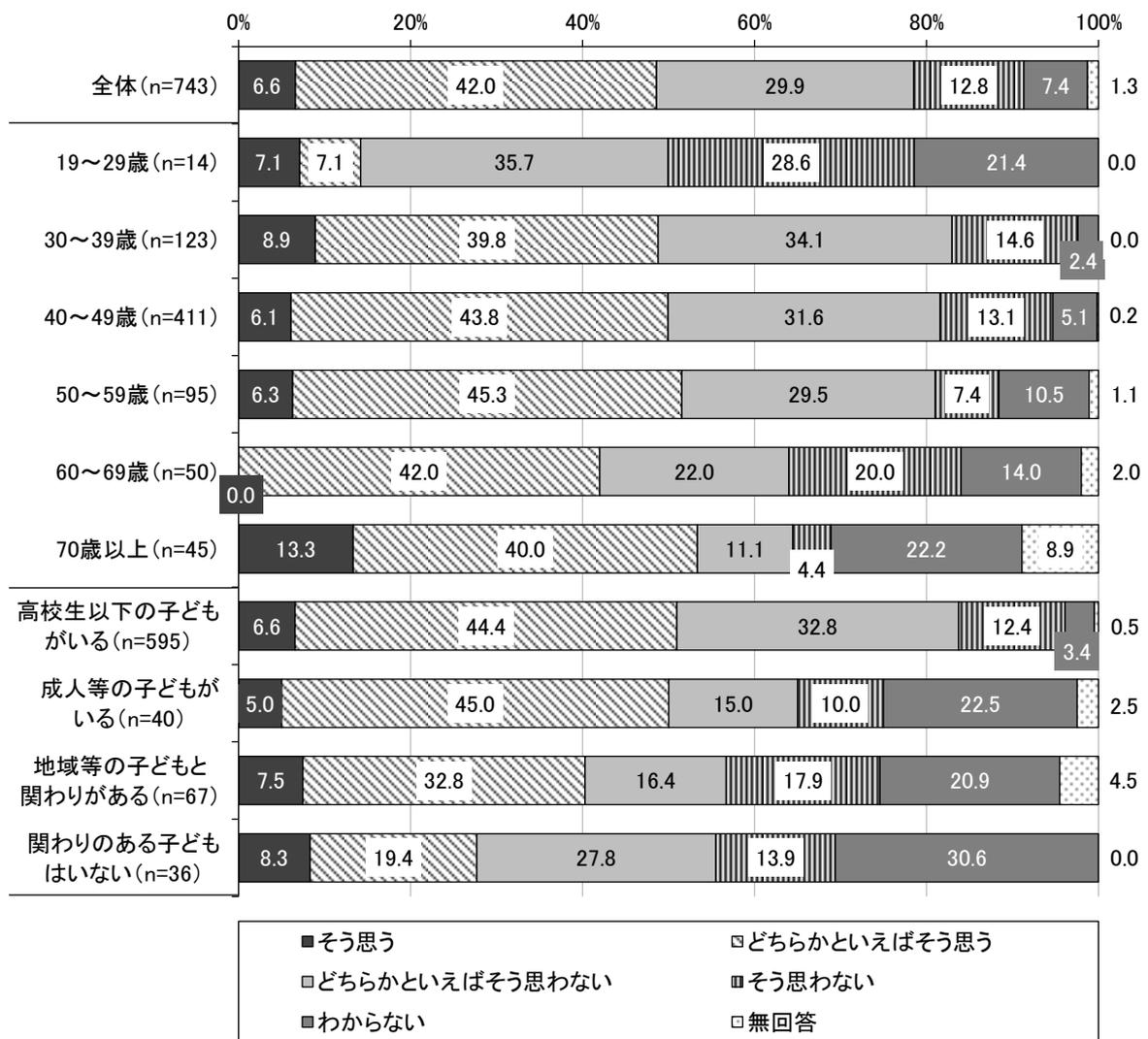


① 自分に自信をもっている（自己肯定感が高い）

自分に自信をもっている（自己肯定感が高い）については、「どちらかといえばそう思う」が42.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.9%となっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が48.6%と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の42.7%を5.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳と70歳以上で“そう思う”が5割前後と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【成人等の子どもがいる】で“そう思う”が5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

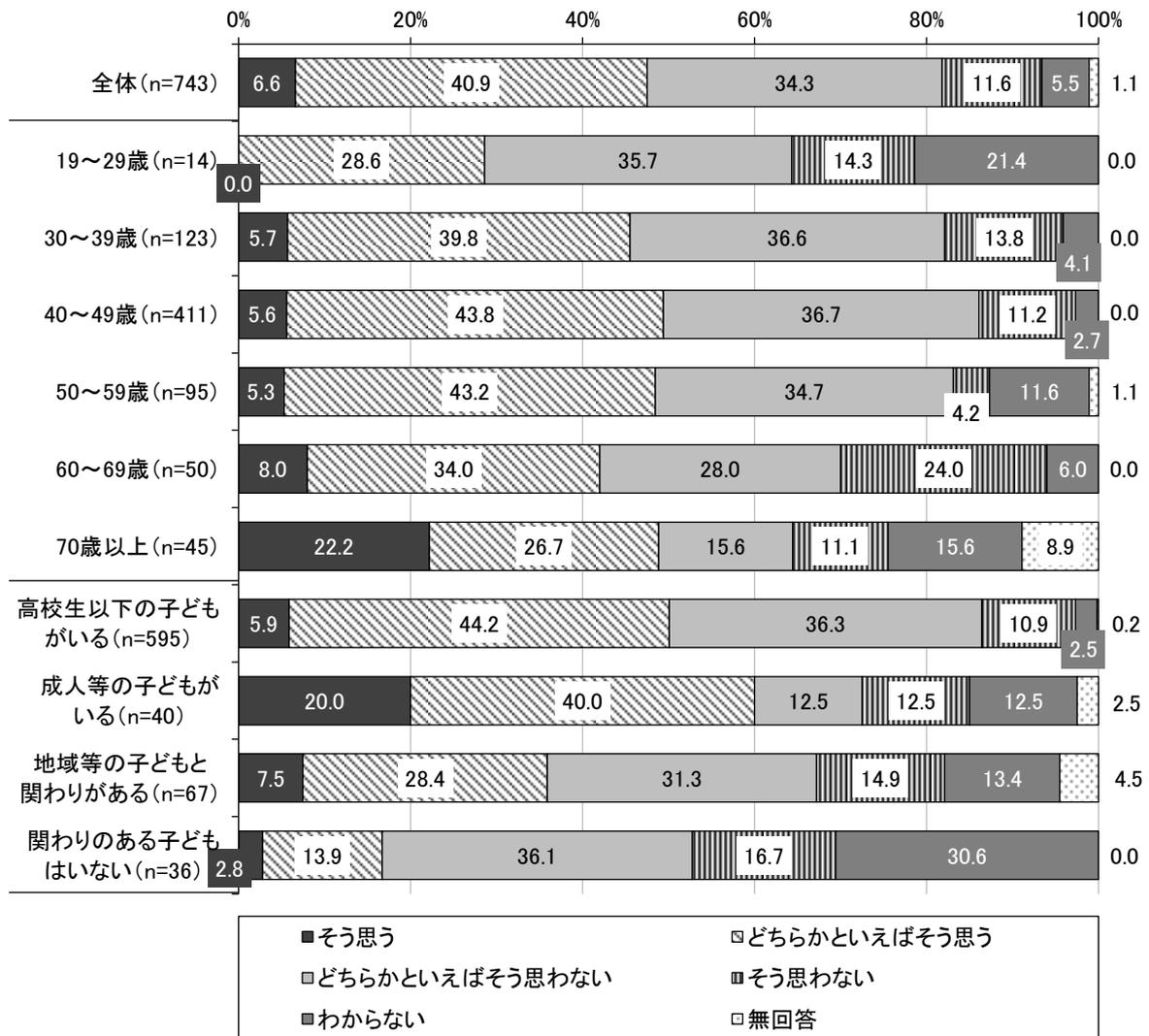


② 直面した問題に自分で対応できる

直面した問題に自分で対応できるかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が34.3%となっています。また、「そう思う」が47.5%、「そう思わない」が45.9%となっています。

年齢別にみると、70歳以上では「そう思う」が22.2%と2割を超え、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】では「そう思う」が6割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

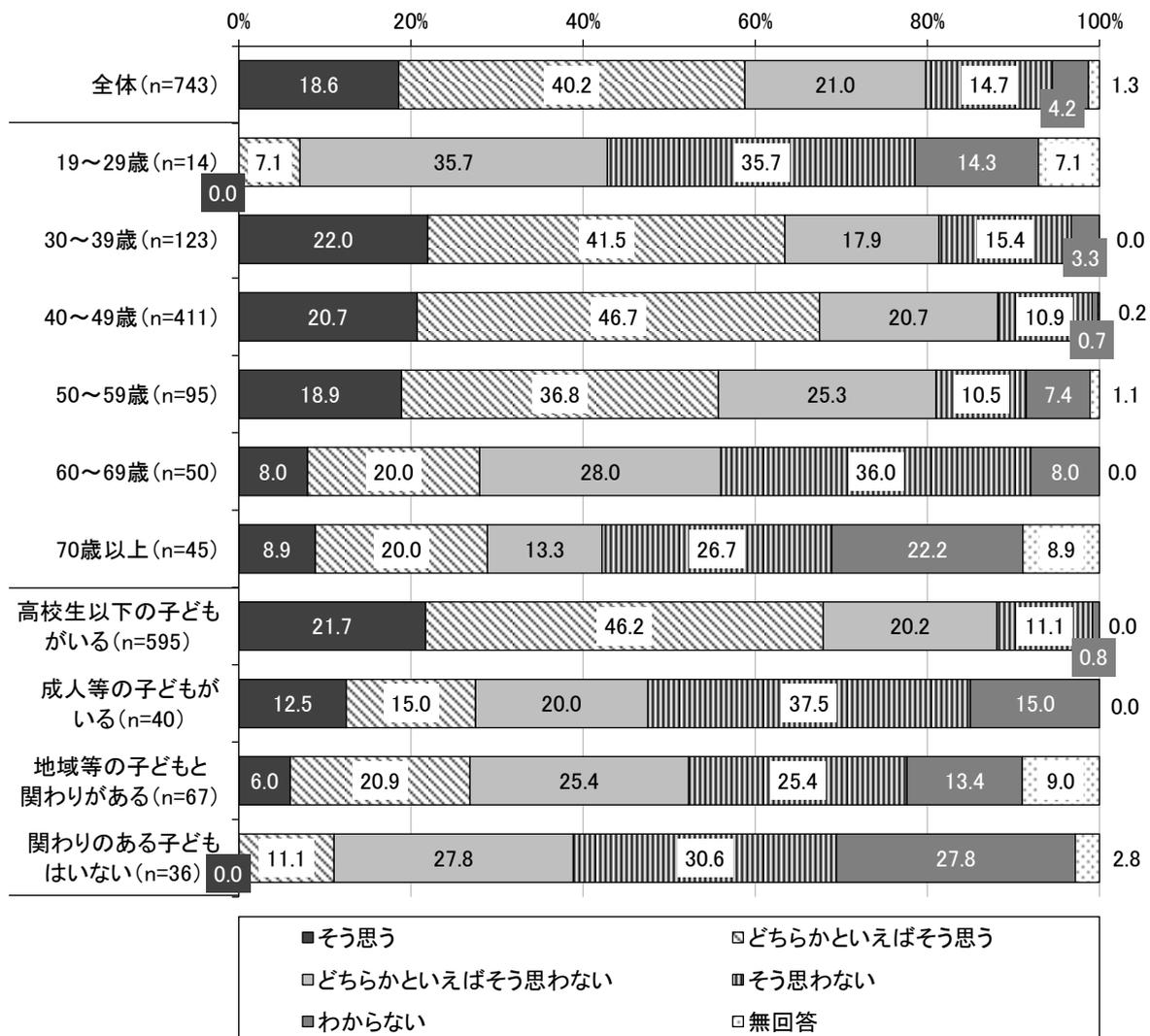


③ 保護者と過ごす時間が十分にある

保護者と過ごす時間が十分にあるかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.0%となっています。また、「そう思う」が58.8%と、「そう思わない」の35.7%を23.1ポイント上回っています。

年齢別にみると、60歳以上では「そう思う」が3割台と他の年代に比べて割合が低くなっています。また、70歳以上では「わからない」が22.2%と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が6割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。一方、【成人等の子どもがいる】、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】では、「そう思わない」が5割台と高くなっています。

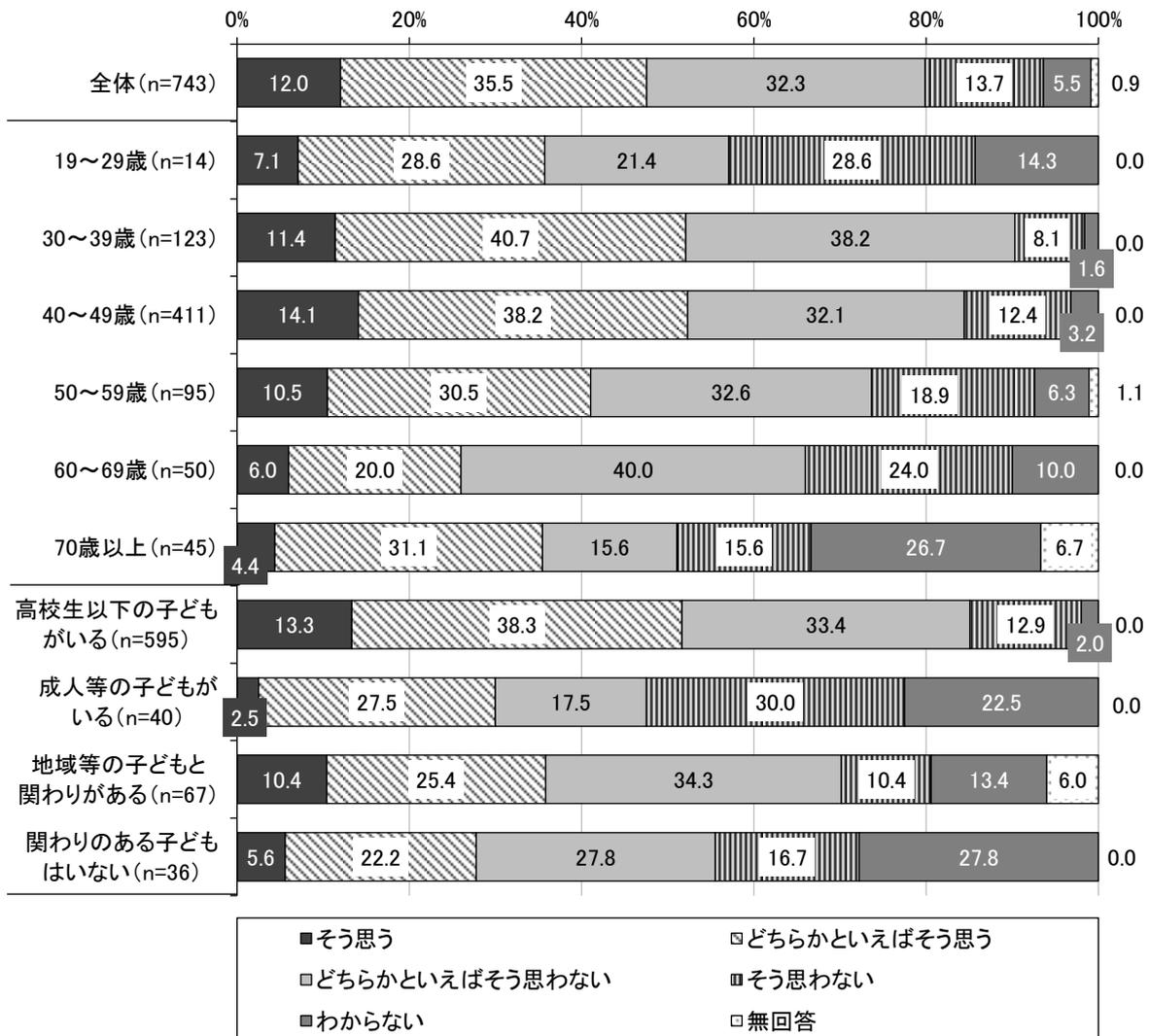


④ 友人と過ごす時間が十分にある

友人と過ごす時間が十分にあるかについては、「どちらかといえばそう思う」が35.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が32.3%となっています。また、“そう思う”が47.5%、“そう思わない”が46.0%となっています。

年齢別にみると、30～49歳で“そう思う”が5割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。また、70歳以上では「わからない」が26.7%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“そう思う”が5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

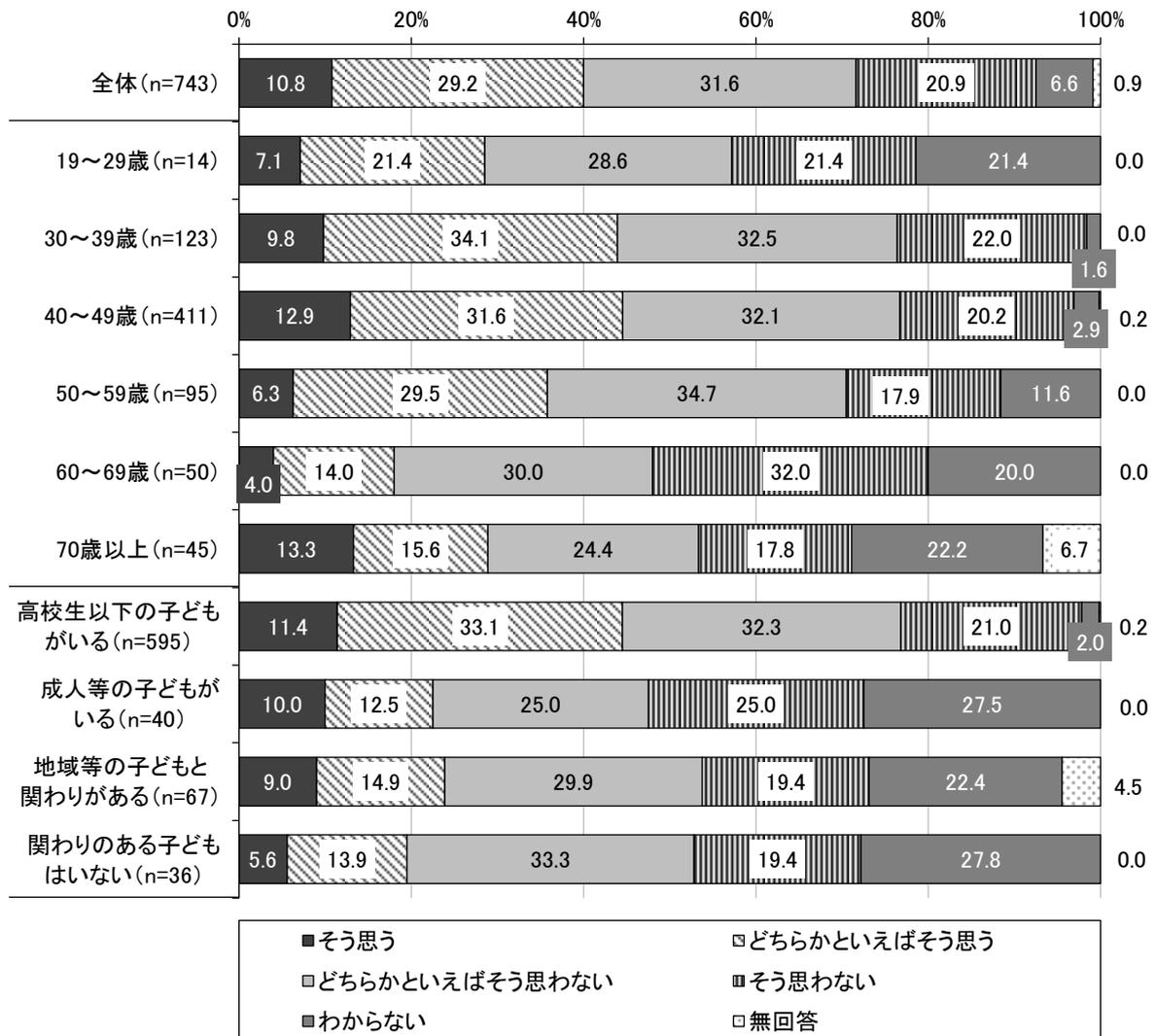


⑤ 家庭や学校以外にも人と関わる時間が十分にある

家庭や学校以外にも人と関わる時間が十分にあるかについては、「どちらかといえばそう思わない」が31.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.2%となっています。また、「そう思わない」が52.5%と、「そう思う」の40.0%を12.5ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～49歳で「そう思う」が4割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が4割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

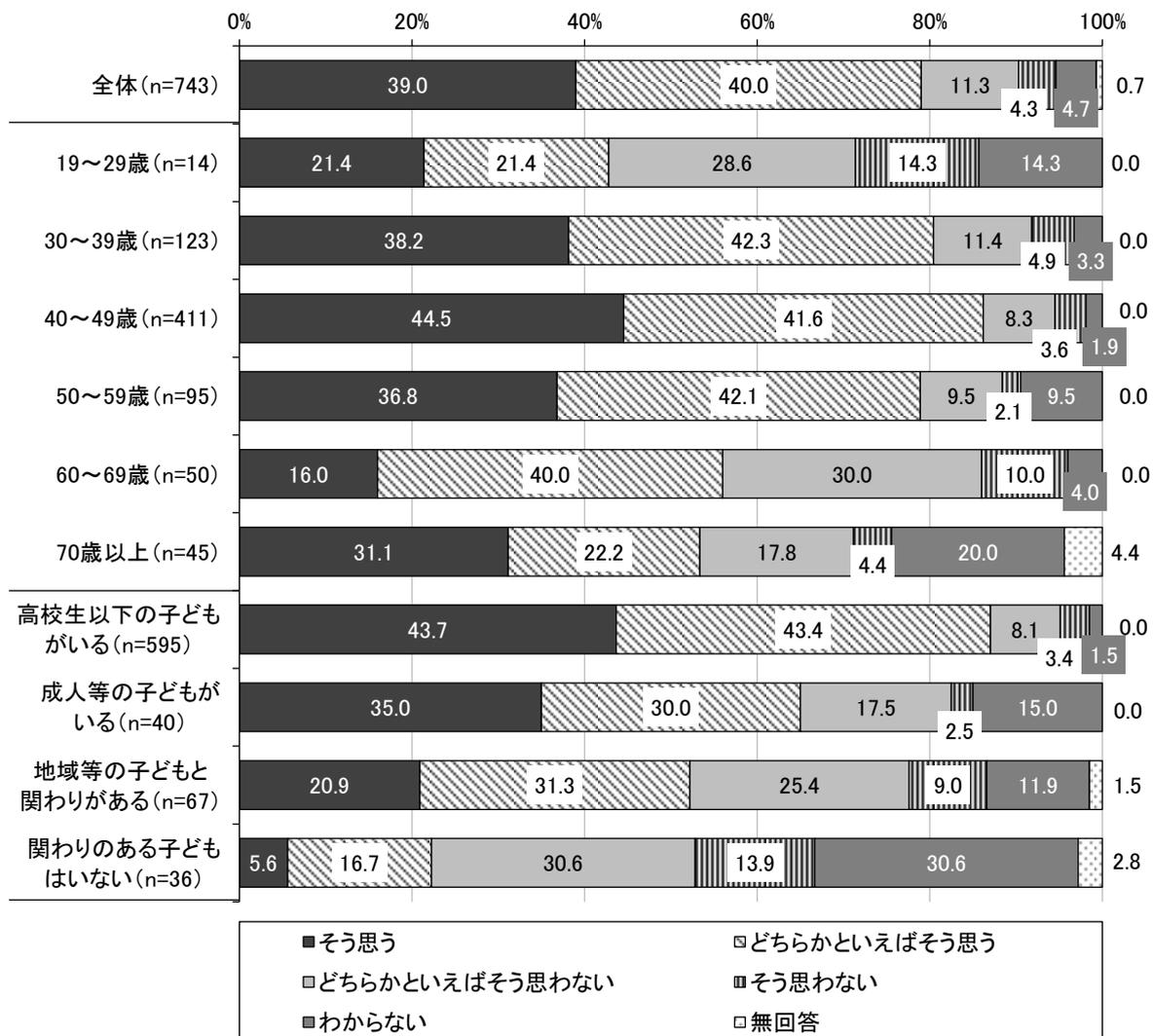


⑥ 安心して過ごせる居場所が確保されている

安心して過ごせる居場所が確保されているかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.0%と最も多く、次いで「そう思う」が39.0%となっています。また、「そう思う」が79.0%と、「そう思わない」の15.6%を63.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で「そう思う」が7～8割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が8割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が30.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

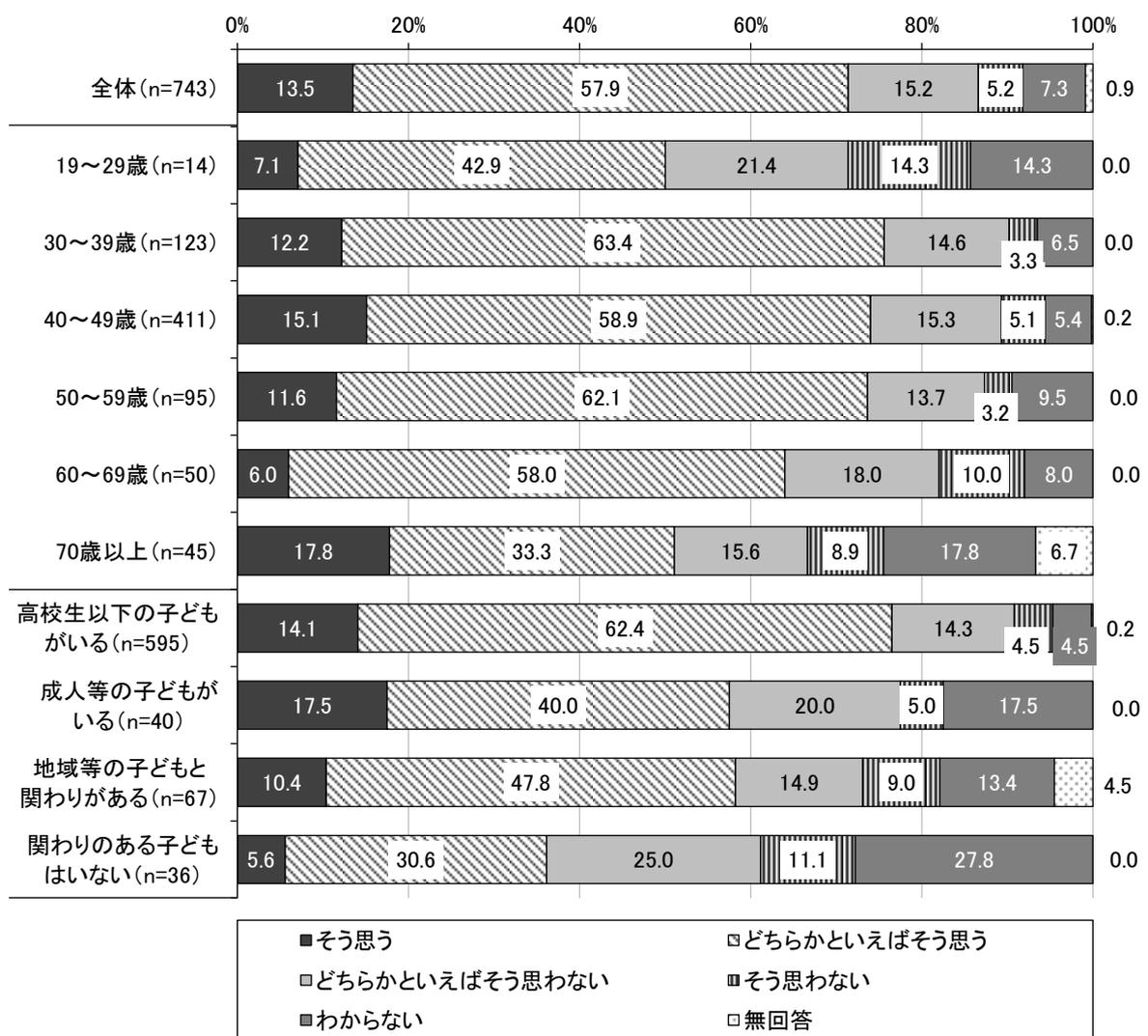


⑦ 周囲の大人は子どもの自主性を尊重している

周囲の大人は子どもの自主性を尊重しているかについては、「どちらかといえばそう思う」が57.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が15.2%となっています。また、「そう思う」が71.4%と、「そう思わない」の20.4%を51.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で「そう思う」が7割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が7割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が27.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

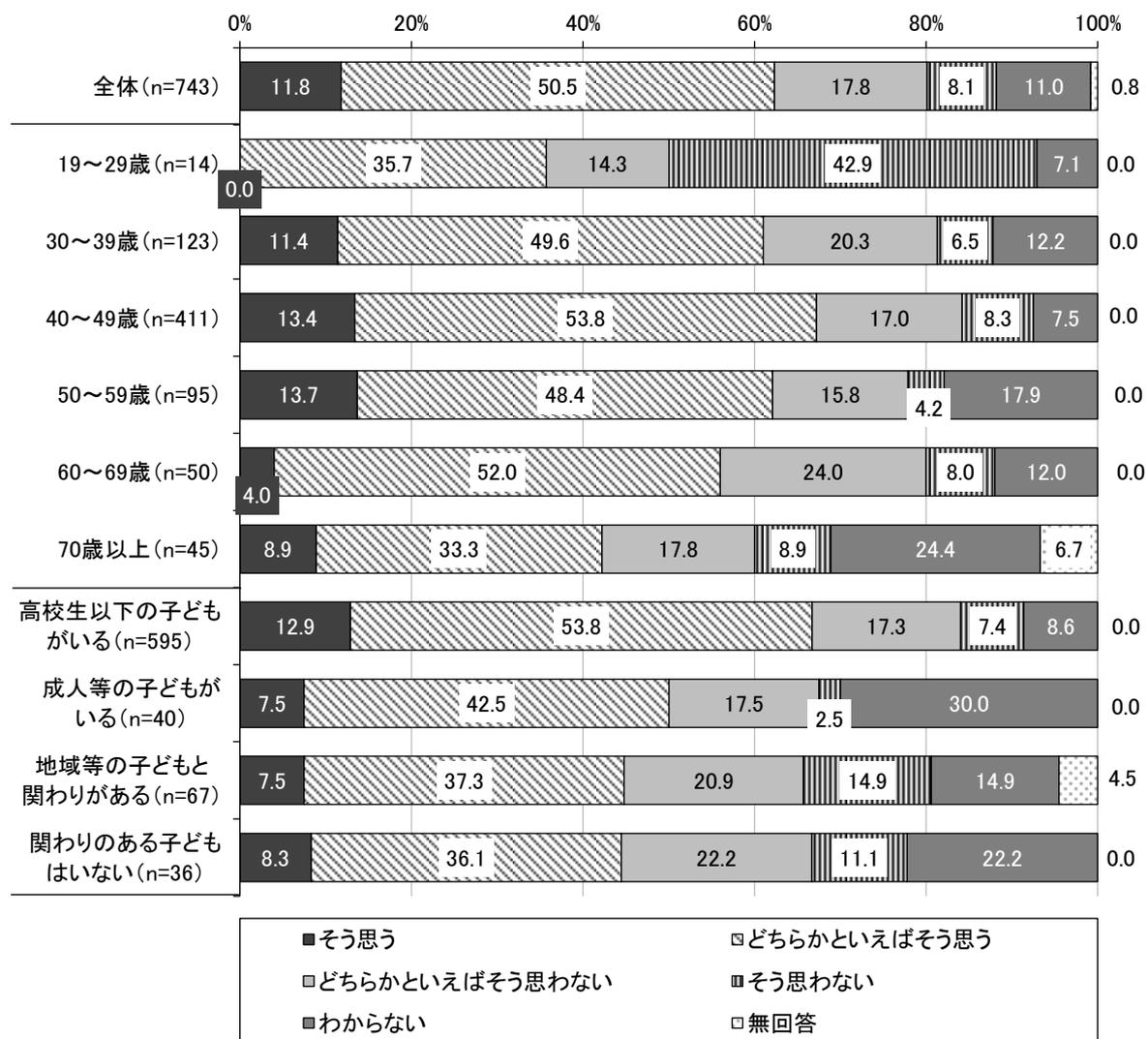


⑧ 地域の大人は子どもの健やかな成長を助けている

地域の大人は子どもの健やかな成長を助けているかについては、「どちらかといえばそう思う」が50.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が17.8%となっています。また、「そう思う」が62.3%と、「そう思わない」の25.9%を36.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、40～49歳で「そう思う」が6割台後半と他の年齢に比べて割合が高くなっています。また、70歳以上では「わからない」が24.4%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が6割台と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

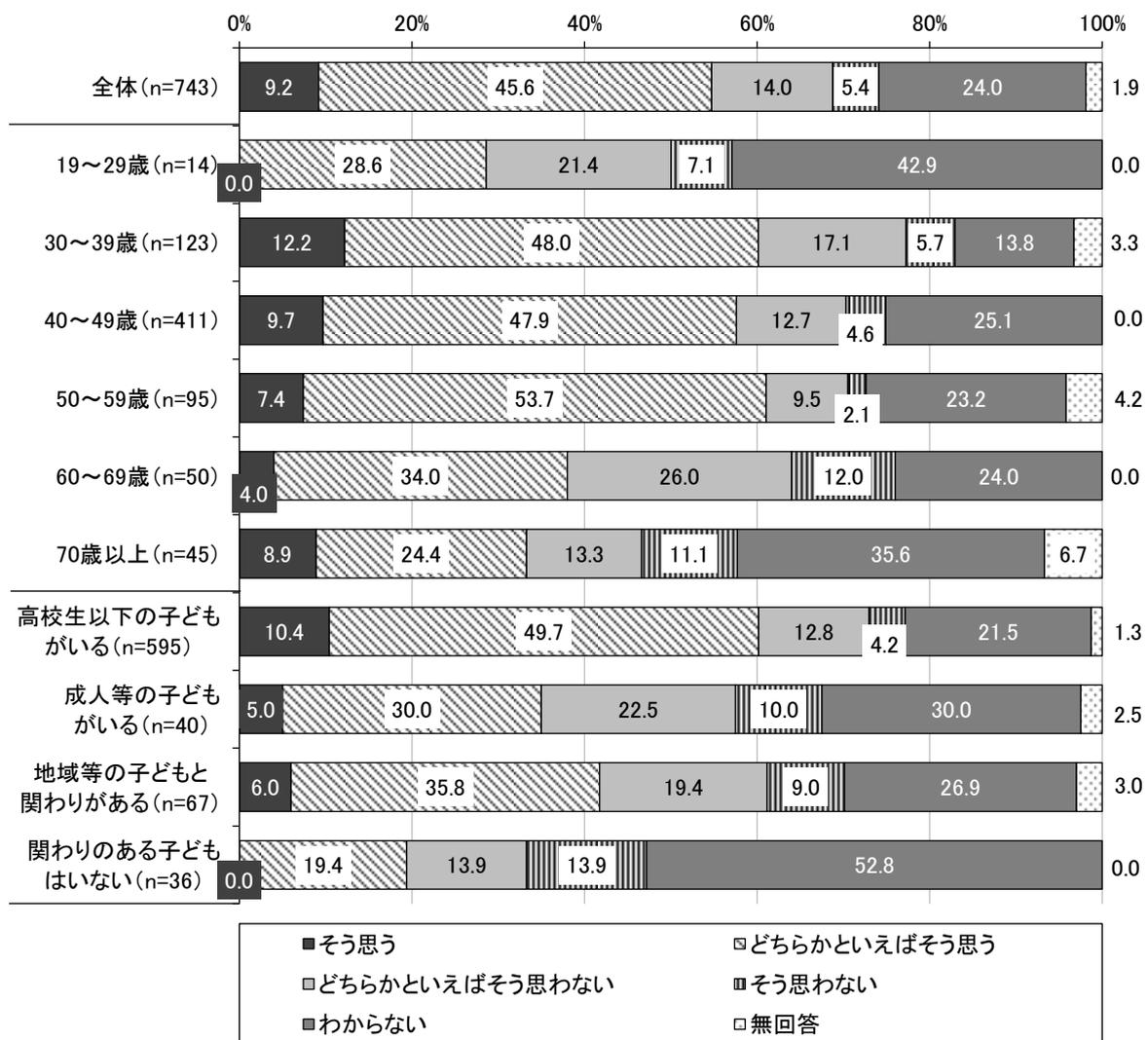


⑨ 乳幼児の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

乳幼児の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「どちらかといえばそう思う」が45.6%と最も多く、次いで「わからない」が24.0%となっています。また、“そう思う”が54.8%と、“そう思わない”の19.4%を35.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で“そう思う”が5～6割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“そう思う”が6割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が52.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

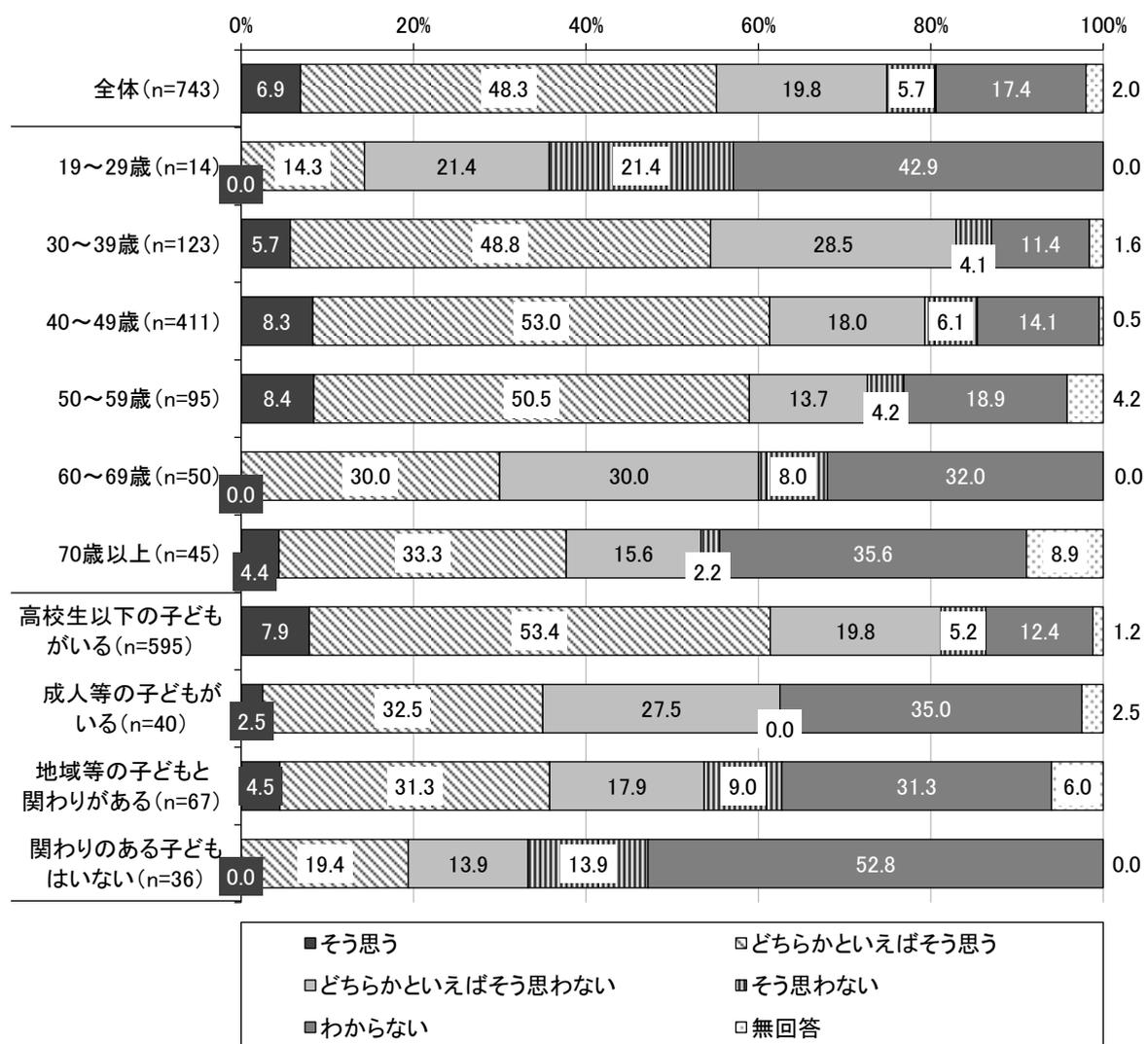


⑩ 小学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

小学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「どちらかといえばそう思う」が48.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.8%となっています。また、「そう思う」が55.2%と、「そう思わない」の25.5%を29.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で「そう思う」が5～6割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が6割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が52.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

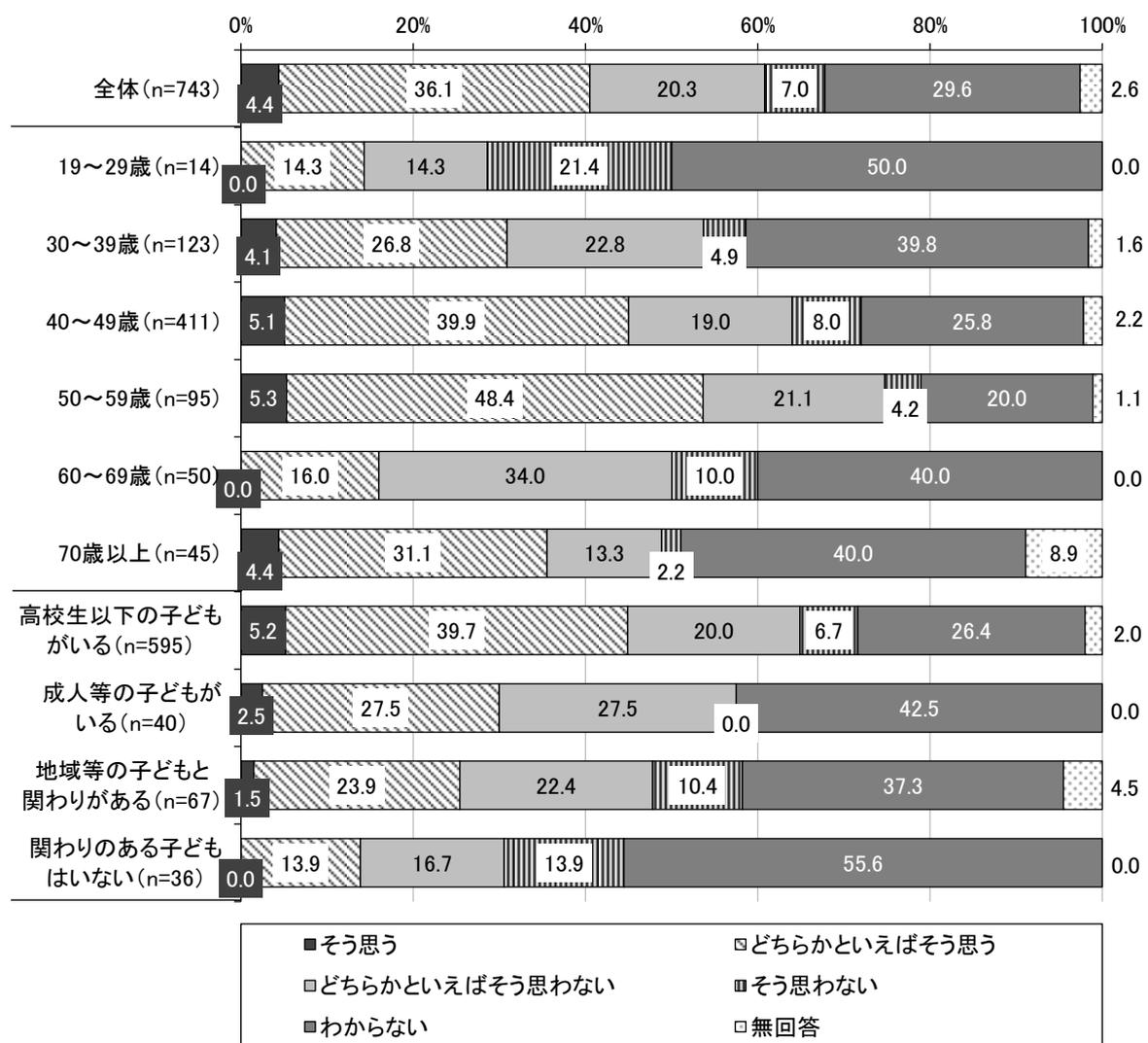


⑪ 中学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

中学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「どちらかといえばそう思う」が36.1%と最も多く、次いで「わからない」が29.6%となっています。また、「そう思う」が40.5%と、「そう思わない」の27.3%を13.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、40～59歳で「そう思う」が4～5割台、30～39歳と60歳以上で「わからない」が4割前後と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が4割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

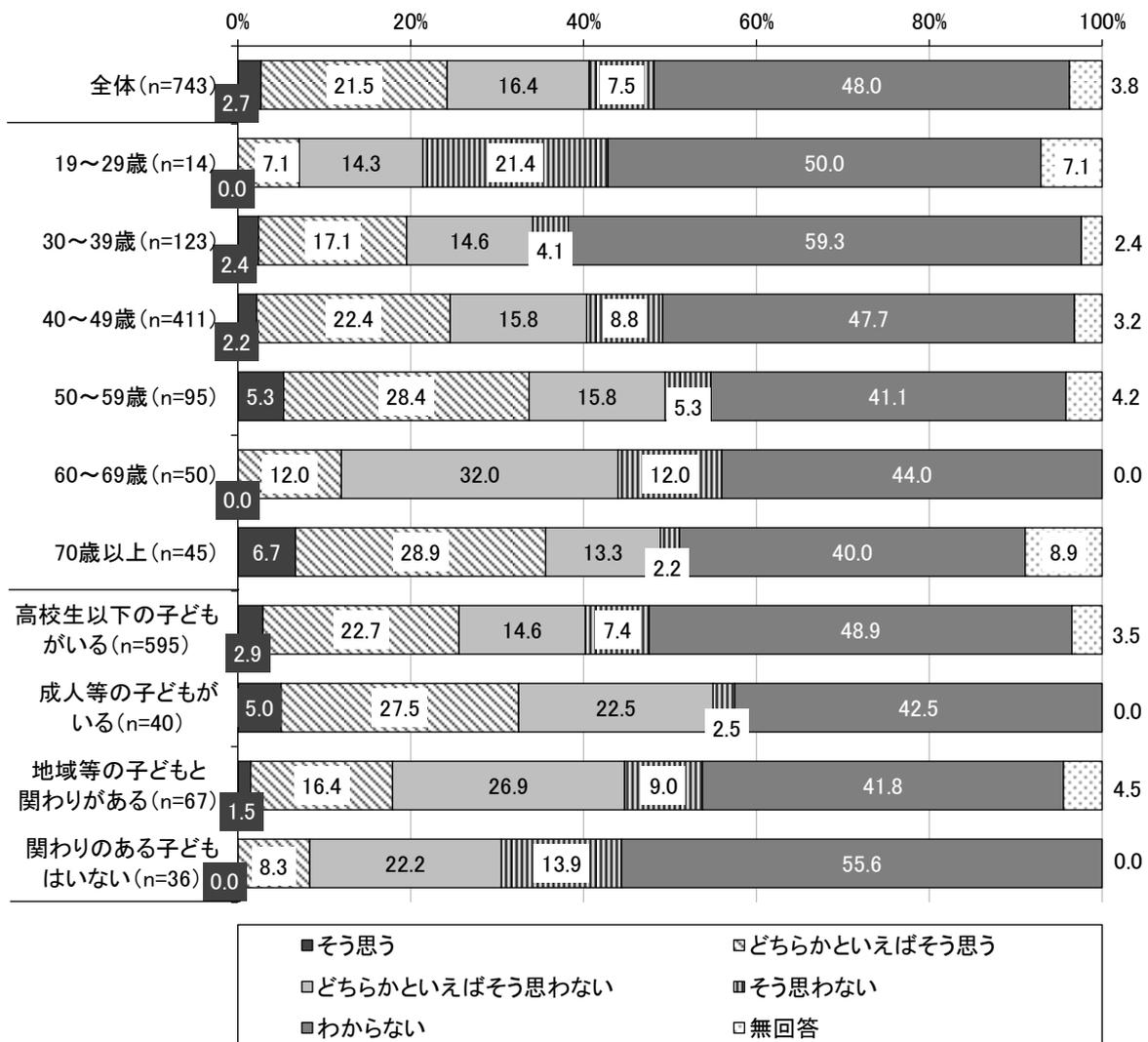


⑫ 高校生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

高校生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「わからない」が48.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.5%となっています。また、「そう思う」が24.2%、「そう思わない」が23.9%となっています。

年齢別にみると、50～59歳と70歳以上で「そう思う」が3割台、30～39歳で「わからない」が約6割と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】で「そう思う」が3割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



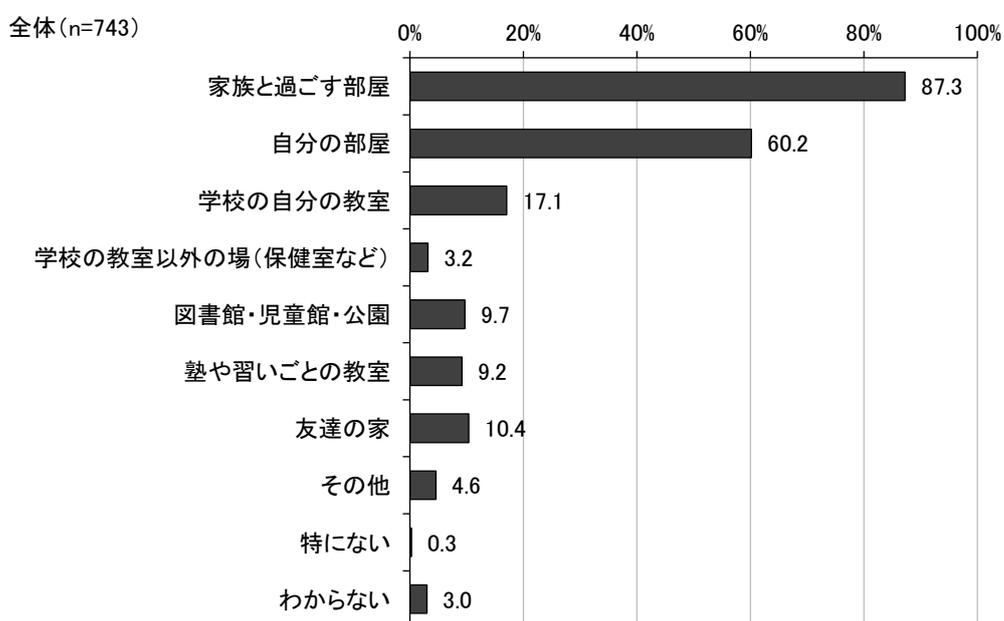
3 子どもの生活の場についておたずねします

問5 あなたは、子どもたちが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所はどこだと感じていますか。(〇はいくつでも)

大人が感じる、子どもたちが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所については、「家族と過ごす部屋」が87.3%と最も多く、次いで「自分の部屋」が60.2%、「学校と自分の教室」が17.1%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「家族と過ごす部屋」が8～9割で最も多くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【地域等の子どもと関わりがある】で「図書館・児童館・公園」が2割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



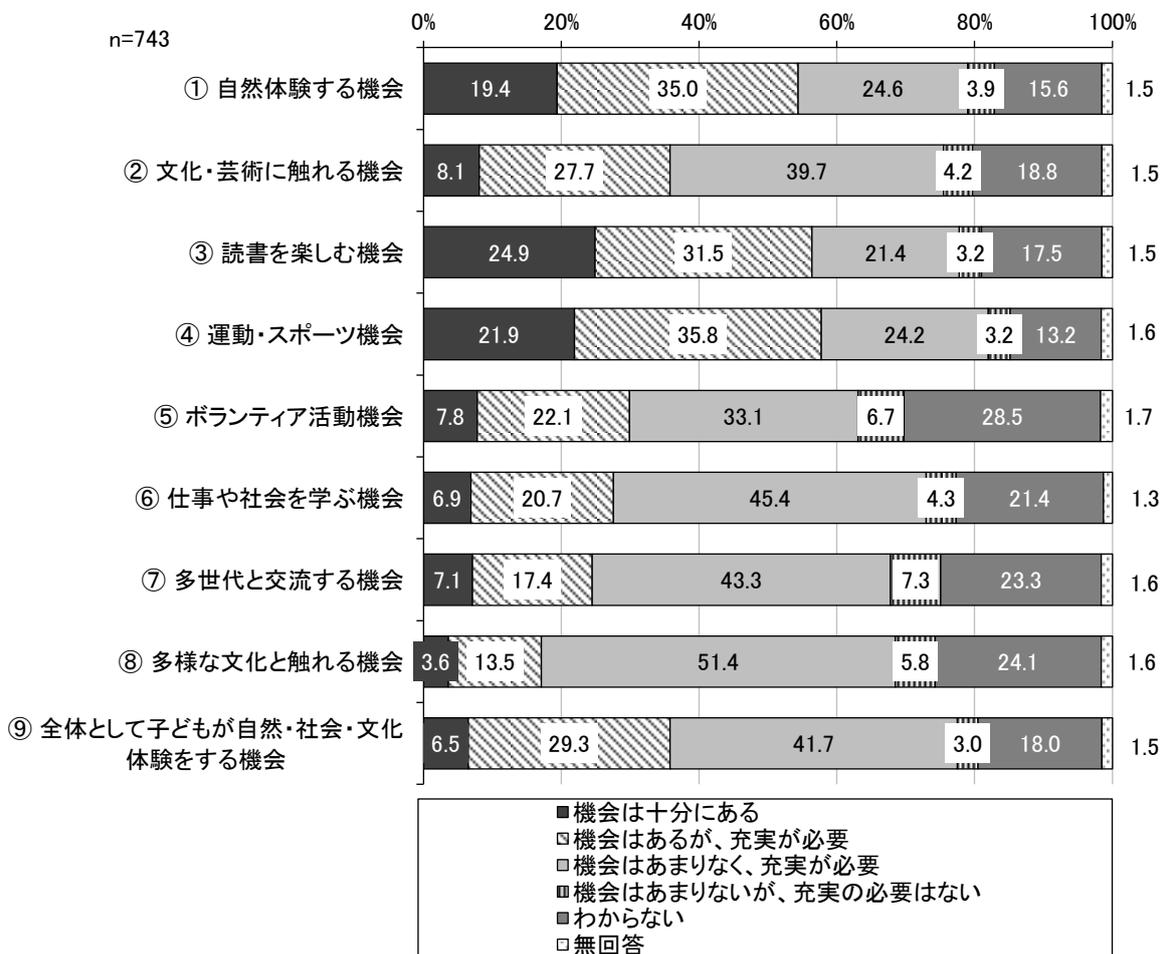
■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

単位: %		家族と過ごす部屋	自分の部屋	学校の自分の教室	学校の教室以外の場 (保健室など)	図書館・児童館・公園	塾や習いごとの教室	友達の家	その他	特にない	わからない	無回答
年齢別	19～29歳 (n=14)	57.1	64.3	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0
	30～39歳 (n=123)	89.4	60.2	23.6	5.7	11.4	13.8	5.7	4.1	1.6	1.6	0.0
	40～49歳 (n=411)	93.2	59.1	18.0	2.2	6.8	9.5	10.5	4.9	0.0	0.2	0.2
	50～59歳 (n=95)	88.4	61.1	16.8	3.2	9.5	6.3	9.5	8.4	0.0	3.2	0.0
	60～69歳 (n=50)	68.0	70.0	8.0	4.0	18.0	4.0	16.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	70歳以上 (n=45)	64.4	62.2	6.7	4.4	22.2	6.7	17.8	0.0	0.0	20.0	2.2
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	92.9	58.7	18.3	2.4	8.1	9.6	8.9	5.0	0.3	0.3	0.2
	成人等の子どもがいる (n=40)	67.5	82.5	7.5	10.0	10.0	2.5	15.0	2.5	0.0	12.5	0.0
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	70.1	65.7	14.9	7.5	20.9	9.0	20.9	4.5	0.0	9.0	1.5
	関わりのある子どもはいない (n=36)	61.1	58.3	13.9	2.8	13.9	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0

問6 あなたは、北本市の暮らしの中で、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分にあると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分にあると思うかについては、「機会は十分にある」で<③ 読書を楽しむ機会>と<④ 運動・スポーツ機会>が2割台と高くなっています。また、「機会はあるが、充実が必要」と「機会はあまりなく、充実が必要」を合わせた“充実が必要”が<⑨ 全体として子どもが自然・社会・文化体験をする機会>が7割台、<② 文化・芸術に触れる機会>と<⑥ 仕事や社会を学ぶ機会>で6割台後半となっています。

また、<⑤ ボランティア活動機会>で「わからない」が約3割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

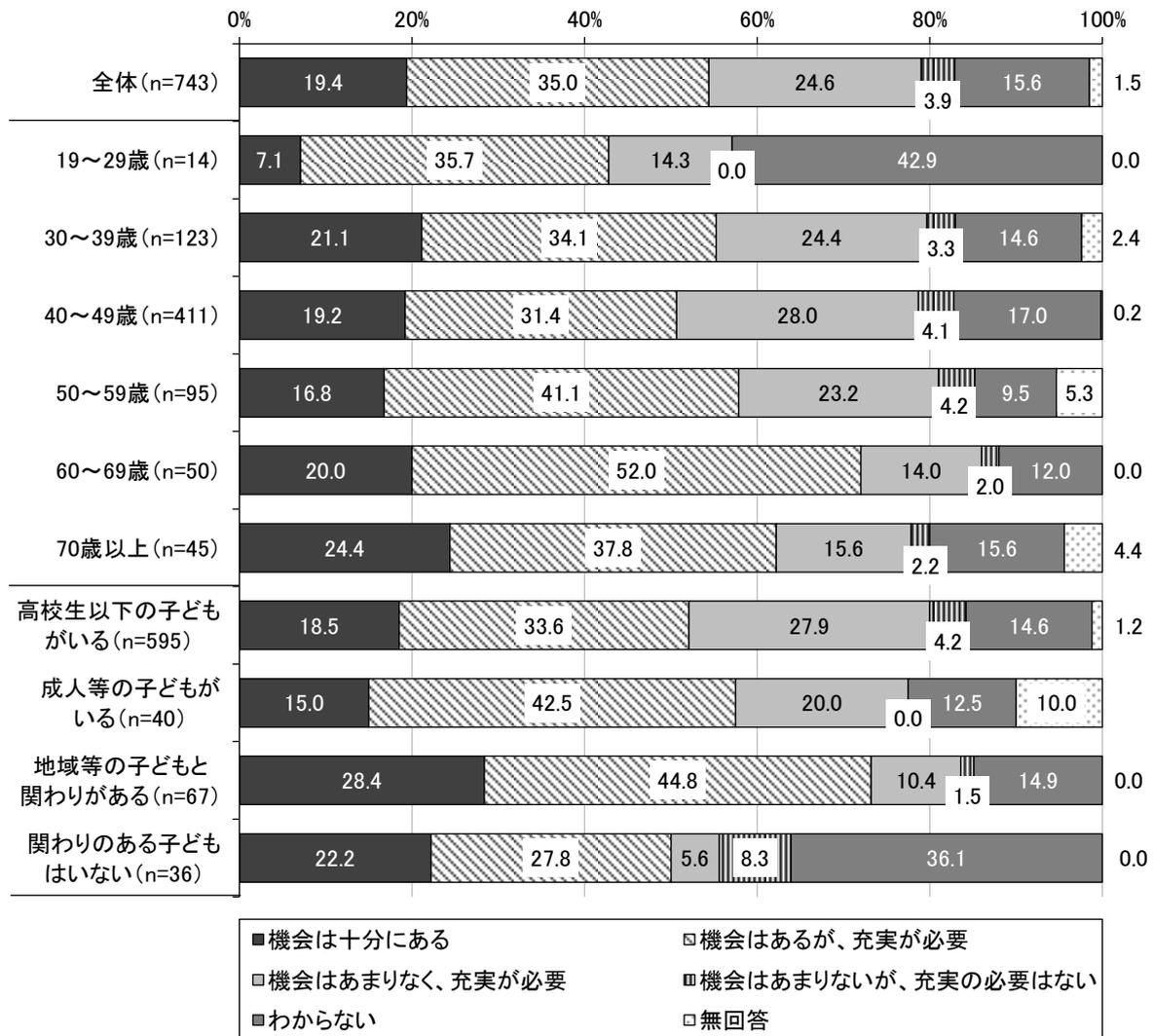


① 自然体験する機会

自然体験する機会が十分にあると思うかについては、「機会はあるが、充実が必要」が35.0%と最も多く、次いで「機会はありません、充実が必要」が24.6%となっています。また、「機会はあるが、充実が必要」と「機会はありません、充実が必要」を合わせた“充実が必要”が59.6%となっています。

年齢別にみると、50～69歳で“充実が必要”が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】で「機会是十分にある」が2割台と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

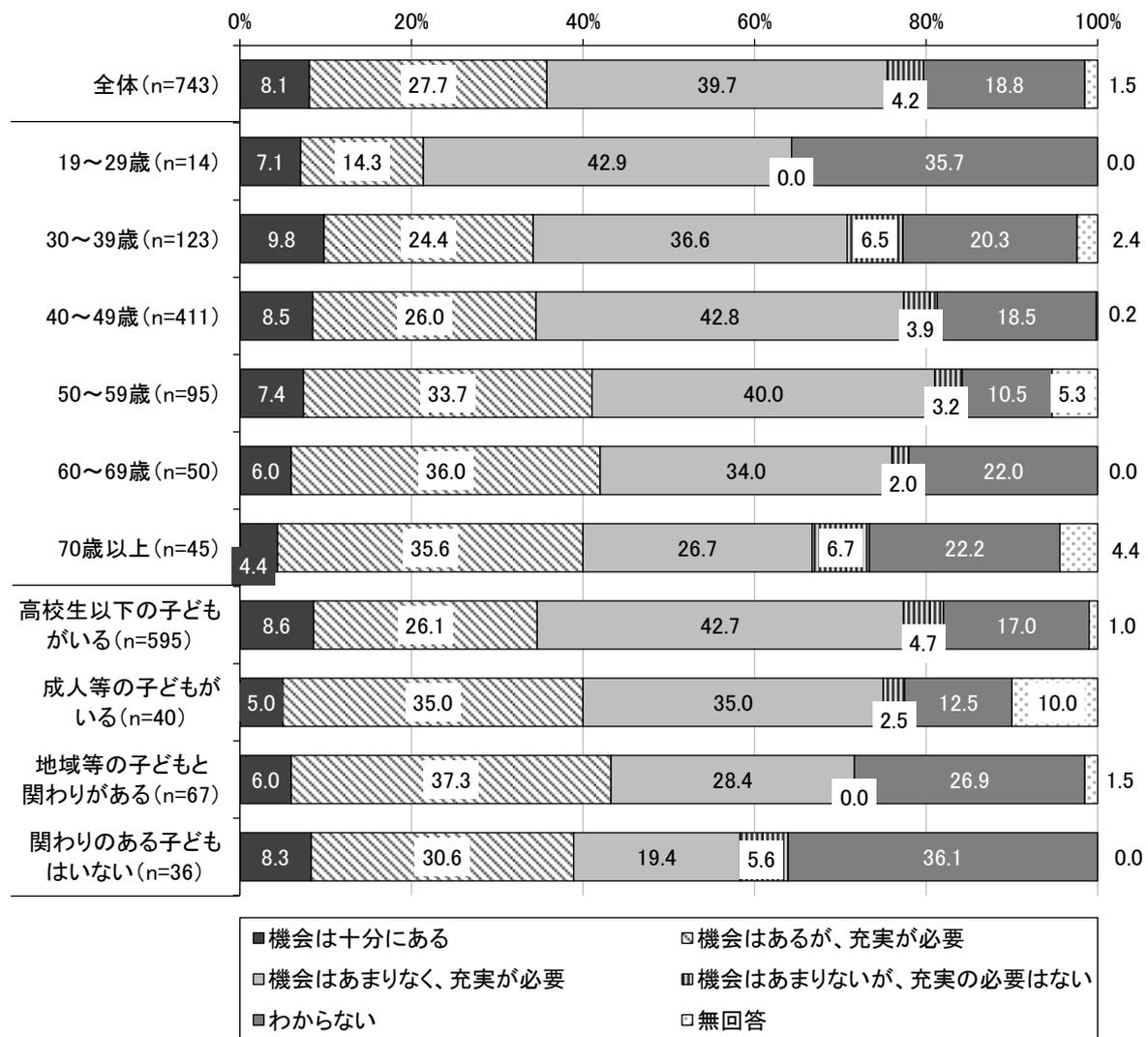


② 文化・芸術に触れる機会

文化・芸術に触れる機会が十分にあるかについては、「機会はありません、充実が必要」が39.7%と最も多く、次いで「機会はあるが、充実が必要」が27.7%となっています。また、「充実が必要」が67.4%となっています。

年齢別にみると、50～69歳で「充実が必要」が7割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】で「充実が必要」が7割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

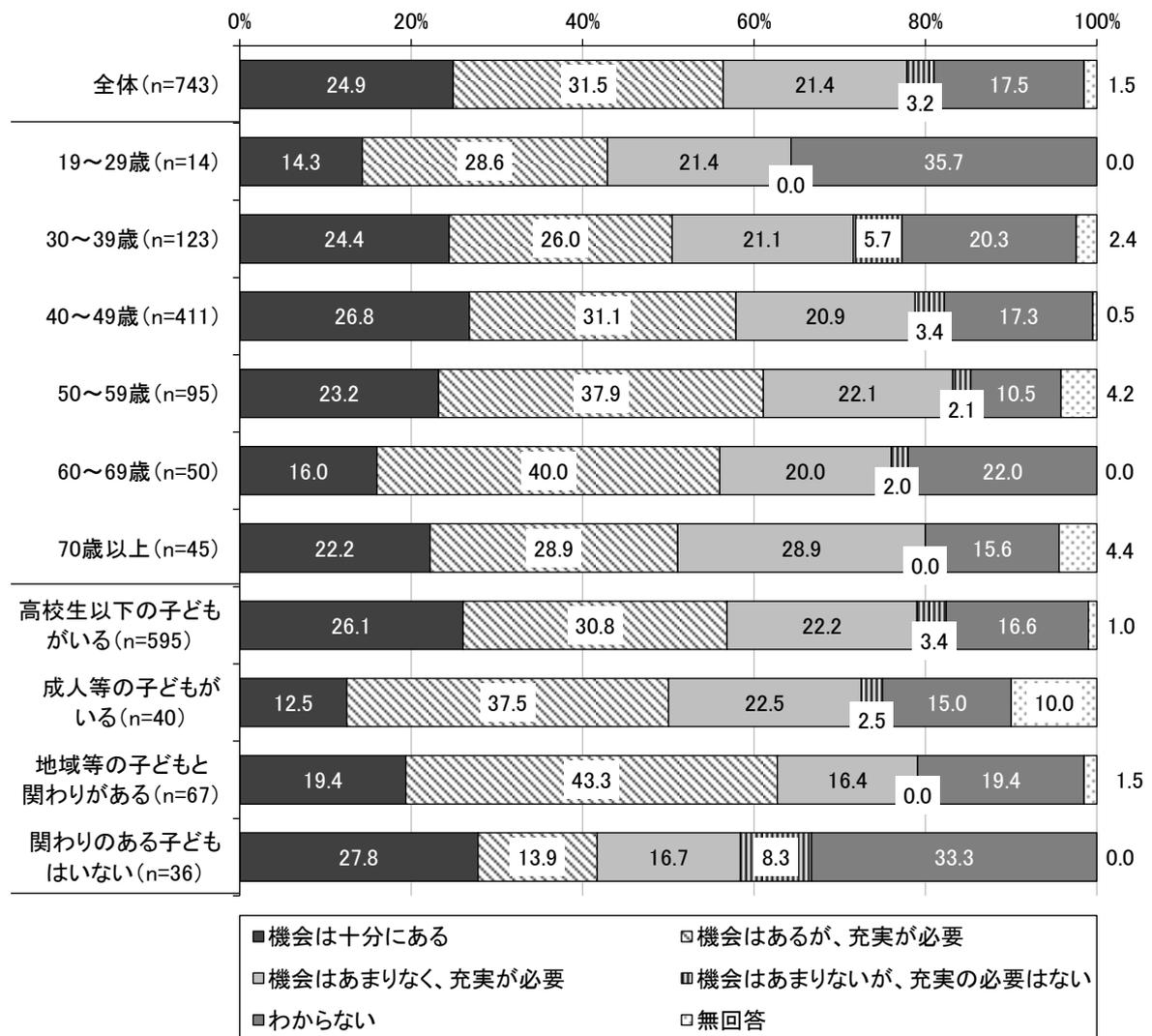


③ 読書を楽しむ機会

読書を楽しむ機会が十分にあると思うかについては、「機会はあるが、充実が必要」が31.5%と最も多く、次いで「機会は十分にある」が24.9%となっています。また、「充実が必要」が52.9%となっています。

年齢別にみると、40～49歳で「機会は十分にある」が2割後半、50～69歳で“充実が必要”が6割と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】で「機会は十分にある」が2割後半と他の項目に比べて割合が高くなっています。

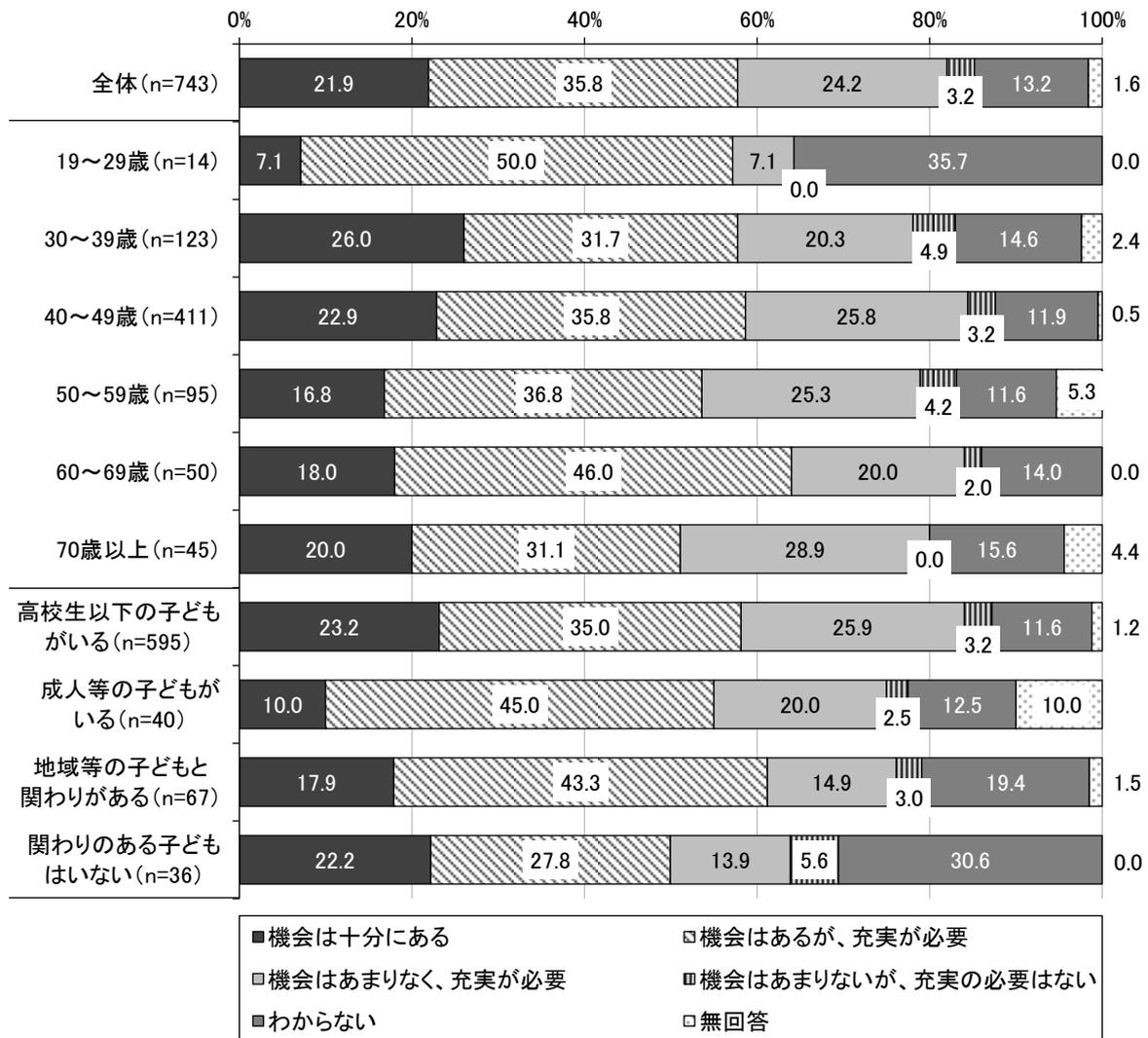


④ 運動・スポーツ機会

運動・スポーツの機会が十分にあると思うかについては、「機会はあるが、充実が必要」が35.8%と最も多く、次いで「機会があまりなく、充実が必要」が24.2%となっています。また、「充実が必要」が60.0%となっています。

年齢別にみると、60～69歳で“充実が必要”が6割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】で「機会は十分にある」が2割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

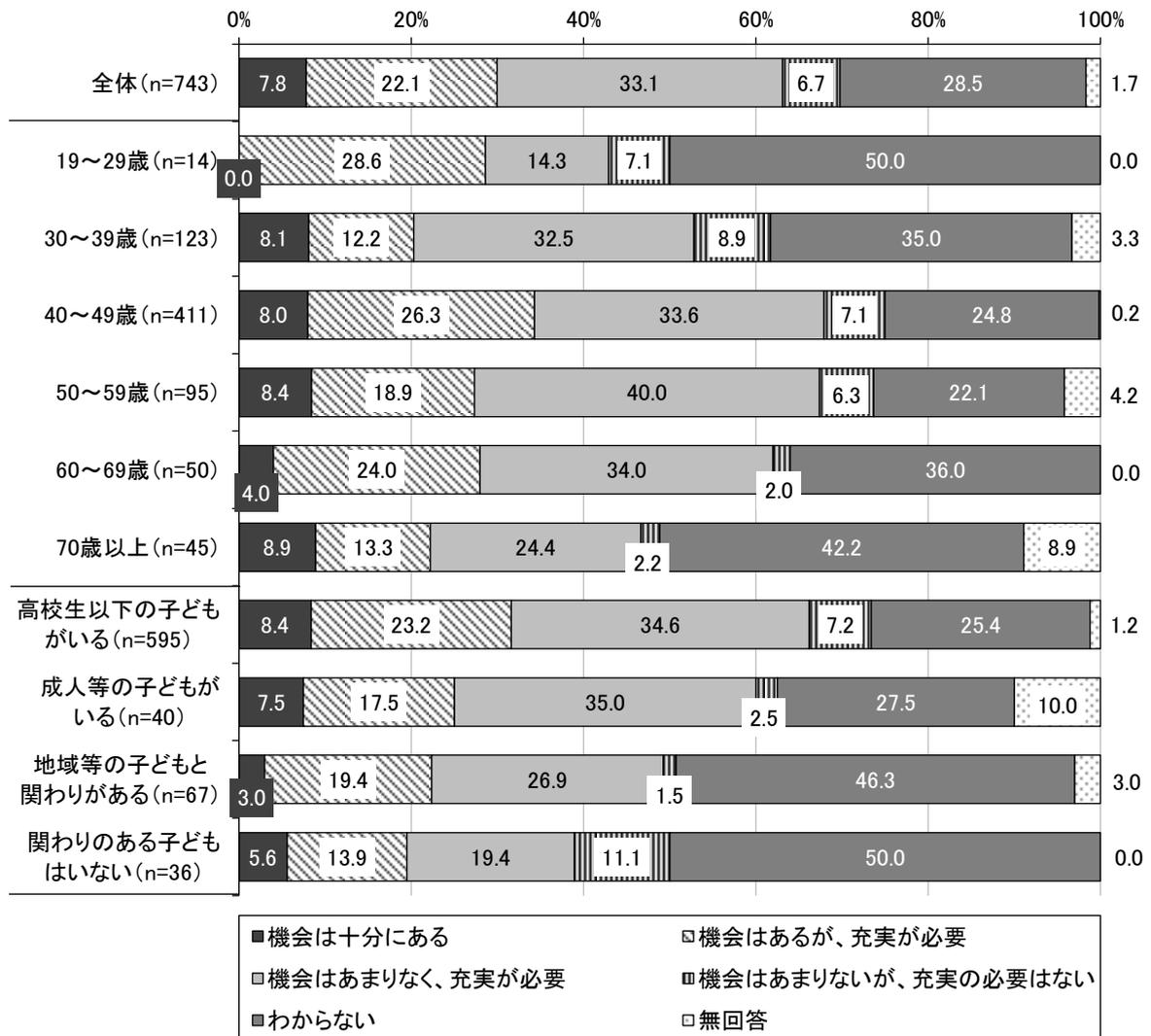


⑤ ボランティア活動機会

ボランティア活動の機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が33.1%と最も多く、次いで「わからない」が28.5%となっています。また、「充実が必要」が55.2%となっています。

年齢別にみると、40～69歳で「充実が必要」が約6割と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【成人等の子どもがいる】で「充実が必要」が5割台、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が4～5割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

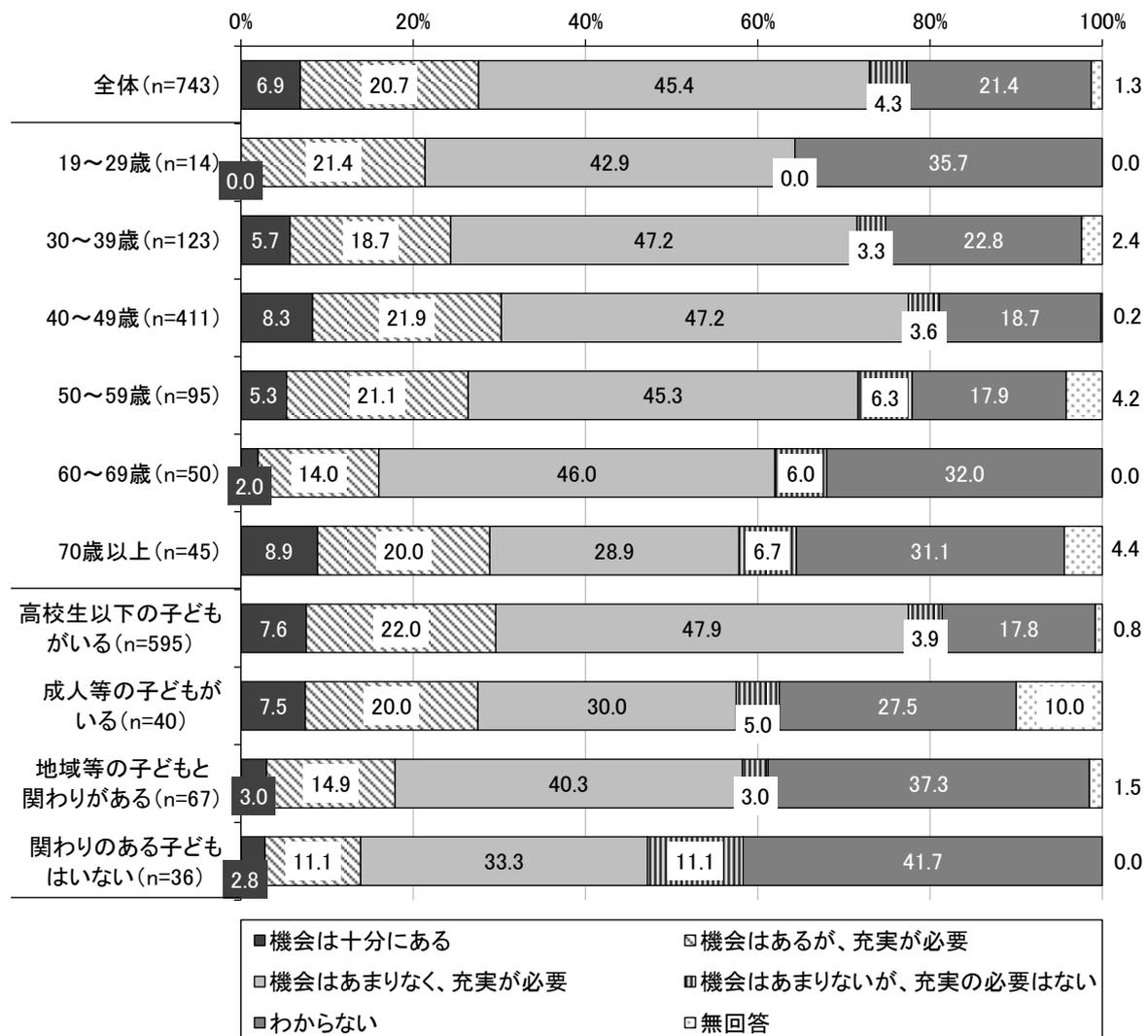


⑥ 仕事や社会を学ぶ機会

仕事や社会を学ぶ機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が45.4%と最も多く、次いで「わからない」が21.4%となっています。また、「充実が必要」が66.1%となっています。

年齢別にみると、70歳以上で「充実が必要」が4割後半と他の年代に比べて割合が低くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「充実が必要」が約7割、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が3～4割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

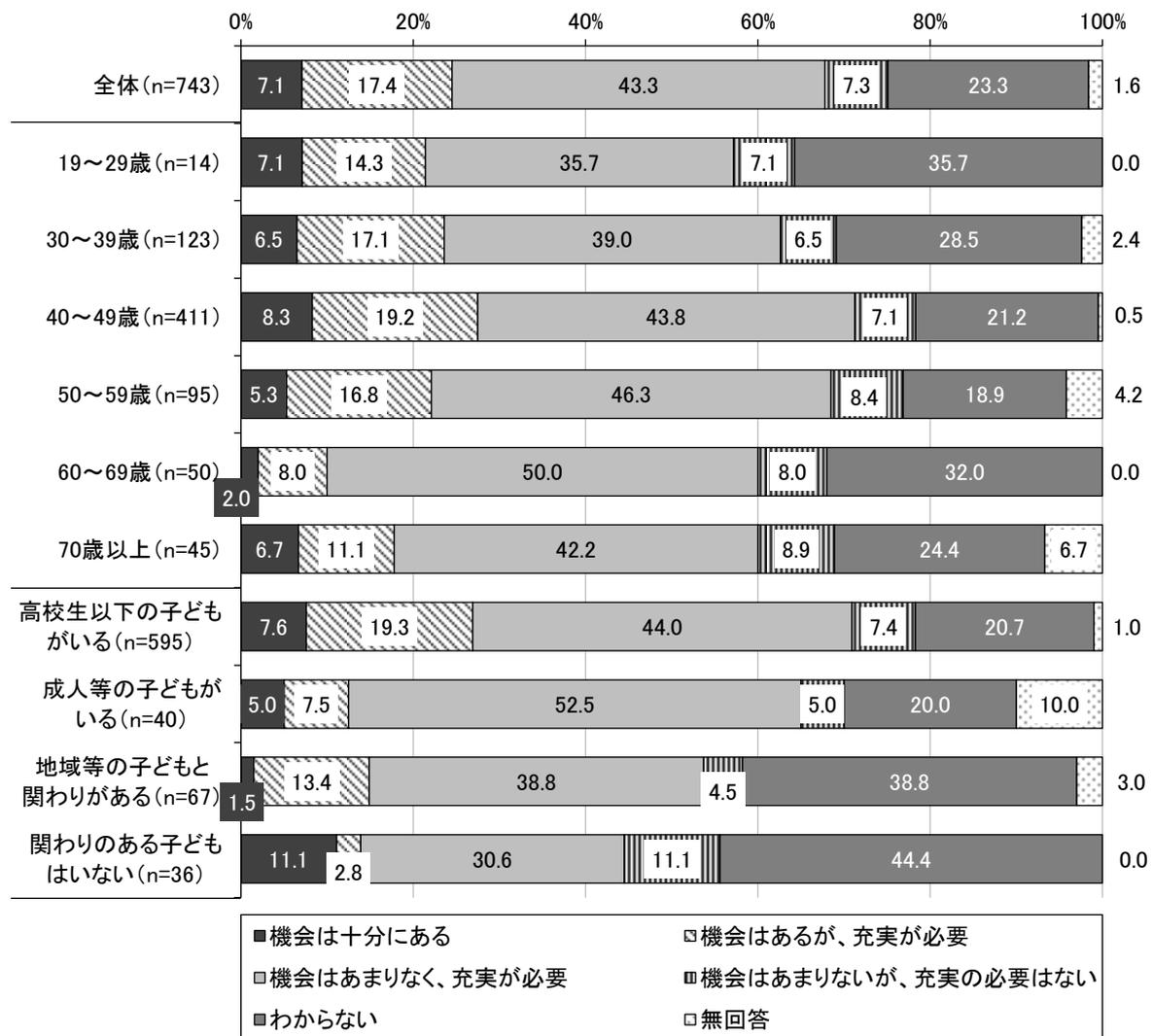


⑦ 多世代と交流する機会

多世代と交流する機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が43.3%と最も多く、次いで「わからない」が23.3%となっています。また、「充実が必要」が60.7%となっています。

年齢別にみると、40～59歳で「充実が必要」が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【成人等の子どもがいる】で「充実が必要」が6割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

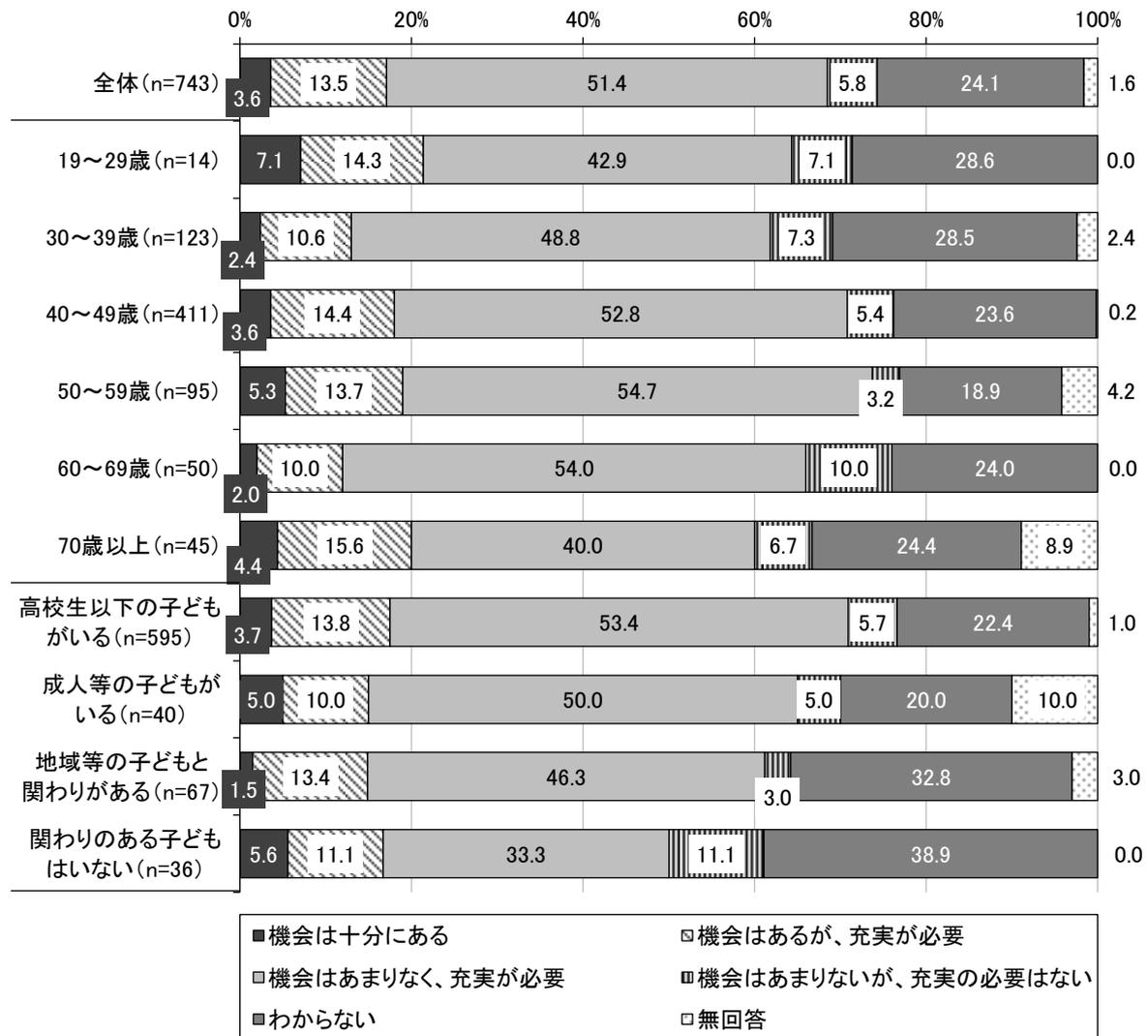


⑧ 多様な文化と触れる機会

多様な文化と触れる機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が51.4%と最も多く、次いで「わからない」が24.1%となっています。また、「充実が必要」が64.9%となっています。

年齢別にみると、40～69歳で“充実が必要”が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“充実が必要”が6割後半と他の項目に比べて割合が高くなっています。

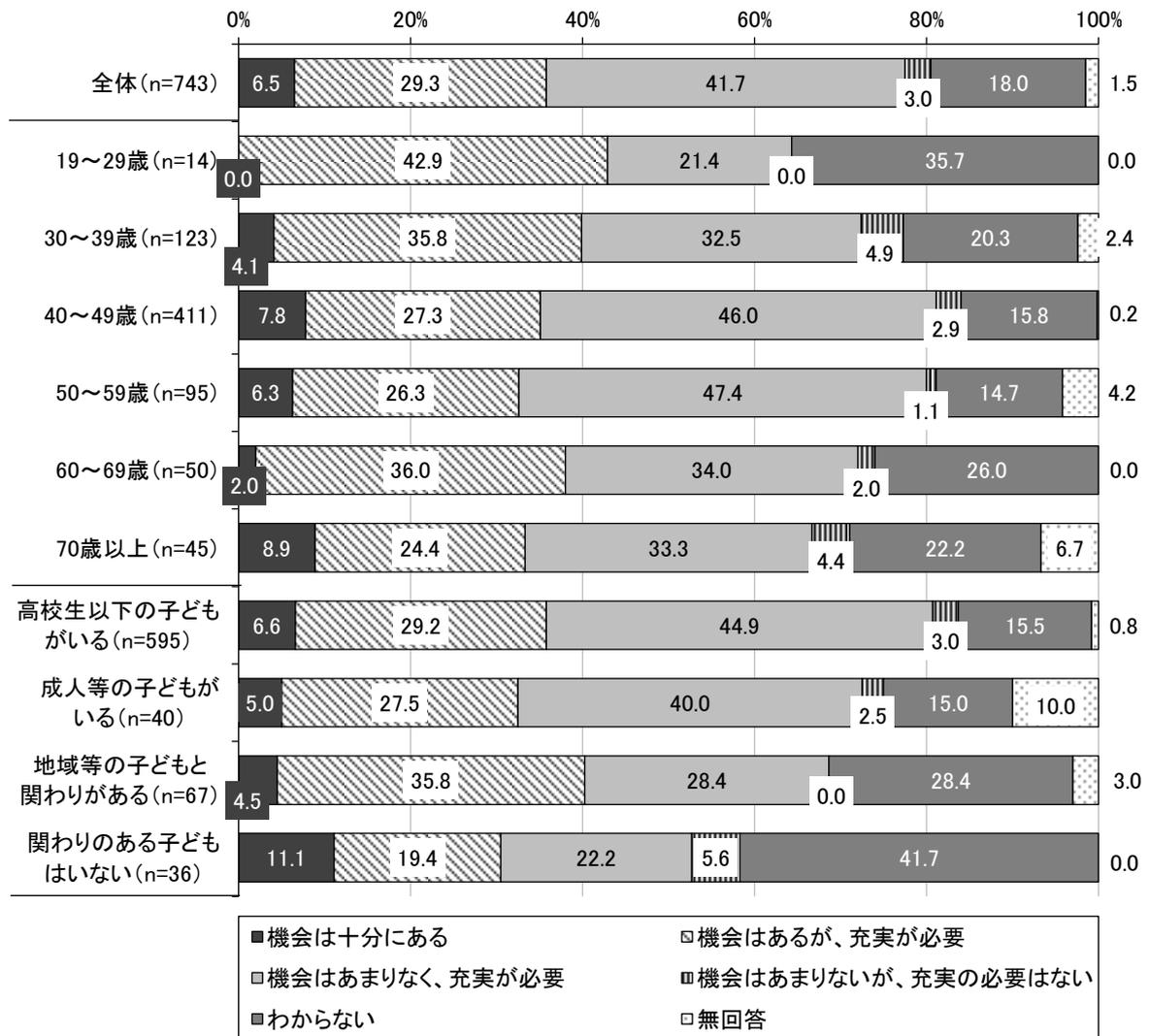


⑨ 全体として子どもが自然・社会・文化体験をする機会

全体として子どもが自然・社会・文化体験をする機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が41.7%と最も多く、次いで「機会はあるが、充実が必要」が29.3%となっています。また、「充実が必要」が71.0%となっています。

年齢別にみると、40～69歳で“充実が必要”が7割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

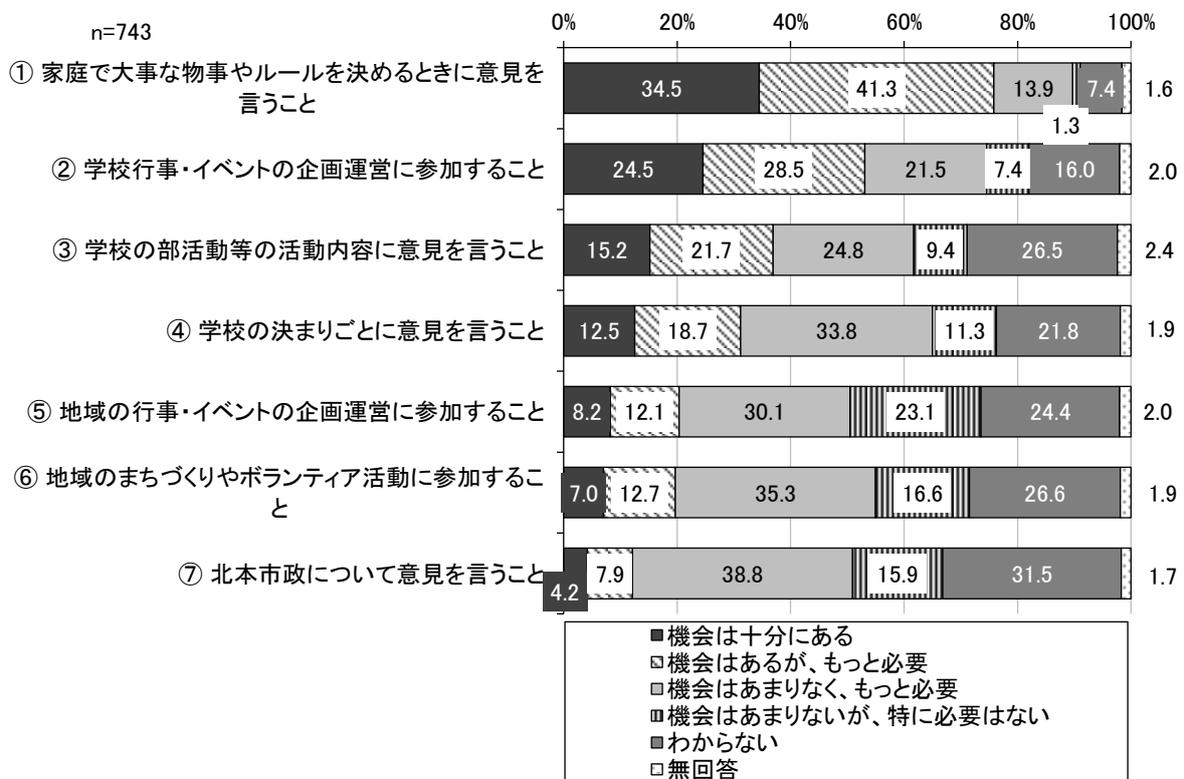
関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“充実が必要”が7割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



問7 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会について、どのような状況だと思いますか。(○はそれぞれ1つ)

子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会が十分にあると思うかについては、「機会が十分にある」で<① 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと>が3割台と高くなっています。また、「機会はあるが、もっと必要」と「機会はまだあまりなく、もっと必要」を合わせた“もっと必要”が<① 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと>、<② 学校行事・イベントの企画運営に参加すること>と<④ 学校の決まりごとに意見を言うこと>で5割台となっています。

また、<⑦ 北本市政について意見を言うこと>で「わからない」が約3割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

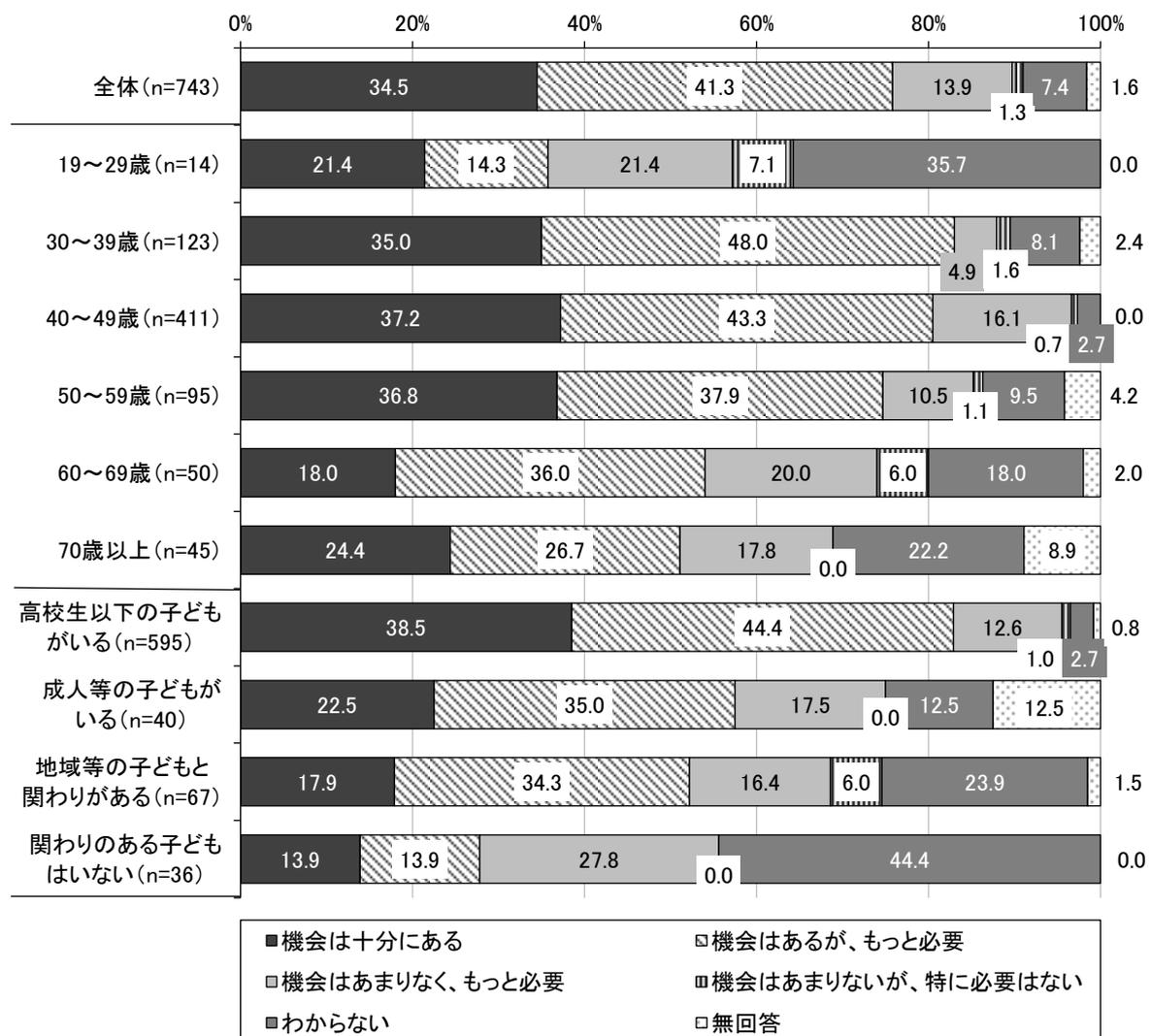


① 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと

子どもが、家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言う機会については、「機会はあるが、もっと必要」が41.3%と最も多く、次いで「機会は十分にある」が34.5%となっています。また、「機会はあるが、もっと必要」と「機会はあまりなく、もっと必要」を合わせた“もっと必要”が55.2%となっています。

年齢別にみると、30～59歳で「機会は十分にある」が3割台、40～49歳で“もっと必要”が約6割と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「機会は十分にある」が3割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

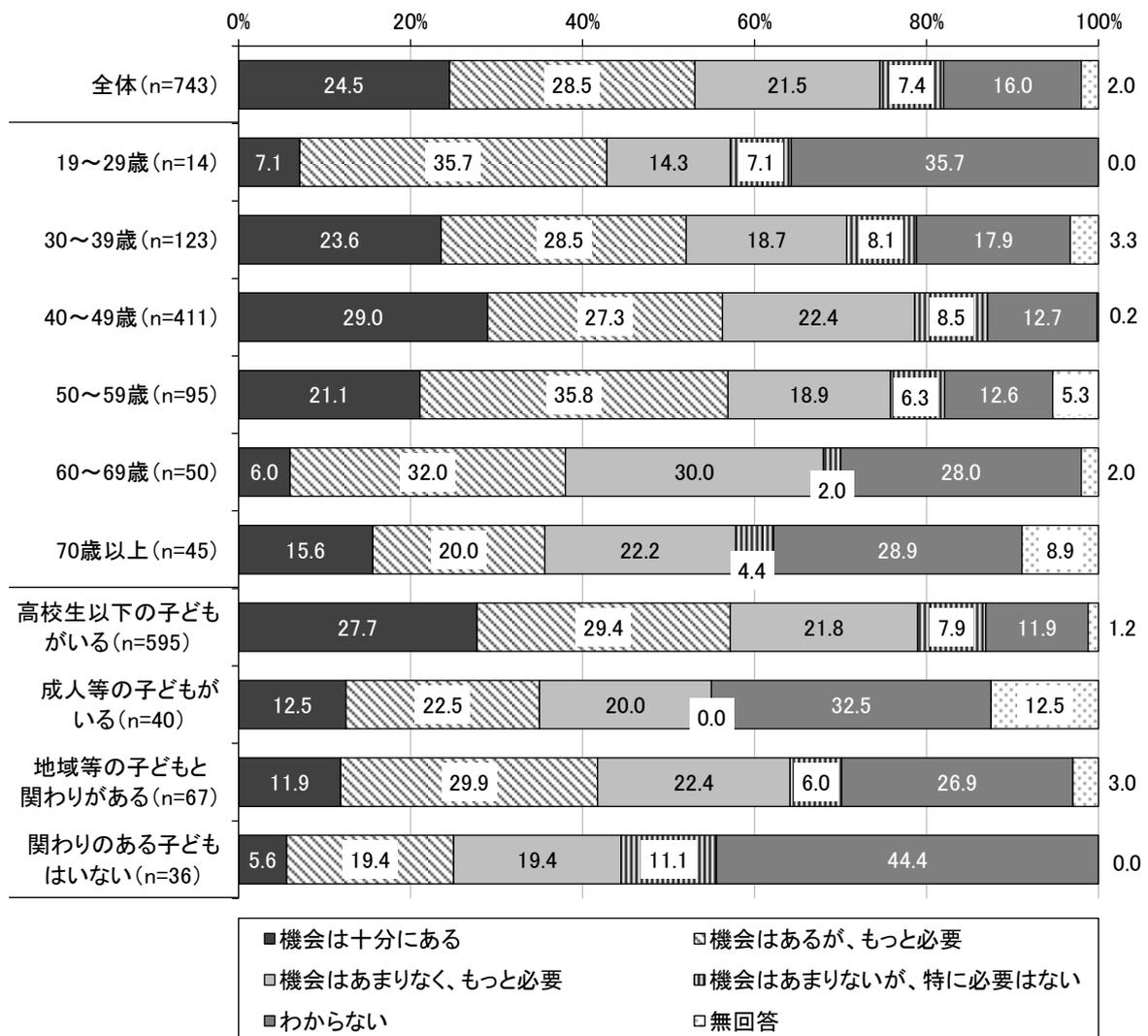


② 学校行事・イベントの企画運営に参加すること

子どもが、学校行事・イベントの企画運営に参加する機会については、「機会はあるが、もっと必要」が28.5%と最も多く、次いで「機会は十分にある」が24.5%となっています。また、「もっと必要」が50.0%となっています。

年齢別にみると、30～59歳で「機会は十分にある」が2割台、60～69歳で「もっと必要」が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「機会は十分にある」が2割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

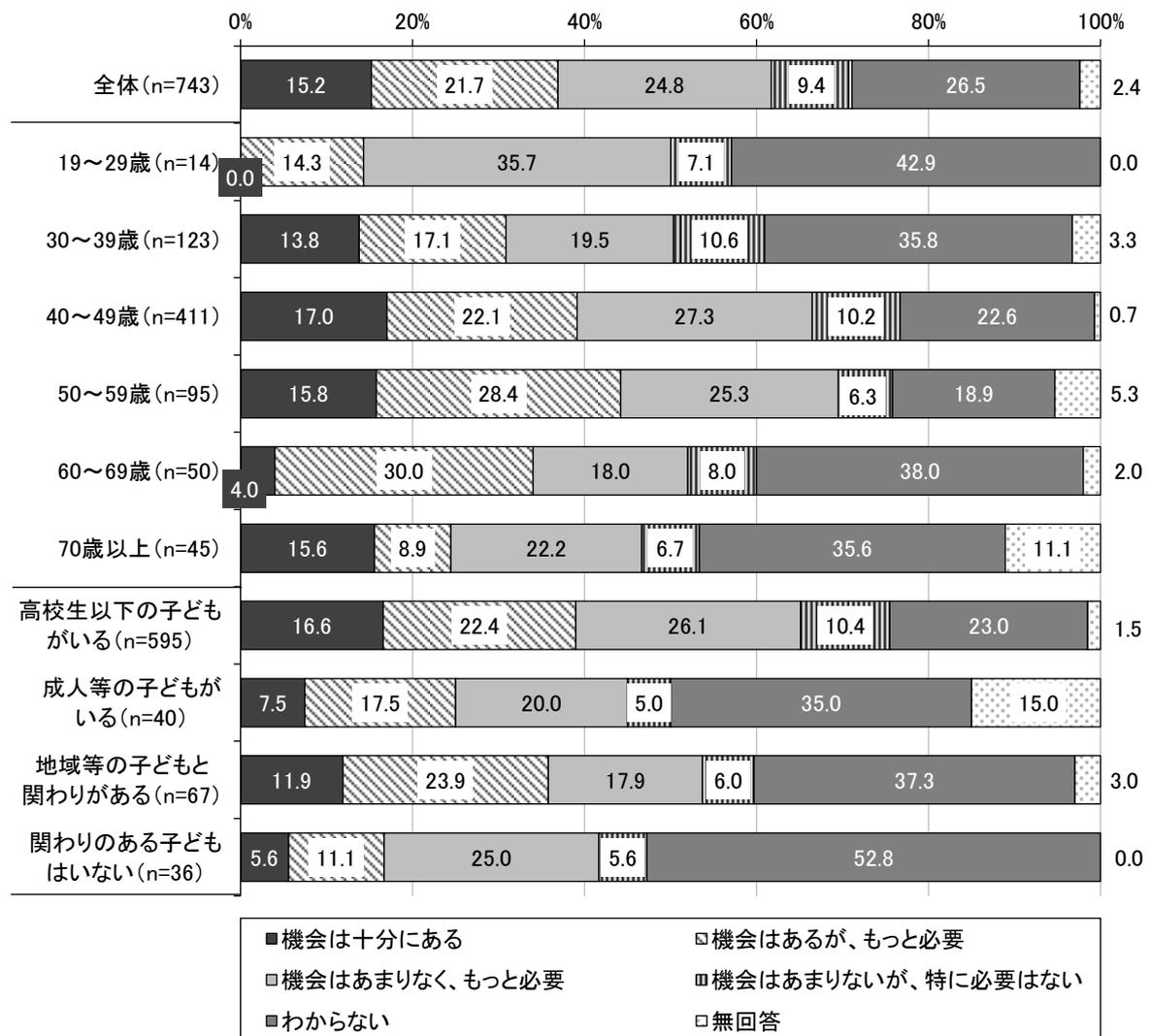


③ 学校の部活動等の活動内容に意見を言うこと

子どもが、学校の部活動等の活動内容に意見を言う機会については、「わからない」が26.5%と最も多く、次いで「機会はまだなく、もっと必要」が24.8%となっています。また、「もっと必要」が46.5%となっています。

年齢別にみると、50～59歳で「もっと必要」が5割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】以外で「わからない」が3～5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

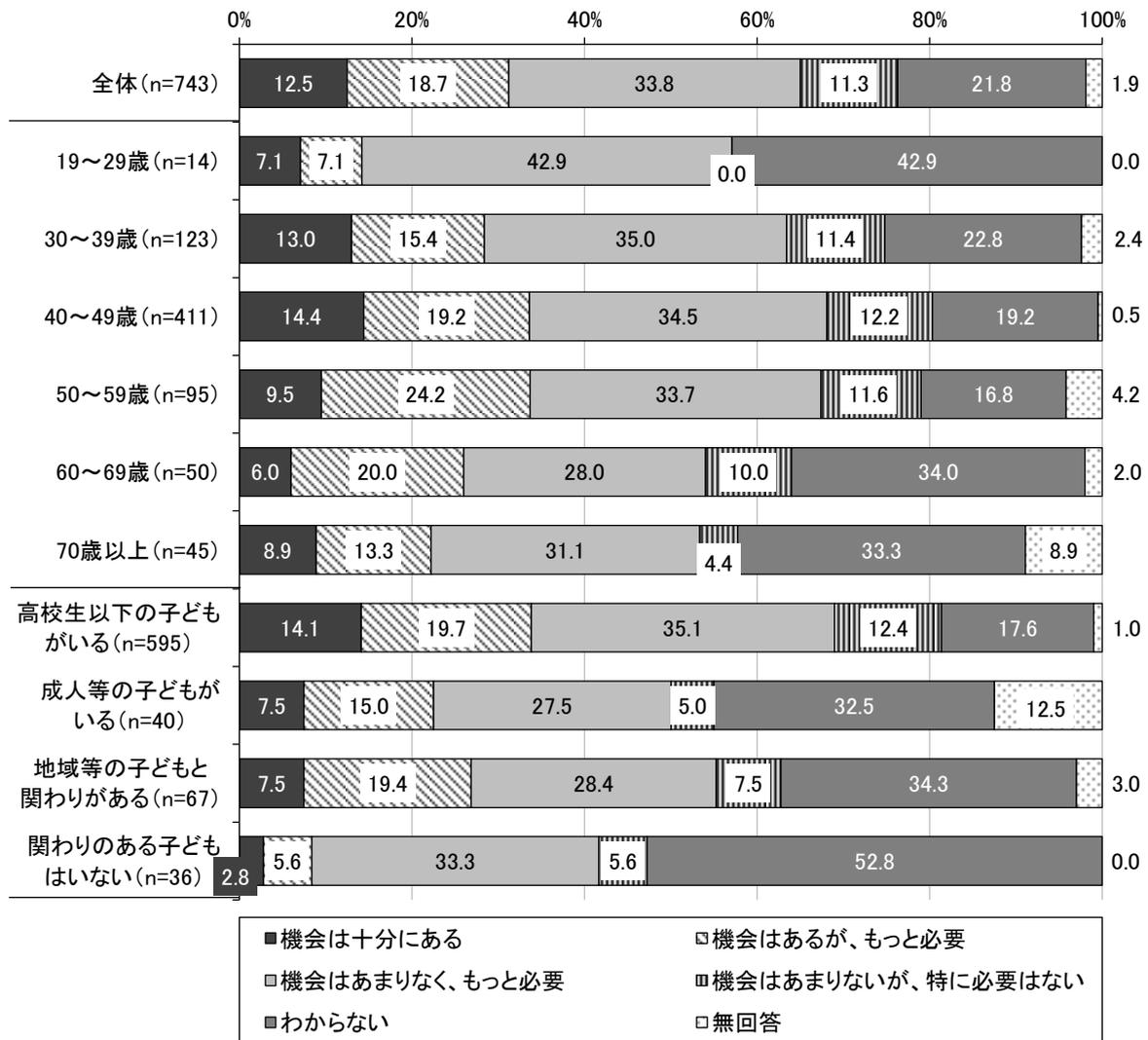


④ 学校の決まりごとに意見を言うこと

子どもが、学校の決まりごとに意見を言う機会については、「機会はありません、もっと必要」が33.8%と最も多く、次いで「わからない」が21.8%となっています。また、「もっと必要」が52.5%となっています。

年齢別にみると、50～59歳で「もっと必要」が5割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】以外で「わからない」が3～5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

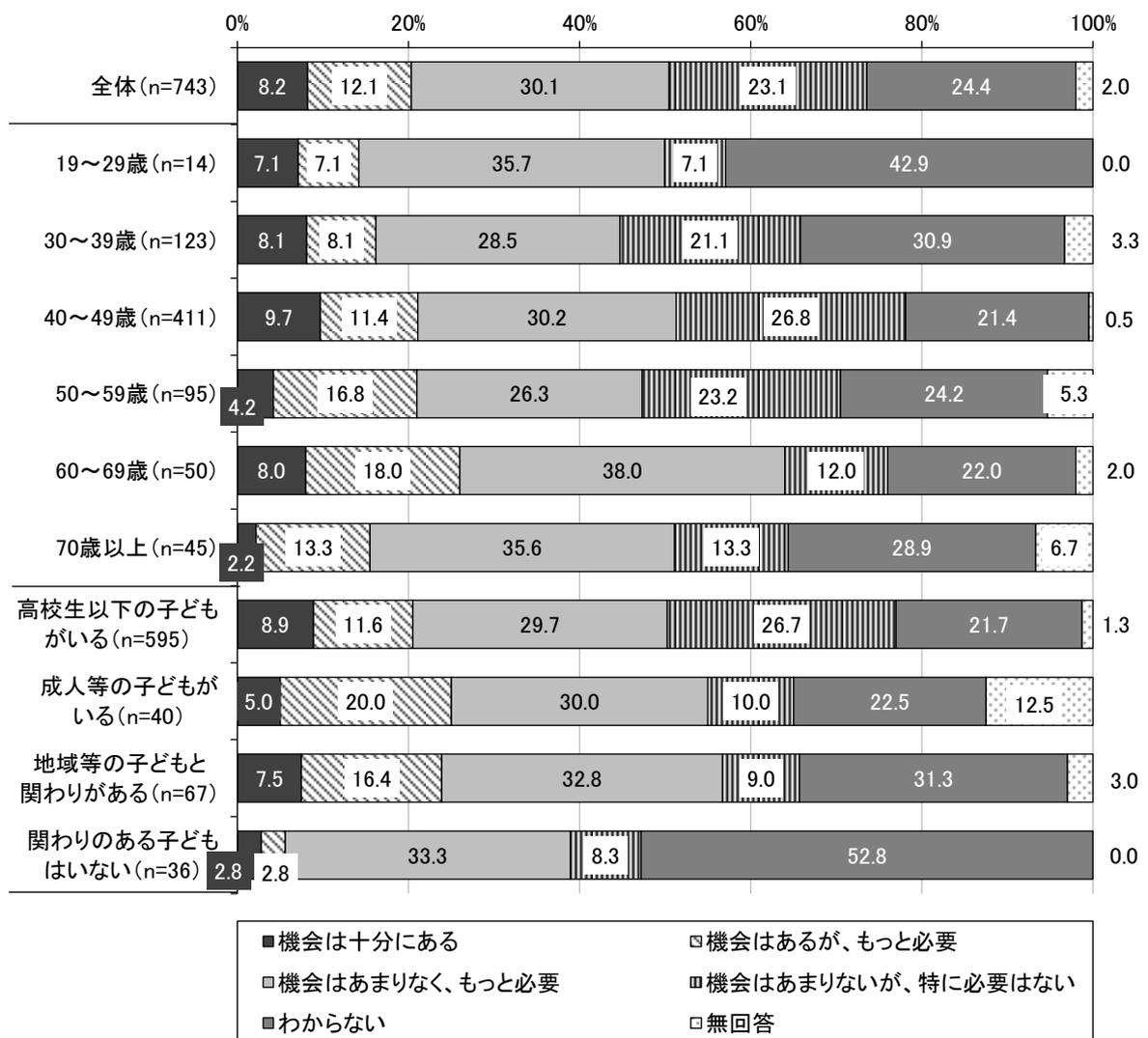


⑤ 地域の行事・イベントの企画運営に参加すること

子どもが、地域の行事・イベントの企画運営に参加する機会については、「機会はあまりなく、もっと必要」が30.1%と最も多く、次いで「わからない」が24.4%となっています。また、「もっと必要」が42.2%となっています。

年齢別にみると、60～69歳で「もっと必要」が5割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。また、【高校生以下の子どもがいる】で「機会はあまりないが、特に必要はない」が26.7%と他の項目に比べて割合が高くなっています。

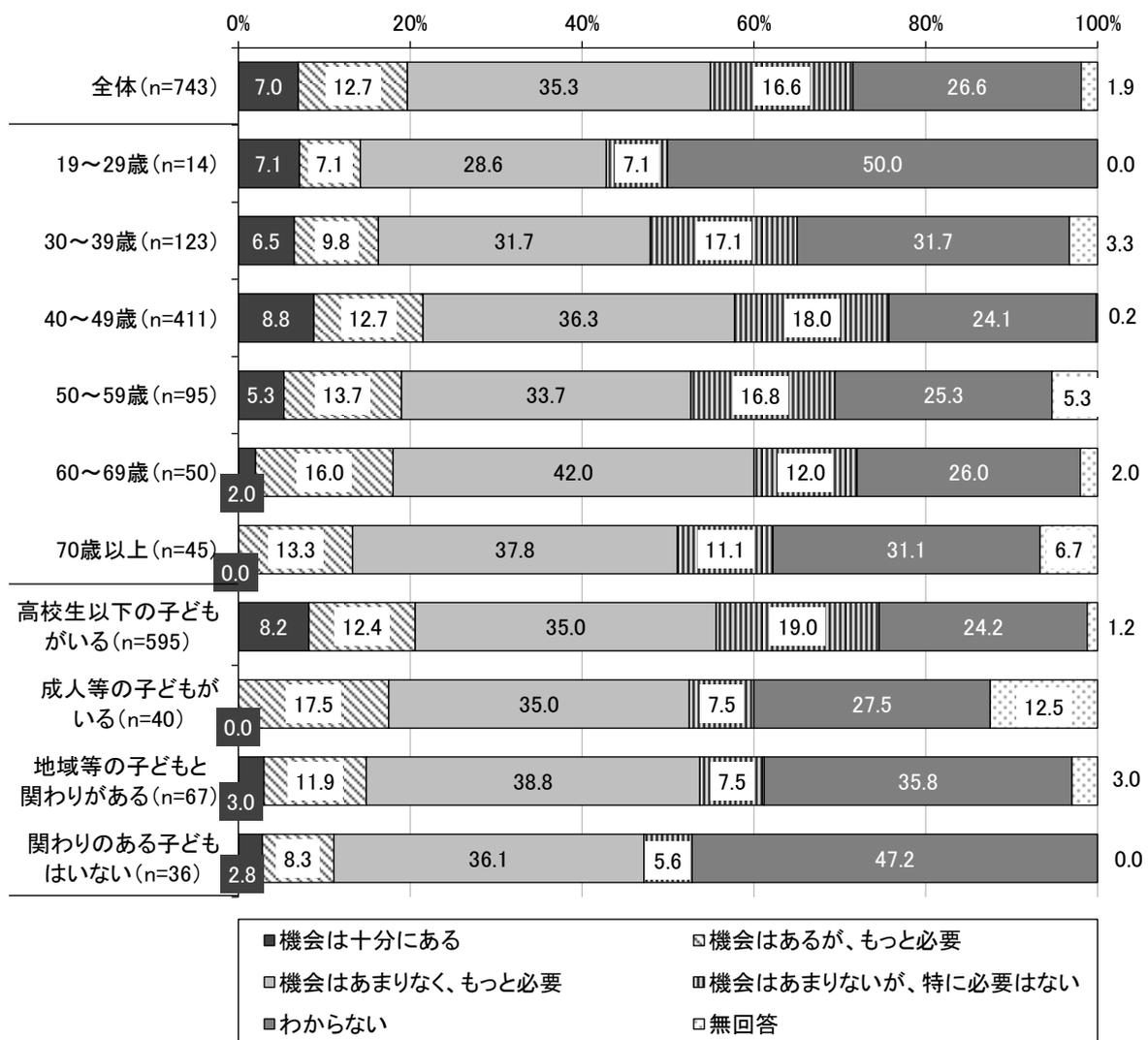


⑥ 地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること

子どもが、地域のまちづくりやボランティア活動に参加する機会については、「機会はありません、もっと必要」が35.3%と最も多く、次いで「わからない」が26.6%となっています。また、「もっと必要」が48.0%となっています。

年齢別にみると、60歳以上で「もっと必要」が5割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が約5割と他の項目に比べて割合が高くなっています。また、【高校生以下の子どもがいる】で「機会はありません、特に必要はない」が19.0%と他の項目に比べて割合が高くなっています。

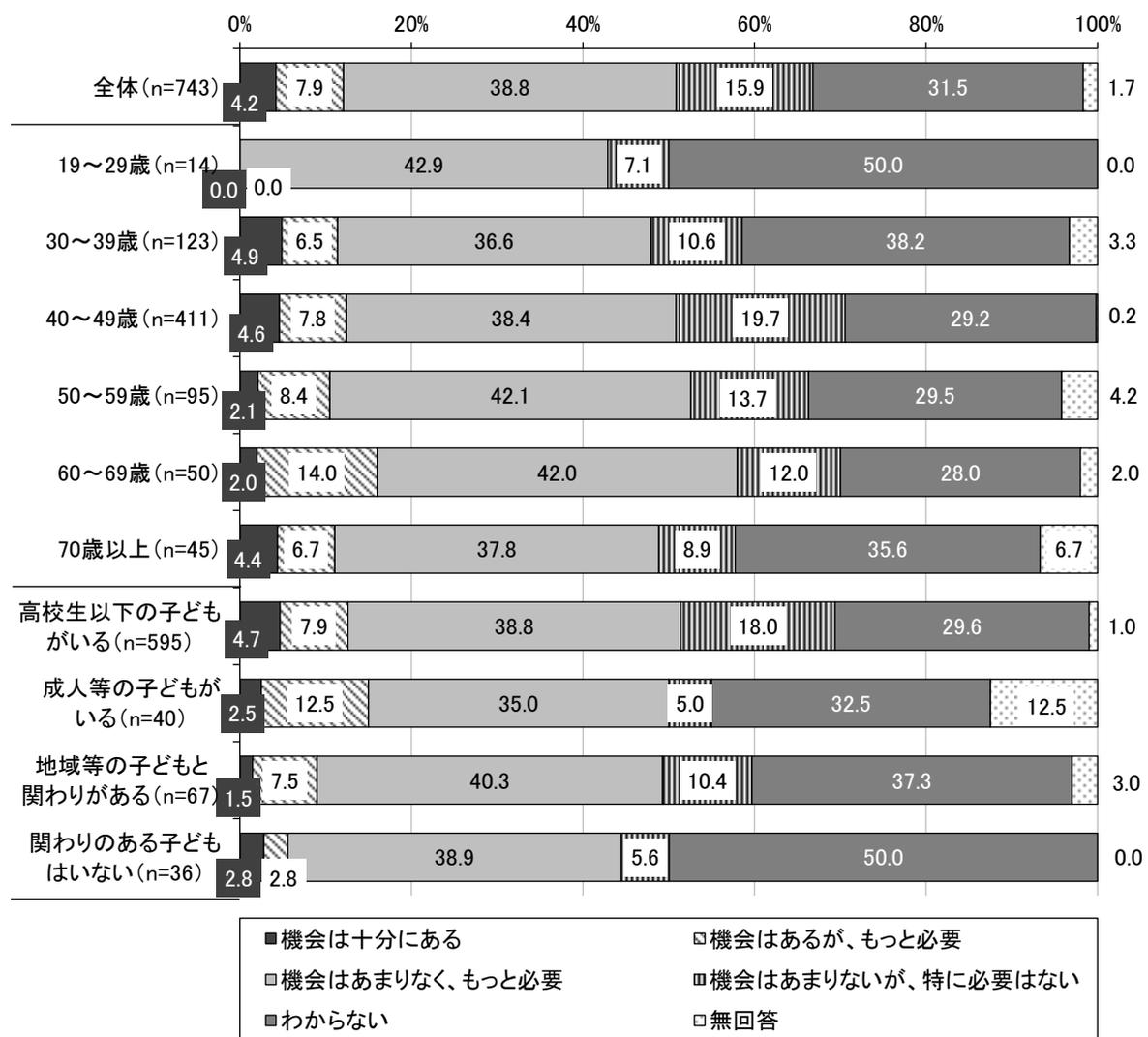


⑦ 北本市政について意見を言うこと

子どもが、北本市政について意見を言う機会については、「機会はありません、もっと必要」が38.8%と最も多く、次いで「わからない」が31.5%となっています。また、「もっと必要」が46.7%となっています。

年齢別にみると、60～69歳で「もっと必要」が5割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が50.0%と他の項目に比べて割合が高くなっています。また、【高校生以下の子どもがいる】で「機会はありません、特に必要はない」が18.0%と他の項目に比べて割合が高くなっています。



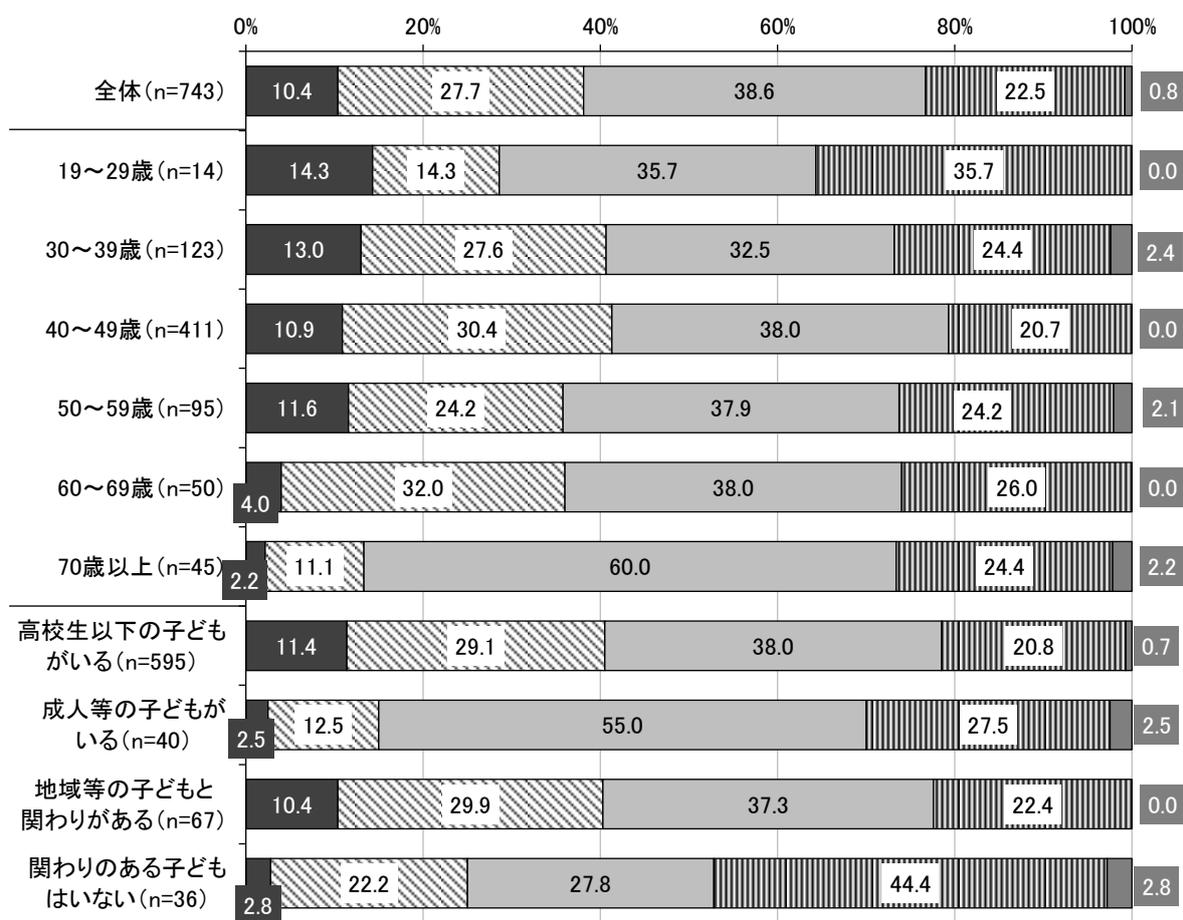
4 「子どもの権利」についておたずねします

問8 あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が38.6%と最も多く、次いで「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」が27.7%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が61.1%と、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の38.1%を23.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、“内容を知らない”は70歳以上で8割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【地域等の子どもと関わりがある】で“内容を知っている”が4割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



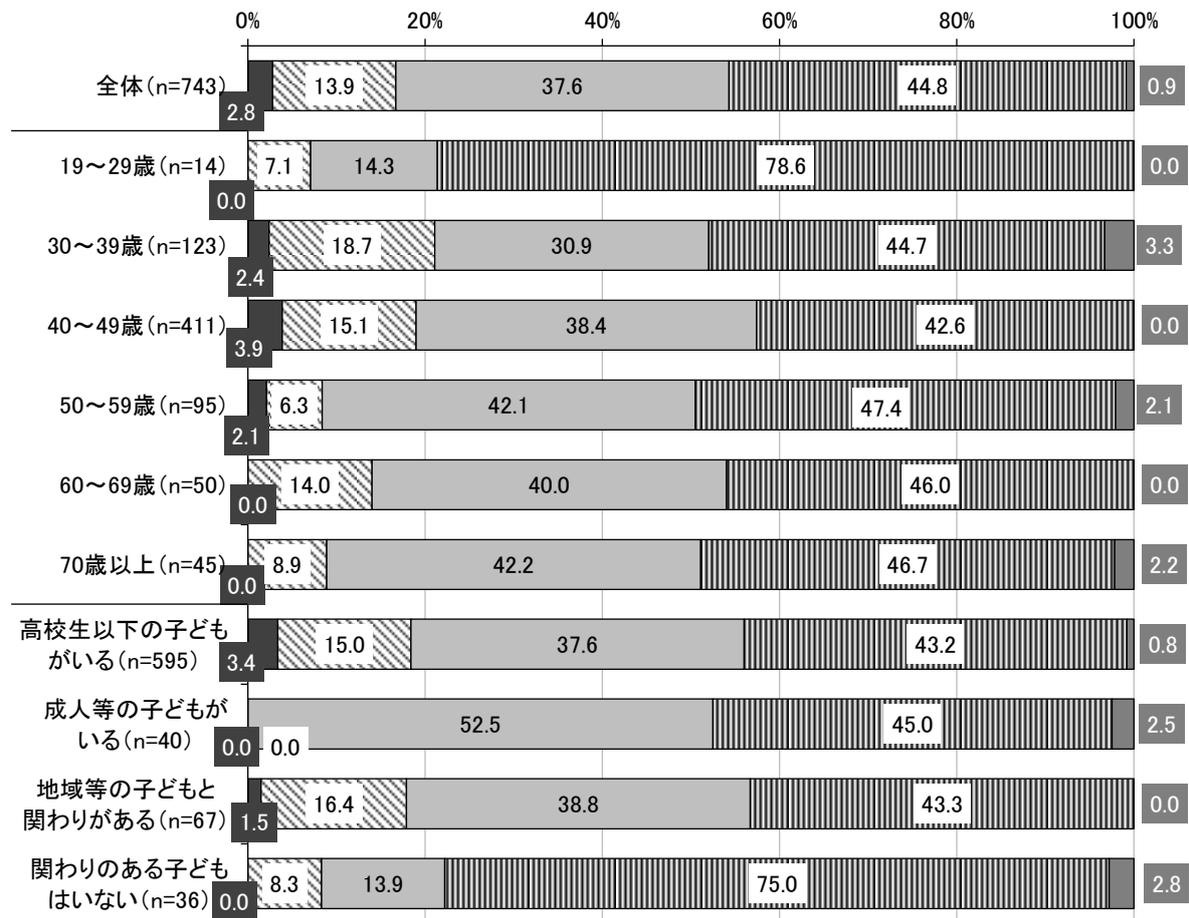
- 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- ▨ 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- ▩ 聞いたことはない
- 無回答

問9 あなたは、北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(〇は1つ)

北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはない」が44.8%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が37.6%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が82.4%と、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の16.7%を65.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、「内容を知っている」は30～39歳で2割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】で“内容は知らない”が9割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

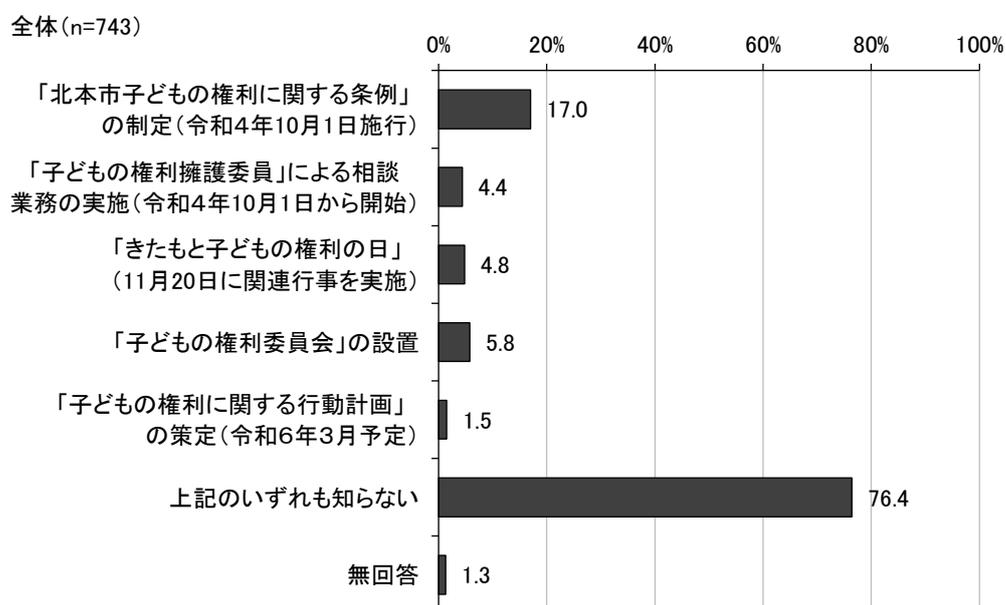


- 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- ▣ 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- ▤ 聞いたことはない
- 無回答

問10 北本市では「子どもの権利」の保障と普及啓発に向けて、様々な取組を実施しています。あなたは、市が実施している取組のうち、どれを知っていますか。(〇はいくつでも)

あなたが知っている、北本市が実施している「子どもの権利」の保障と普及啓発については、「上記のいずれも知らない」が76.4%と最も多く、次いで「『北本市子どもの権利に関する条例』の制定(令和4年10月1日施行)」が17.0%、「『子どもの権利委員会』の設置」が5.8%となっています。

年齢別にみると、いずれの年代も、「上記のいずれも知らない」が最も多くなっています。関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【地域等の子どもと関わりがある】では「『北本市子どもの権利に関する条例』の制定(令和4年10月1日施行)」が1～2割台と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

単位：%		1 日 施 行 ）	「北 本 市 子 ど も の 権 利 に 関 す る 制 定 （ 令 和 4 年 1 月 1 日 か ら 開 始 ）	「子 ど も の 権 利 擁 護 委 員 会 」 に よ る 相 談 業 務 の 実 施 （ 令 和 4 年 1 月 1 日 か ら 開 始 ）	「ぎ た も と 子 ど も の 権 利 の 日 」 （ 1 月 2 0 日 に 関 連 行 事 を 実 施 ）	「子 ど も の 権 利 委 員 会 」 の 設 置	「子 ど も の 権 利 に 関 す る 行 動 計 画 」 の 策 定 （ 令 和 6 年 3 月 予 定 ）	上 記 の い ず れ も 知 ら な い	無 回 答
年 齢 別	19～29歳 (n=14)	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0	
	30～39歳 (n=123)	18.7	7.3	6.5	8.9	4.1	69.9	2.4	
	40～49歳 (n=411)	18.2	3.9	6.1	6.8	1.2	76.4	0.0	
	50～59歳 (n=95)	11.6	3.2	0.0	3.2	1.1	80.0	3.2	
	60～69歳 (n=50)	18.0	6.0	2.0	2.0	0.0	82.0	0.0	
	70歳以上 (n=45)	13.3	2.2	4.4	0.0	0.0	77.8	6.7	
関 わ り の あ る 子 ど も	高校生以下の子どもがいる (n=595)	17.3	4.4	5.4	6.4	1.7	75.8	1.0	
	成人等の子どもがいる (n=40)	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	82.5	5.0	
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	23.9	10.4	4.5	1.5	1.5	76.1	0.0	
	関わりのある子どもはいない (n=36)	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	83.3	2.8	

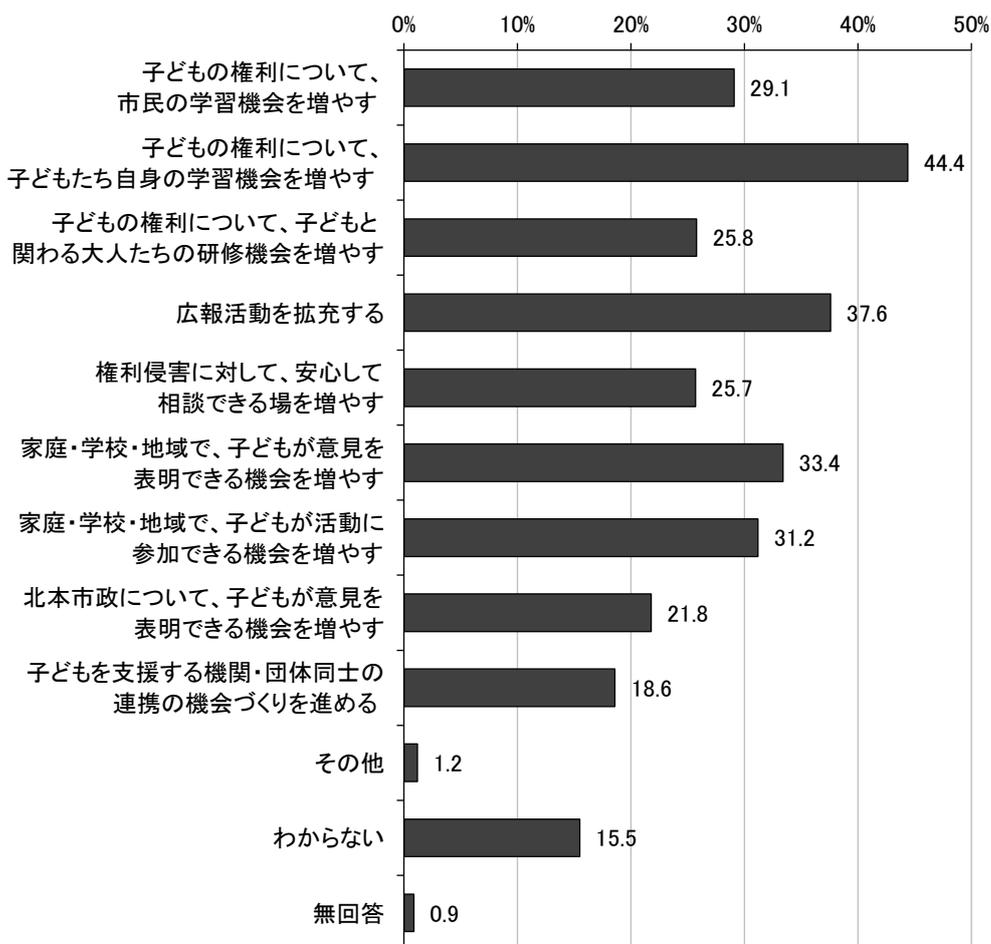
問 1 1 あなたは、「子どもの権利」の普及と子どもの社会参加促進に向けて、今後どのような取組が必要と思いますか。(〇はいくつでも)

「子どもの権利」の普及と子どもの社会参加促進に向けて、今後必要だと思う取組については、「子どもの権利について、子どもたち自身の学習機会を増やす」が44.4%と最も多く、次いで「広報活動を拡充する」が37.6%、「家庭・学校・地域で、子どもが意見を表明できる機会を増やす」が33.4%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「子どもの権利について、子どもたち自身の学習機会を増やす」、60歳以上では「広報活動を拡充する」が最も多くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】では「広報活動を拡充する」が、【地域等の子どもと関わりがある】では「子どもの権利について、市民の学習機会を増やす」「広報活動を拡充する」「家庭・学校・地域で、子どもが意見を表明できる機会を増やす」がそれぞれ46.3%と、最も多くなっています。

全体(n=743)



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

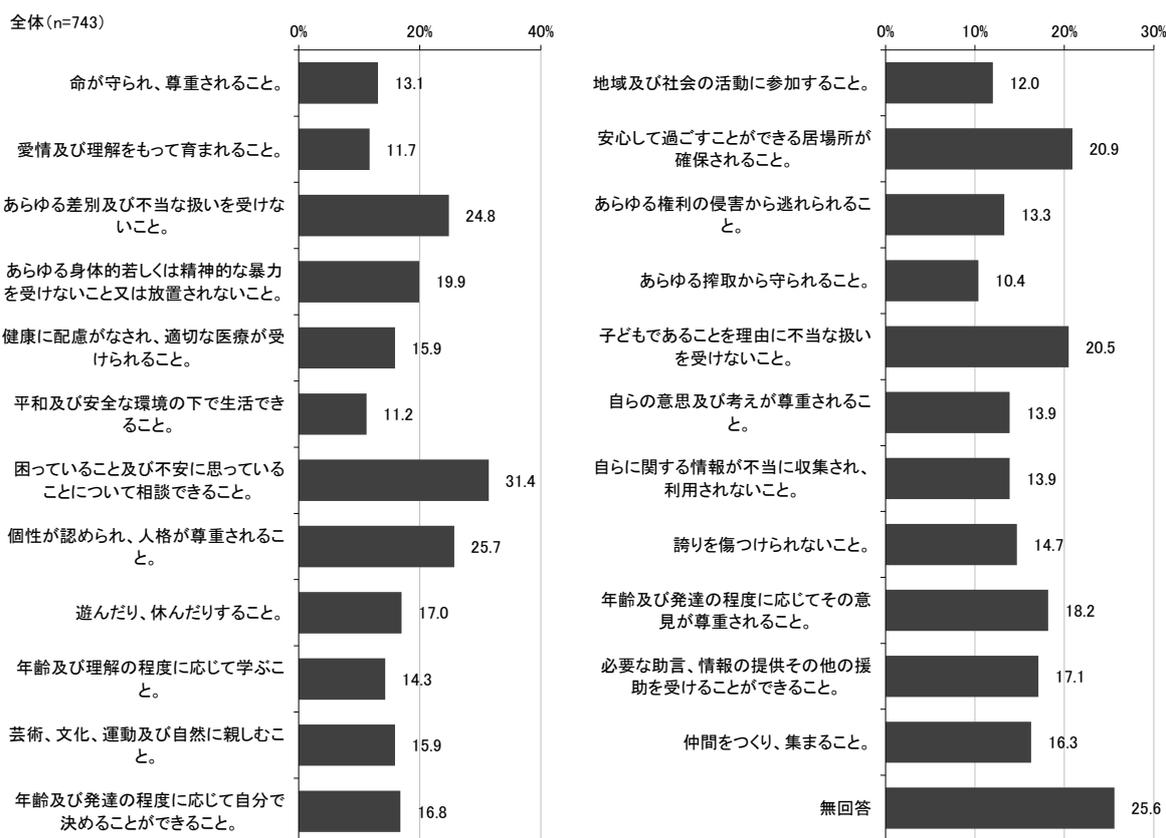
単位：%		子どもの学習機会を増やす	子どもの権利について、子どもたち自身の学習機会を増やす	子どもの権利について、の研修機会を増やす	子どもの権利について、の研修機会を増やす	広報活動を拡充する	権利侵害に対して、安心して相談できる場を増やす	機会を増やす	家庭・学校・地域で、子どもが意見を表明できる機会を増やす	家庭・学校・地域で、子どもが活動に参加できる機会を増やす	北本市政について、子どもが意見を表明できる機会を増やす	子どもを支援する機会・団体同士の連携の機会づくりを進める	その他	わからない	無回答
年齢別	19～29歳 (n=14)	35.7	21.4	35.7	35.7	35.7	50.0	42.9	42.9	21.4	0.0	14.3	0.0		
	30～39歳 (n=123)	28.5	48.8	25.2	33.3	22.8	32.5	34.1	23.6	17.9	0.0	17.1	2.4		
	40～49歳 (n=411)	27.7	44.5	24.1	37.0	23.8	36.0	31.6	22.1	17.8	1.7	13.6	0.0		
	50～59歳 (n=95)	31.6	50.5	25.3	42.1	32.6	28.4	25.3	17.9	17.9	0.0	16.8	2.1		
	60～69歳 (n=50)	26.0	36.0	30.0	42.0	38.0	26.0	26.0	24.0	22.0	2.0	16.0	0.0		
	70歳以上 (n=45)	40.0	33.3	37.8	44.4	20.0	28.9	31.1	13.3	26.7	2.2	24.4	4.4		
	関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	27.2	47.1	24.4	36.3	24.4	33.8	30.8	21.0	17.6	1.2	14.6	0.8	
	成人等の子どもがいる (n=40)	27.5	37.5	25.0	45.0	22.5	20.0	22.5	10.0	15.0	2.5	20.0	2.5		
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	46.3	35.8	38.8	46.3	38.8	46.3	38.8	32.8	32.8	1.5	13.4	0.0		
	関わりのある子どもはいない (n=36)	27.8	25.0	27.8	36.1	27.8	22.2	30.6	27.8	13.9	0.0	27.8	2.8		

問12 「子どもの権利条例」では、保障されなければならない大切な子どもの権利として「安心して生きる権利」「自分らしく育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの権利と、23の項目を挙げています。あなたは、これらの中で、北本市でまだ十分ではないと感じるものはありますか。(〇はいくつでも)

「子どもの権利条例」で挙げられる、北本市でまだ十分でないと感じる項目については、「困っていること及び不安に思っていることについて相談できること」が31.4%と最も多く、次いで「個性が認められ、人格が尊重されること」が25.7%、「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」が24.8%となっています。

年齢別にみると、30～39歳では「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」、70歳以上では「安心して過ごすことができる居場所が確保されること」が、最も多くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】では、「自らの意見を表明することができ、その年齢及び発達の程度に応じてその意見が尊重されること」が33.3%と、最も多くなっています。



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

単位: %		命が守られ、尊重されること。	愛情及び理解をもって育まれること。	あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと。	あらゆる身体的若しくは精神的な暴力を受けないこと又は放置されないこと。	あらゆる権利の侵害から守られること。	健康に配慮がなされ、適切な医療が受けられること。	平和及び安全な環境の下で生活できること。	困っていること及び不安に思っていることについて相談できること。	個性が認められ、人格が尊重されること。	遊んだり、休んだりすること。	年齢及び理解の程度に応じて学ぶこと。	芸術、文化、運動及び自然に親しむこと。	年齢及び発達の程度に応じて自分で決めることができること。
年齢別	19～29歳 (n=14)	7.1	7.1	7.1	21.4	0.0	0.0	42.9	28.6	21.4	14.3	28.6	14.3	
	30～39歳 (n=123)	17.1	13.8	30.9	17.9	21.1	16.3	28.5	29.3	15.4	15.4	17.9	11.4	
	40～49歳 (n=411)	9.5	11.4	21.9	19.0	13.9	10.2	28.0	23.1	19.5	12.4	15.1	15.8	
	50～59歳 (n=95)	14.7	10.5	25.3	17.9	17.9	11.6	37.9	21.1	9.5	20.0	12.6	26.3	
	60～69歳 (n=50)	14.0	10.0	30.0	32.0	10.0	4.0	40.0	40.0	20.0	16.0	22.0	20.0	
	70歳以上 (n=45)	33.3	15.6	35.6	26.7	28.9	17.8	44.4	33.3	11.1	15.6	15.6	20.0	
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	11.4	10.9	23.4	17.8	15.8	11.6	28.6	23.9	17.3	13.8	15.1	15.8	
	成人等の子どもがいる (n=40)	17.5	15.0	25.0	30.0	12.5	7.5	37.5	30.0	10.0	12.5	20.0	22.5	
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	25.4	14.9	38.8	35.8	20.9	11.9	50.7	40.3	22.4	20.9	22.4	25.4	
	関わりのある子どもはいない (n=36)	11.1	16.7	22.2	16.7	11.1	5.6	30.6	22.2	11.1	11.1	13.9	13.9	
単位: %		と地域及び社会の活動に参加すること。	が安心して過ごすことができる居場所が確保されること。	あらゆる権利の侵害から逃れられること。	あらゆる権利の侵害から守られること。	子どもであることを理由に不当な扱いを受けないこと。	自らの意思及び考えが尊重されること。	自らに関する情報が不当に収集され、利用されないこと。	誇りを傷つけられないこと。	年齢及び発達の程度に応じてその意見が尊重されること。	必要な助言、情報の提供その他の援助を受けられること。	仲間をつくり、集まること。	無回答	
年齢別	19～29歳 (n=14)	21.4	0.0	7.1	21.4	21.4	14.3	0.0	0.0	7.1	14.3	35.7	21.4	
	30～39歳 (n=123)	7.3	17.9	13.0	12.2	22.8	13.0	10.6	14.6	13.0	13.8	17.9	21.1	
	40～49歳 (n=411)	11.9	19.5	11.9	8.8	19.2	12.9	13.6	14.6	16.8	16.3	15.3	25.5	
	50～59歳 (n=95)	13.7	18.9	11.6	7.4	15.8	13.7	14.7	14.7	22.1	17.9	12.6	29.5	
	60～69歳 (n=50)	16.0	26.0	22.0	20.0	26.0	22.0	20.0	18.0	24.0	22.0	20.0	24.0	
	70歳以上 (n=45)	15.6	48.9	24.4	13.3	31.1	17.8	22.2	17.8	35.6	28.9	20.0	26.7	
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	11.1	18.2	11.3	8.7	19.3	12.6	12.6	14.6	15.5	15.1	15.0	25.5	
	成人等の子どもがいる (n=40)	17.5	22.5	20.0	15.0	22.5	12.5	22.5	7.5	22.5	25.0	15.0	37.5	
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	14.9	43.3	26.9	19.4	31.3	26.9	20.9	23.9	31.3	26.9	28.4	14.9	
	関わりのある子どもはいない (n=36)	16.7	22.2	13.9	16.7	19.4	13.9	13.9	8.3	33.3	25.0	19.4	30.6	

【安心して生きる権利】

1. 命が守られ、尊重されること。
2. 愛情及び理解をもって育まれること。
3. あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと。
4. あらゆる身体的若しくは精神的な暴力を受けないこと又は放置されないこと。
5. 健康に配慮がなされ、適切な医療が受けられること。
6. 平和及び安全な環境の下で生活できること。
7. 困っていること及び不安に思っていることについて相談できること。

【自分らしく育つ権利】

8. 個性が認められ、人格が尊重されること。
9. 遊んだり、休んだりすること。
10. 年齢及び理解の程度に応じて学ぶこと。
11. 芸術、文化、運動及び自然に親しむこと。
12. 自らに関係することについて、必要な助言、情報の提供その他の援助を受け、年齢及び発達に応じて自分で決めることができること。
13. 地域及び社会の活動に参加すること。
14. 安心して過ごすことができる居場所が確保されること。

【守られる権利】

15. あらゆる権利の侵害から逃れられること。
16. あらゆる搾取から守られること。
17. 子どもであることを理由に不当な扱いを受けないこと。
18. 自らの意思及び考えが尊重されること。
19. 自らに関する情報が不当に収集され、利用されないこと。
20. 誇りを傷つけられないこと。

【参加する権利】

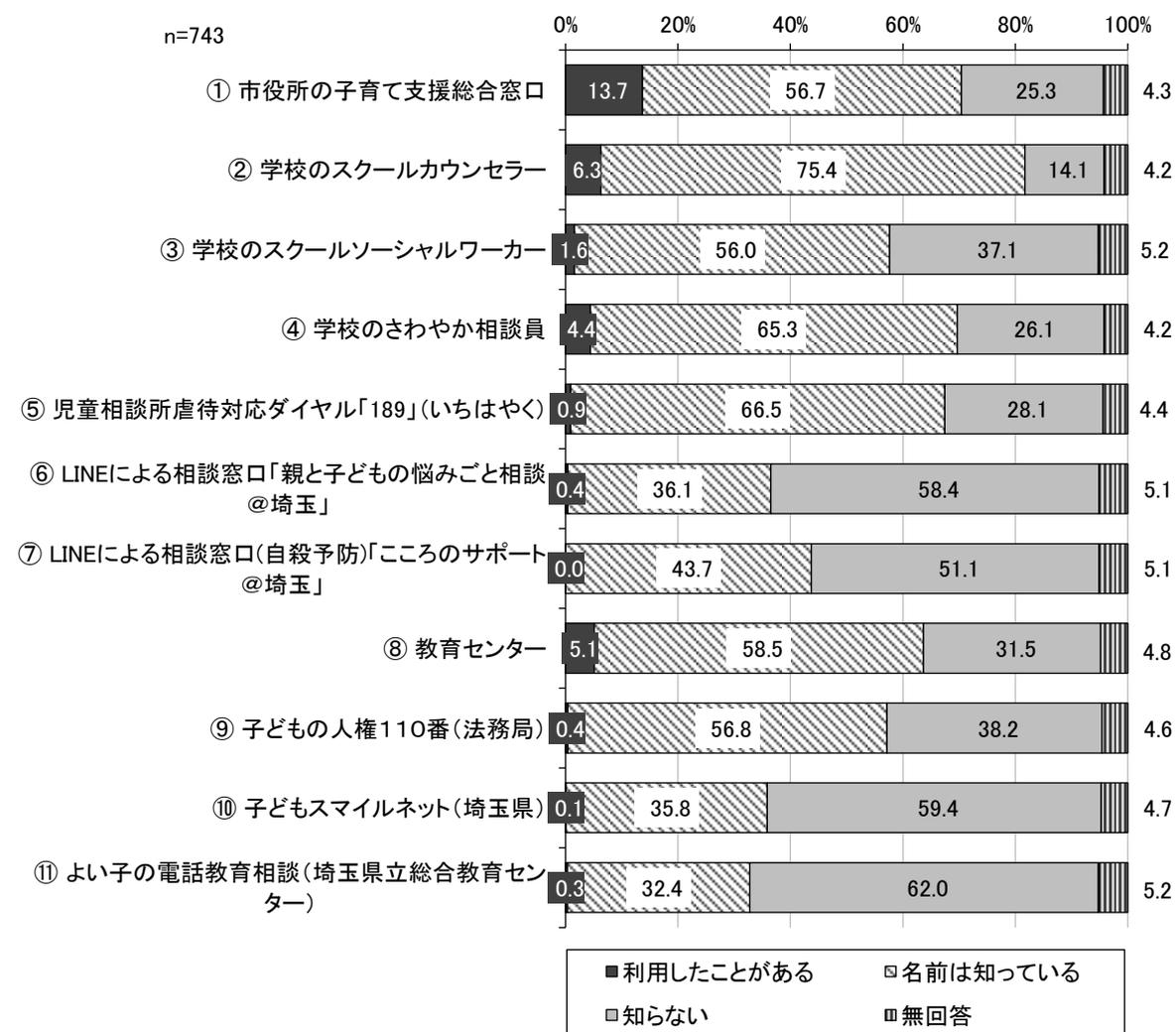
21. 自らの意見を表明することができ、その年齢及び発達に応じてその意見が尊重されること。
22. 自らの意見を表明するために、必要な助言、情報の提供その他の援助を受けることができること。
23. 仲間をつくり、集まること。

問13 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところはどこですか。(○はそれぞれ1つ)

知っている相談機関については、「利用したことがある」で① 市役所の子育て支援総合窓口>が1割台と高くなっています。また、「名前は知っている」が② 学校のスクールカウンセラー>で7割台、④ 学校のさわやか相談員>と⑤ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」(いちはやく)>で6割台となっています。

また、⑥ LINEによる相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」>、⑩ 子どもスマイルネット(埼玉県)>と⑪ よい子の電話教育相談(埼玉県立総合教育センター)>で「知らない」が5割後半から6割前半と他の項目に比べて割合が高くなっています。

さらに、⑫ その他>では「名前は知っている」に2.8%、「利用したことがある」に0.8%の回答がありました。(図省略)

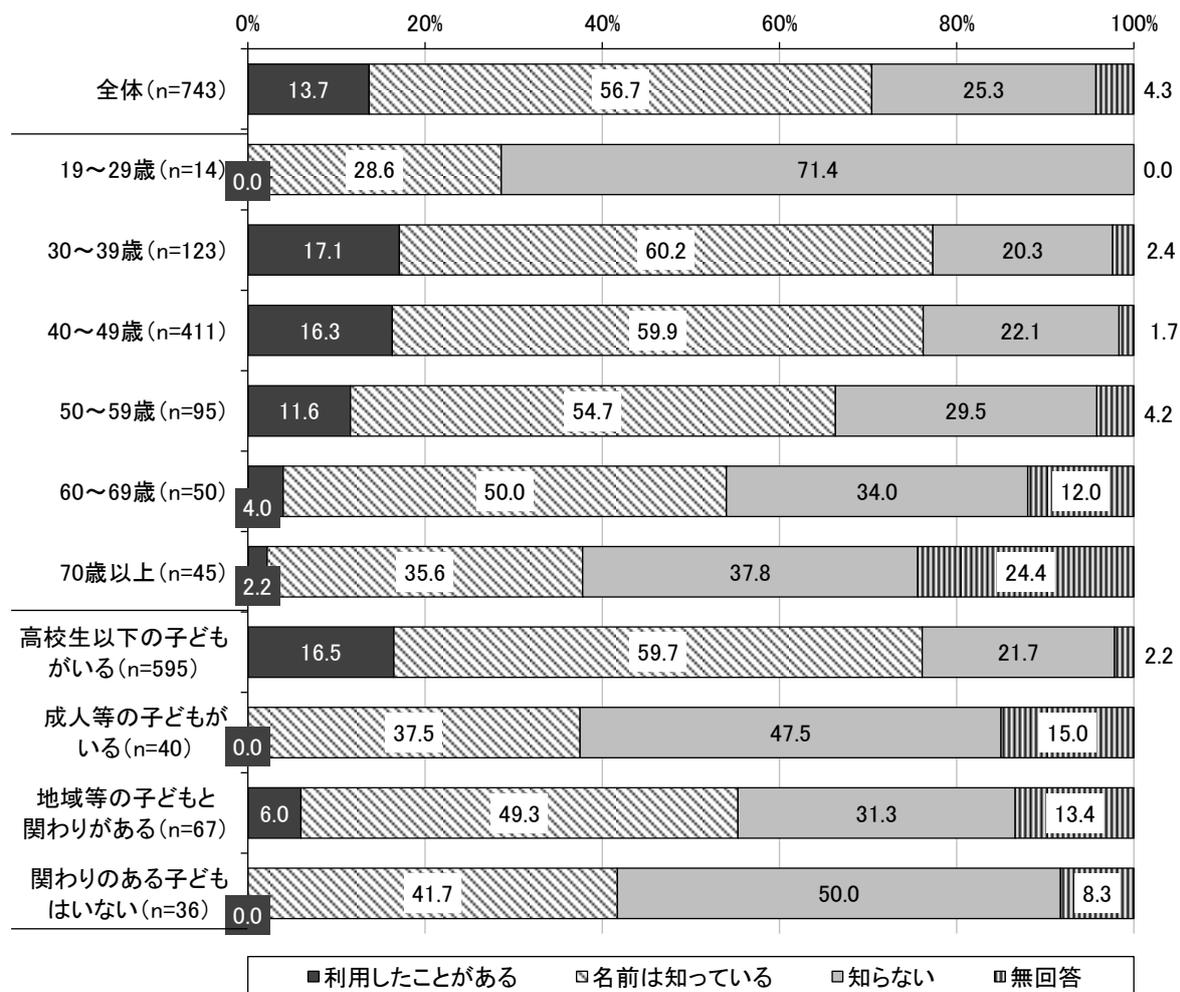


① 市役所の子育て支援総合窓口

市役所の子育て支援総合窓口については、「名前は知っている」が56.7%と最も多く、次いで「知らない」が25.3%、「利用したことがある」が13.7%となっています。

年齢別にみると、30～59歳で「利用したことがある」が1割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が4割半ばを超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

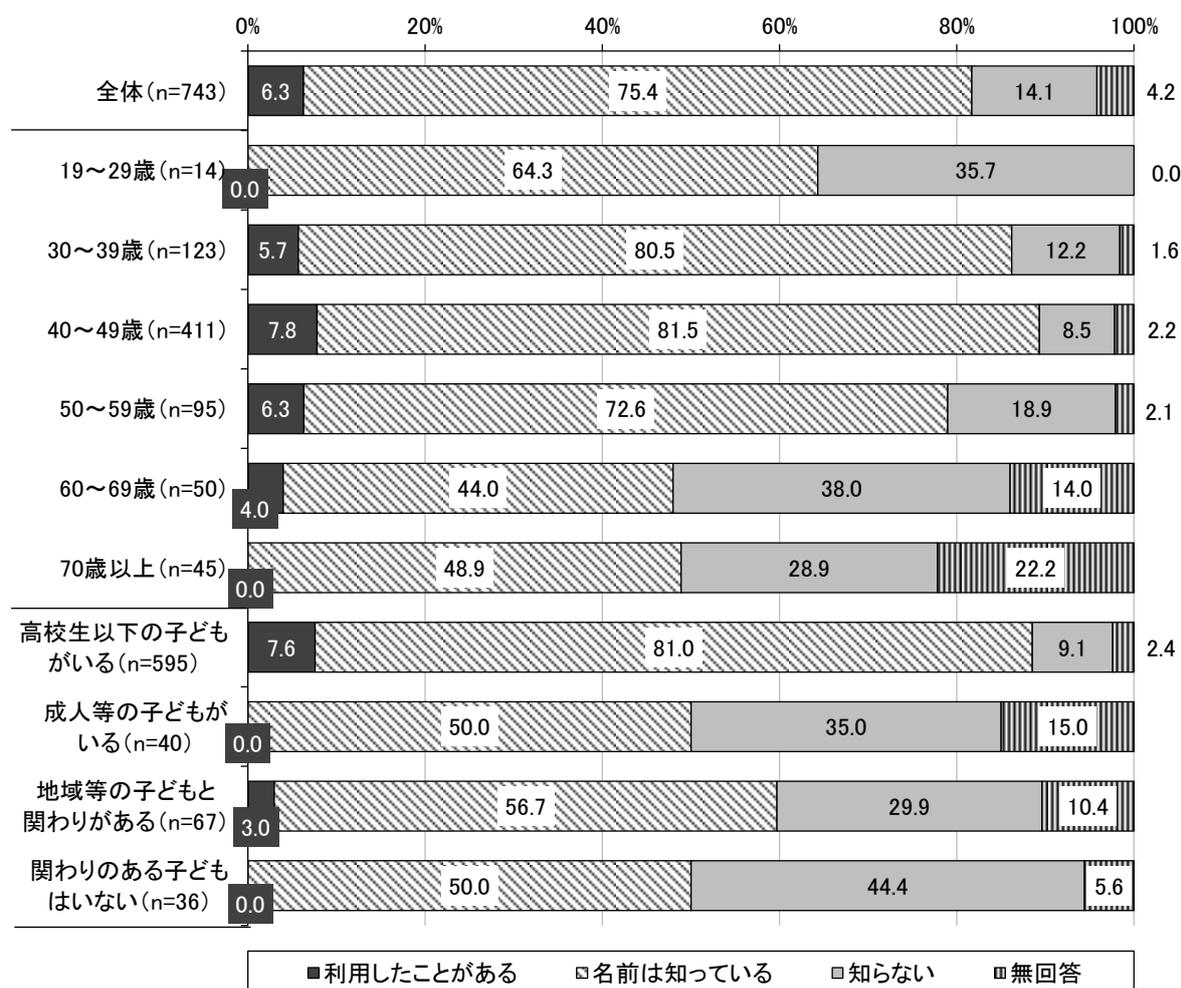


② 学校のスクールカウンセラー

学校のスクールカウンセラーについては、「名前は知っている」が75.4%と最も多く、次いで「知らない」が14.1%、「利用したことがある」が6.3%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「知らない」が2～3割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が81.0%、【成人等の子どもがいる】【地域等の子どもと関わりがある】【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が2割後半を超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

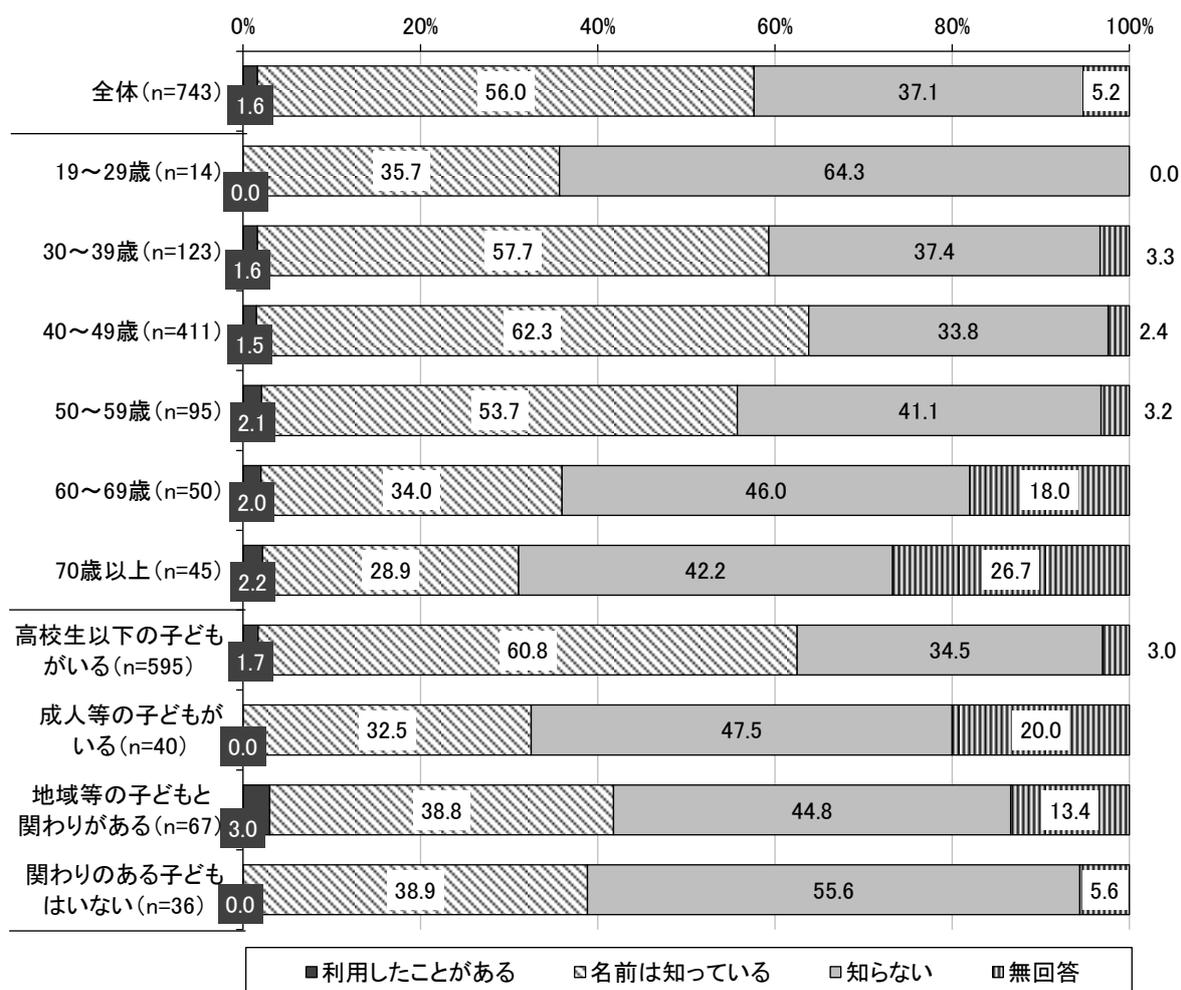


③ 学校のスクールソーシャルワーカー

学校のスクールソーシャルワーカーについては、「名前は知っている」が56.0%と最も多く、次いで「知らない」が37.1%、「利用したことがある」が1.6%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「名前は知っている」が5～6割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が60.8%、【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

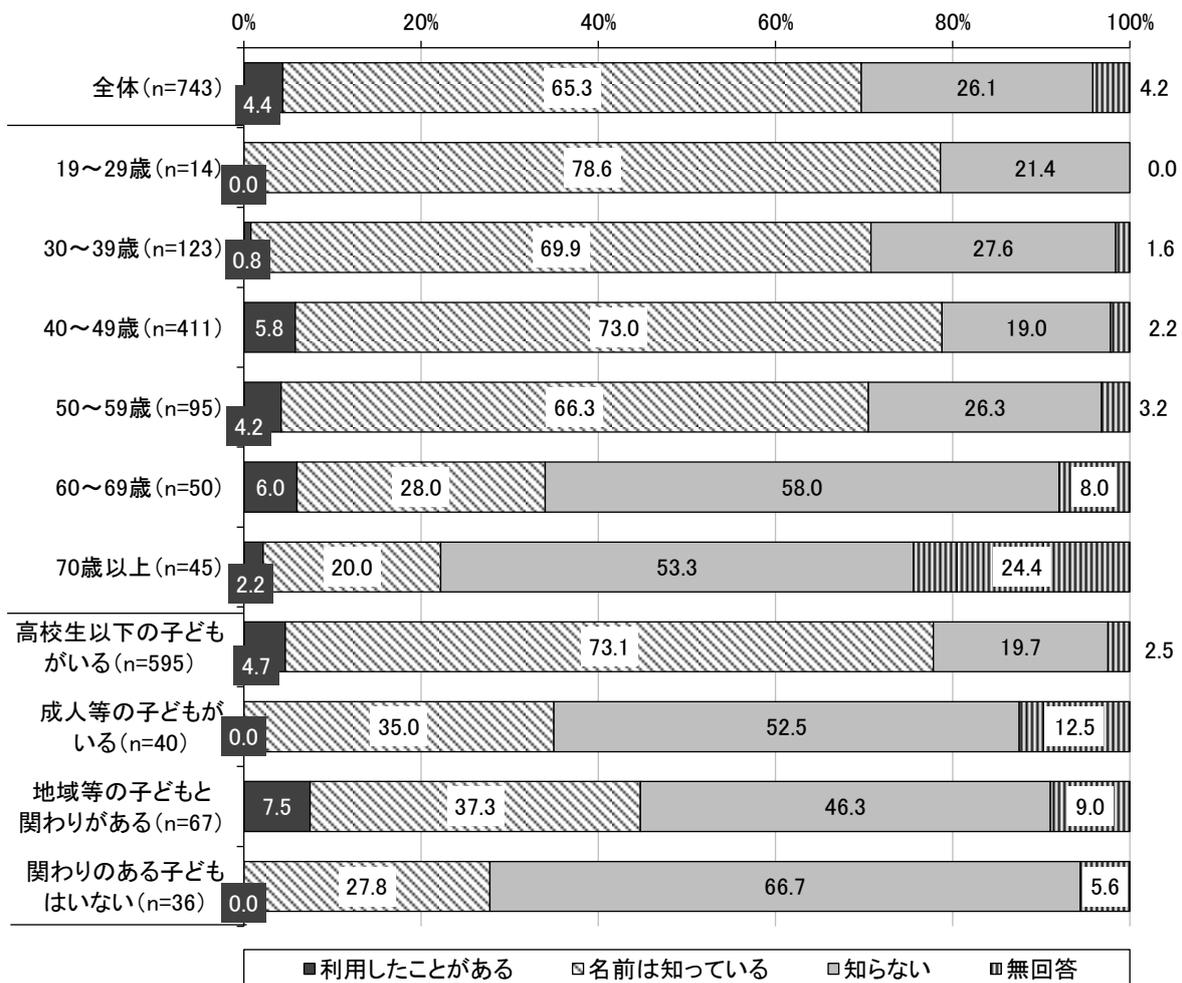


④ 学校のさわやか相談員

学校のさわやか相談員については、「名前は知っている」が 65.3%と最も多く、次いで「知らない」が 26.1%、「利用したことがある」が 4.4%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「知らない」が5割を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が 73.1%と、他に比べて割合が高くなっています。また、【成人等の子どもがいる】【地域等の子どもと関わりがある】【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が4割半ばを超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

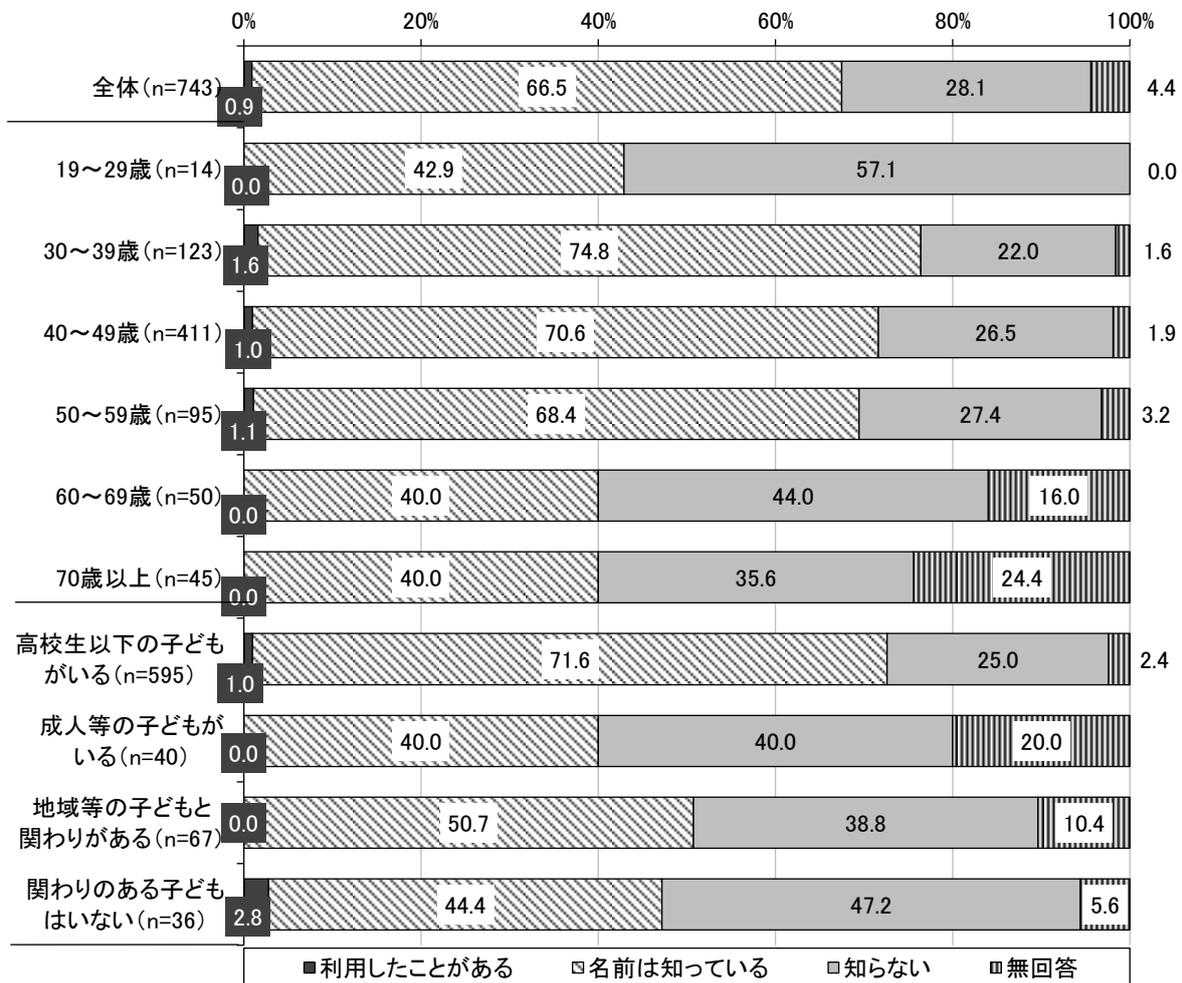


⑤ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」（いちはやく）

児童相談所虐待対応ダイヤル「189」（いちはやく）については、「名前は知っている」が66.5%と最も多く、次いで「知らない」が28.1%、「利用したことがある」が0.9%となっています。

年齢別にみると、60～69歳では「知らない」が4割半ばと、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が71.6%と、他に比べて割合が高くなっています。また、【成人等の子どもがいる】【地域等の子どもと関わりがある】【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が3割後半を超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

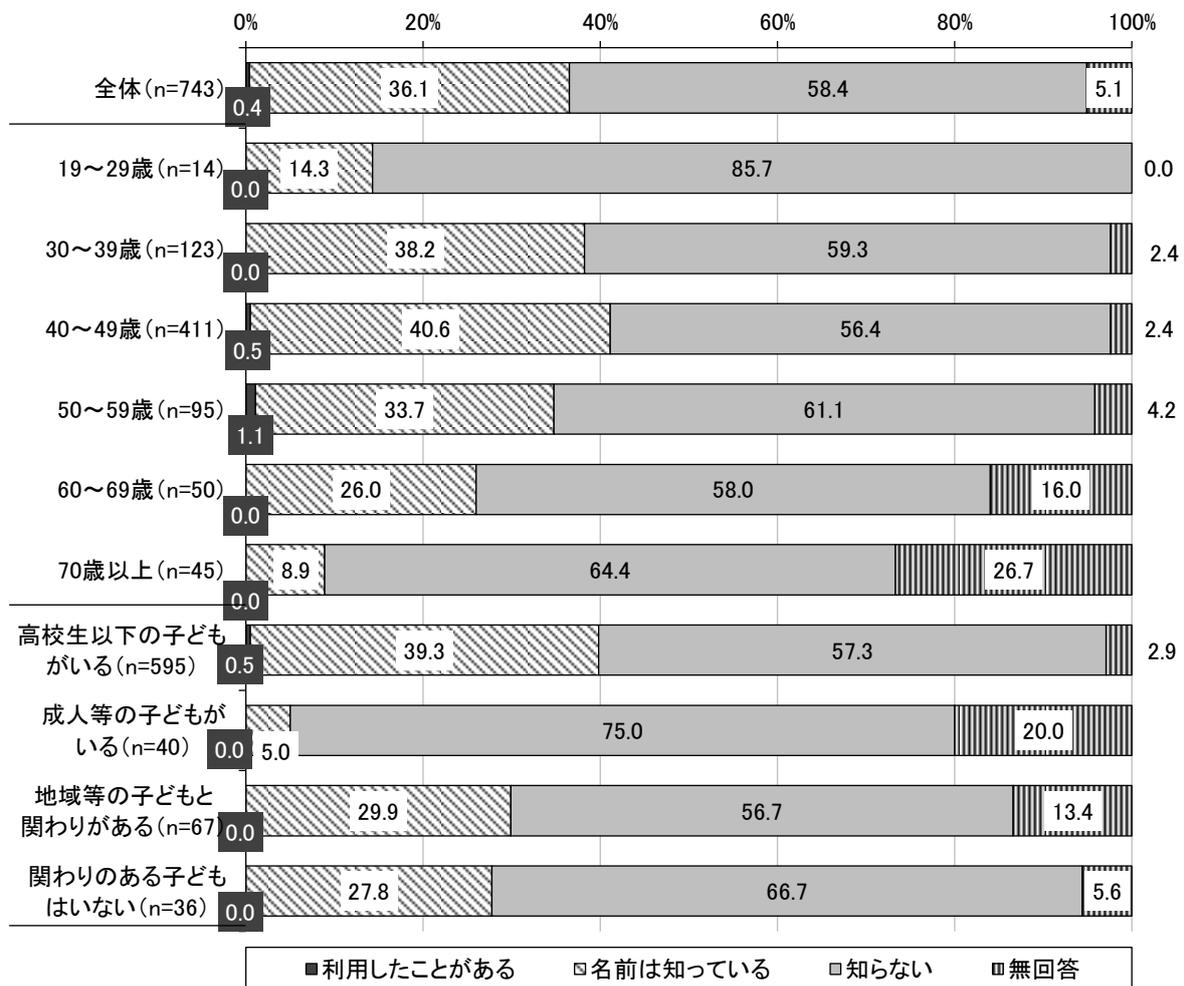


⑥ LINE による相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」

LINE による相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」については、「知らない」が 58.4%と最も多く、次いで「名前は知っている」が 36.1%、「利用したことがある」が 0.4% となっています。

年齢別にみると、30～59 歳では「名前は知っている」が 3～4 割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が 6 割半ばを超えており、他の項目に比べて割合が高くなっています。

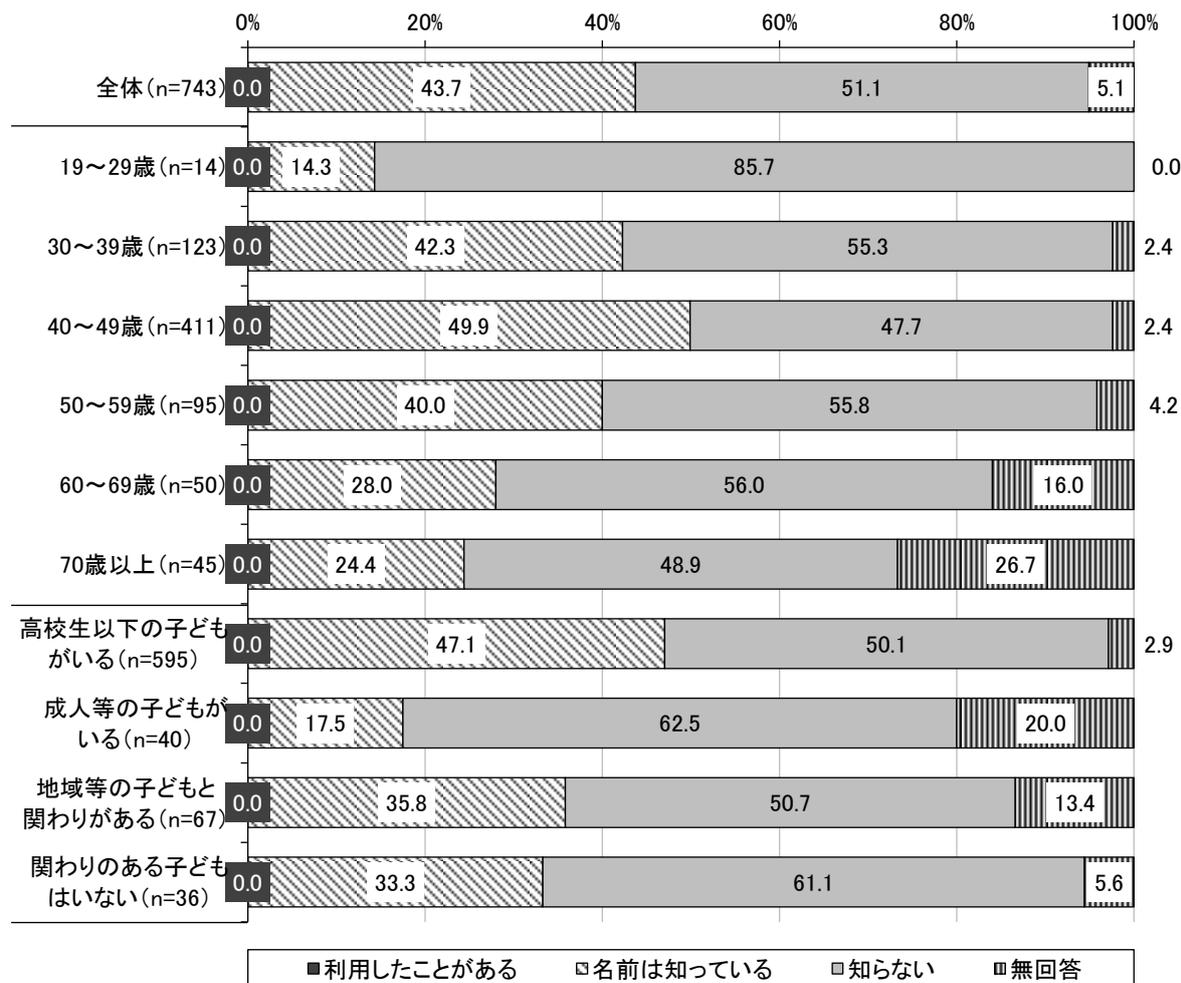


⑦ LINE による相談窓口（自殺予防）「こころのサポート@埼玉」

LINE による相談窓口（自殺予防）「こころのサポート@埼玉」については、「知らない」が 51.1%と最も多く、次いで「名前は知っている」が 43.7%となっています。

年齢別にみると、30～59 歳では「名前は知っている」が 4 割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が 47.1%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

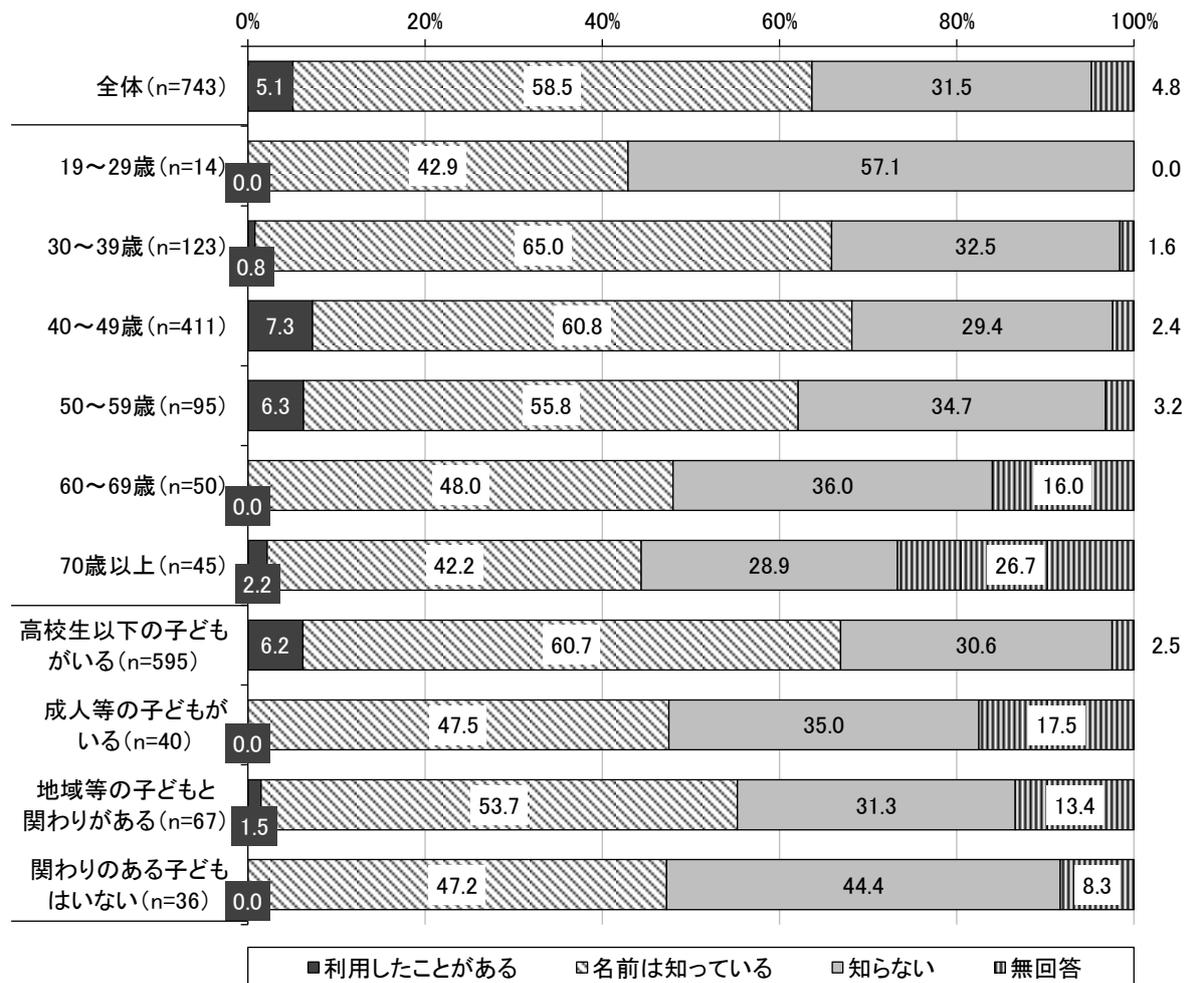


⑧ 教育センター

教育センターについては、「名前は知っている」が58.5%と最も多く、次いで「知らない」が31.5%、「利用したことがある」が5.1%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「名前は知っている」が5～6割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が60.7%と、他に比べて割合が高くなっています。また、【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が44.4%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

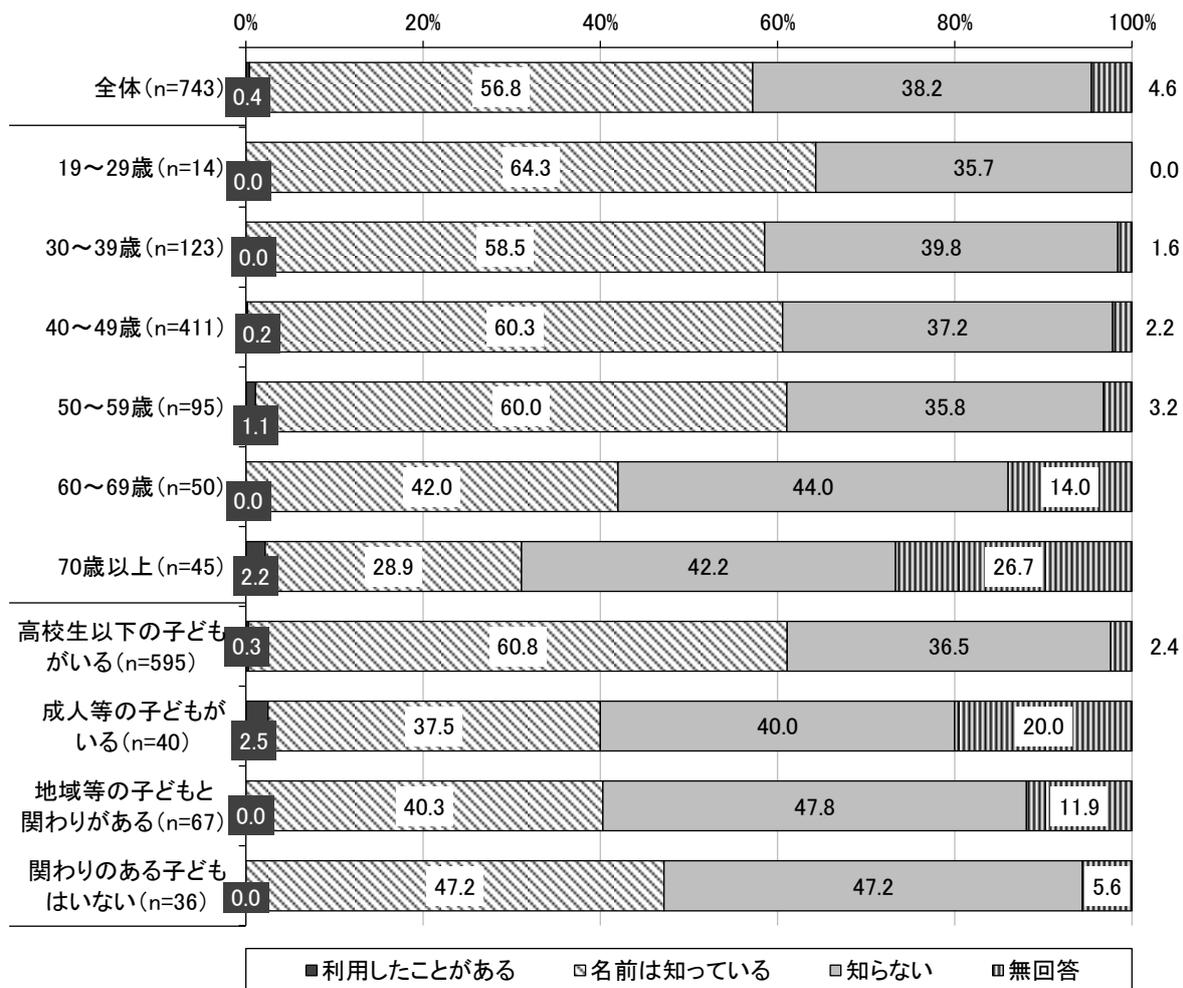


⑨ 子どもの人権110番（法務局）

子どもの人権110番（法務局）については、「名前は知っている」が56.8%と最も多く、次いで「知らない」が38.2%、「利用したことがある」が0.4%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「名前は知っている」が、他の年代に比べて割合が低くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が60.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

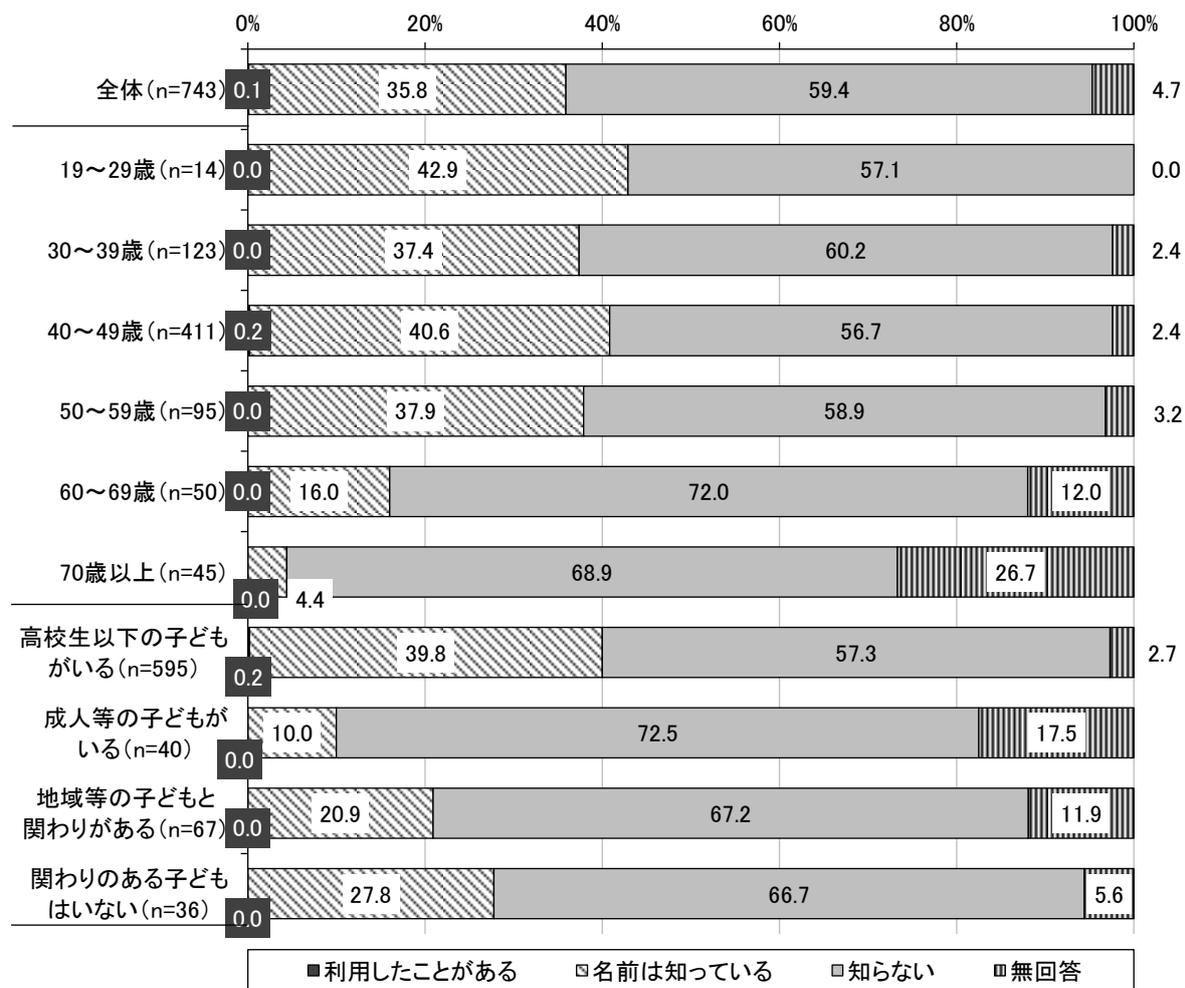


⑩ 子どもスマイルネット（埼玉県）

子どもスマイルネット（埼玉県）については、「知らない」が59.4%と最も多く、次いで「名前は知っている」が35.8%、「利用したことがある」が0.1%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「知らない」が6割後半を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が39.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

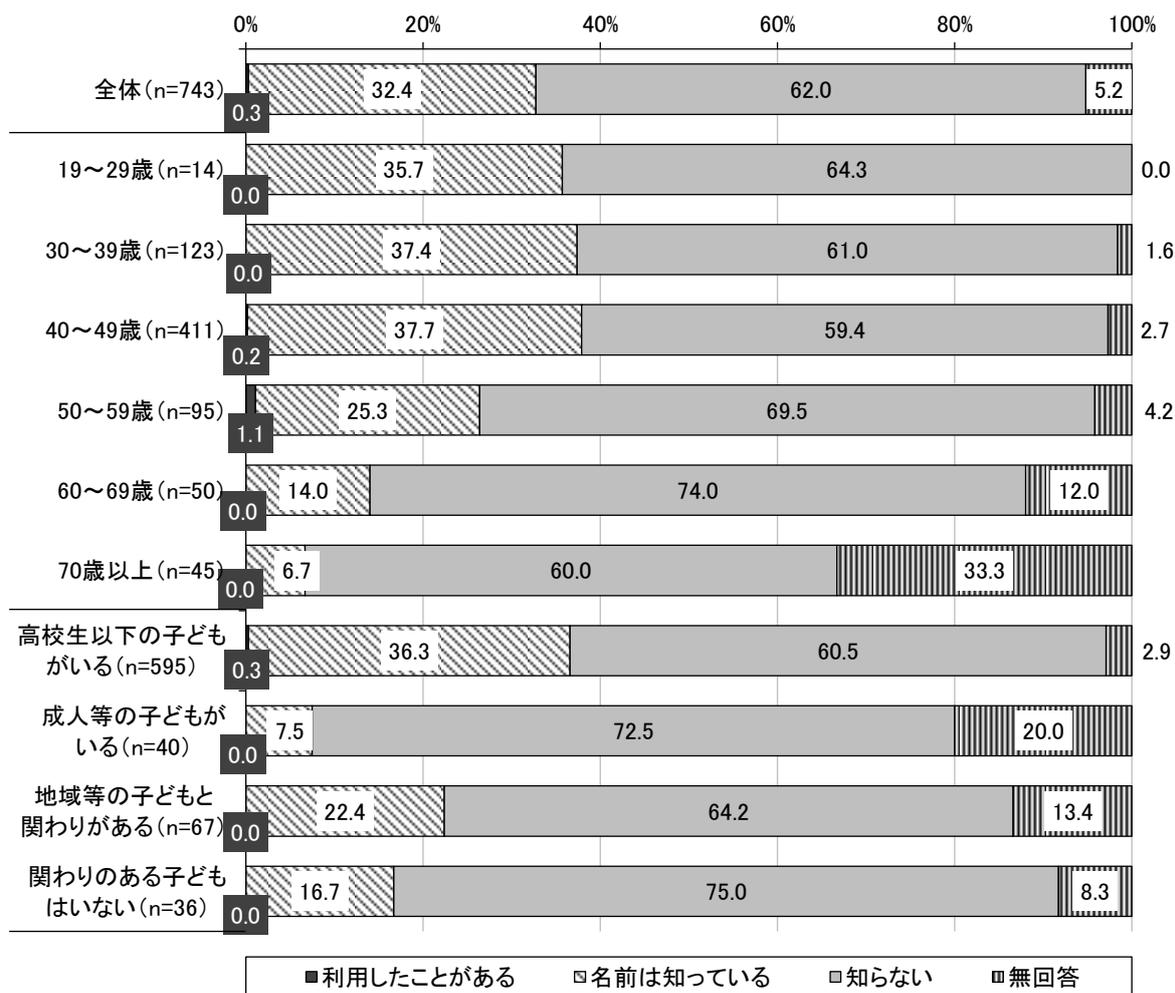


⑪ よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター）

よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター）については、「知らない」が62.0%と最も多く、次いで「名前は知っている」が32.4%、「利用したことがある」が0.3%となっています。

年齢別にみると、50～69歳では「知らない」が6割後半を超えており、他の年代に割合が比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が36.3%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

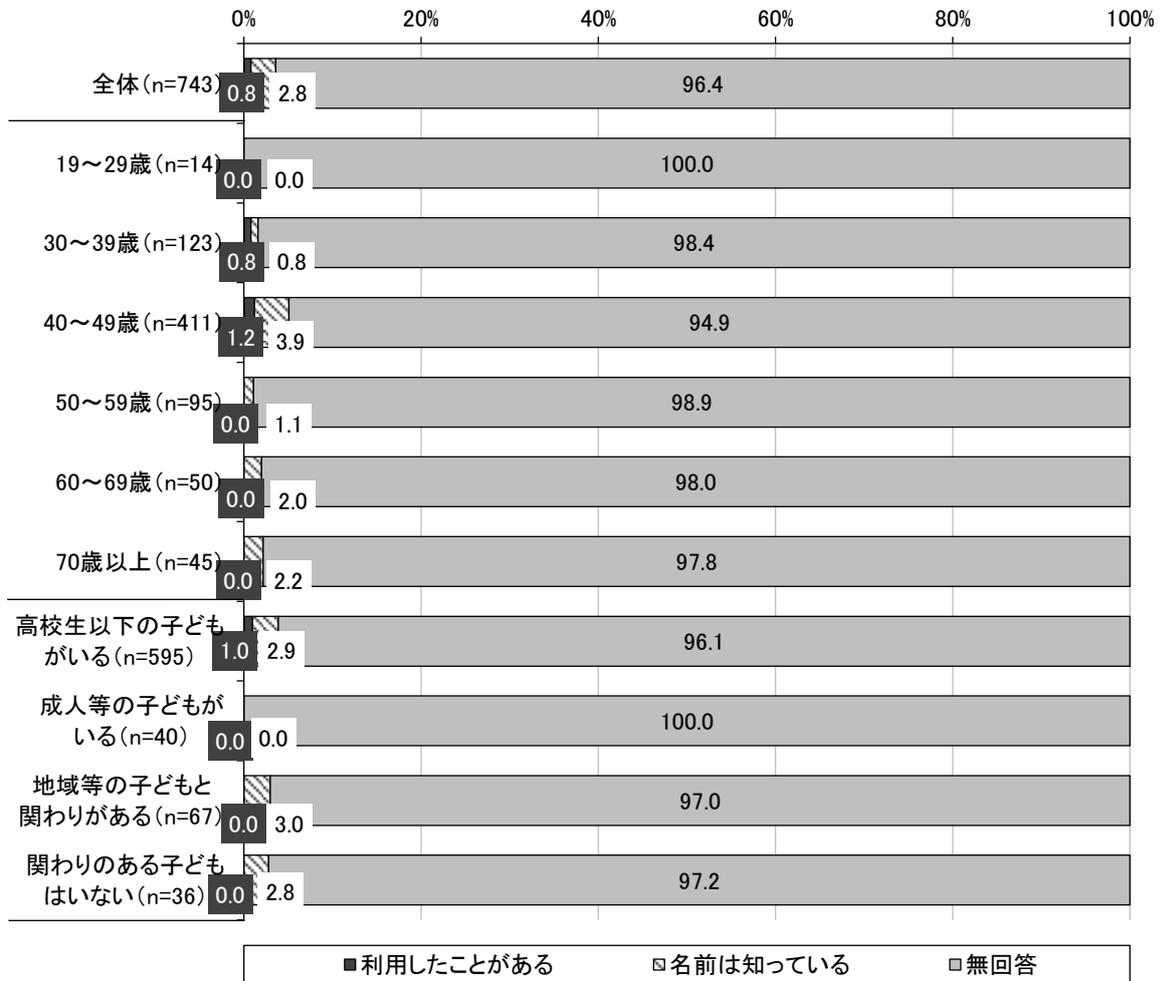


⑫ その他

その他については、「名前は知っている」が2.8%と最も多く、次いで「利用したことがある」が0.8%となっています。

年齢別にみると、大きな違いは見られません。

関わりのある子ども別にみると、大きな違いは見られません。



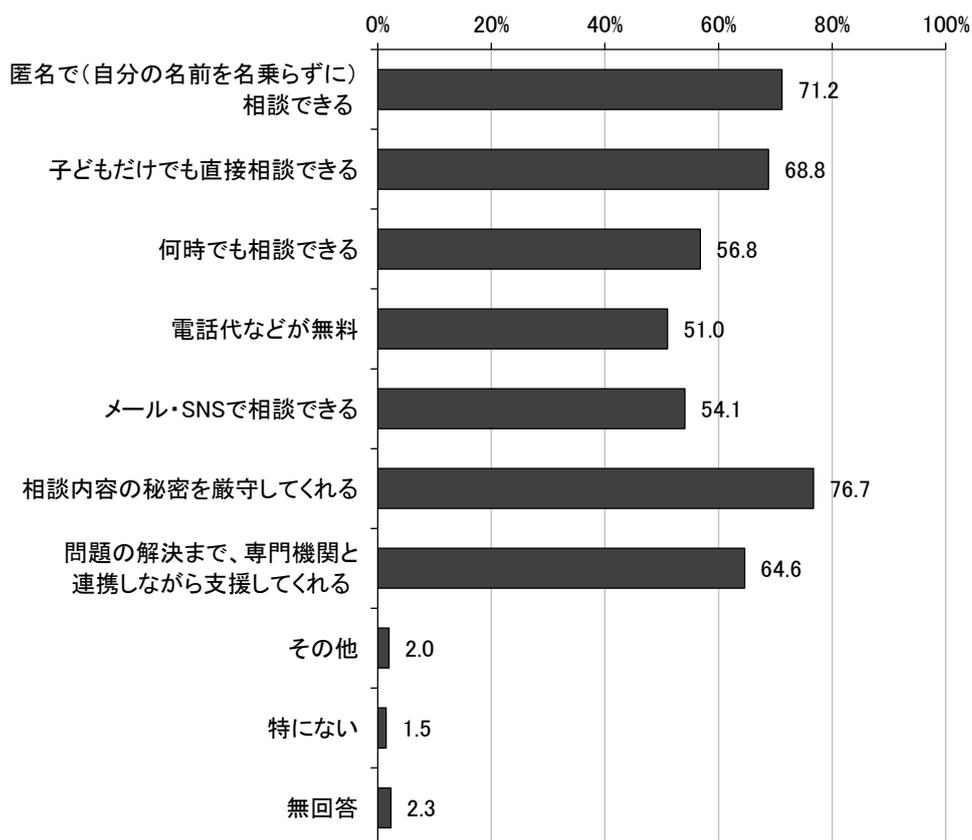
問14 子どもやご自身が相談する際に大事だと思うことは何ですか。(〇は いくつでも)

子どもや自身が相談する際に大事だと思うことについては、「相談内容の秘密を厳守してくれる」が76.7%と最も多く、次いで「匿名で（自分の名前を名乗らずに）相談できる」が71.2%、「子どもだけでも直接相談できる」が68.8%となっています。

年齢別にみると、50～59歳では、「匿名で（自分の名前を名乗らずに）相談できる」が、30～49歳と60歳以上では「相談内容の秘密を厳守してくれる」が最も多くなっています。また、30～39歳と50～59歳で「子どもだけでも直接相談できる」が7割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】では「問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる」と「相談内容の秘密を厳守してくれる」ともに最も多くなっています。

全体(n=743)



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

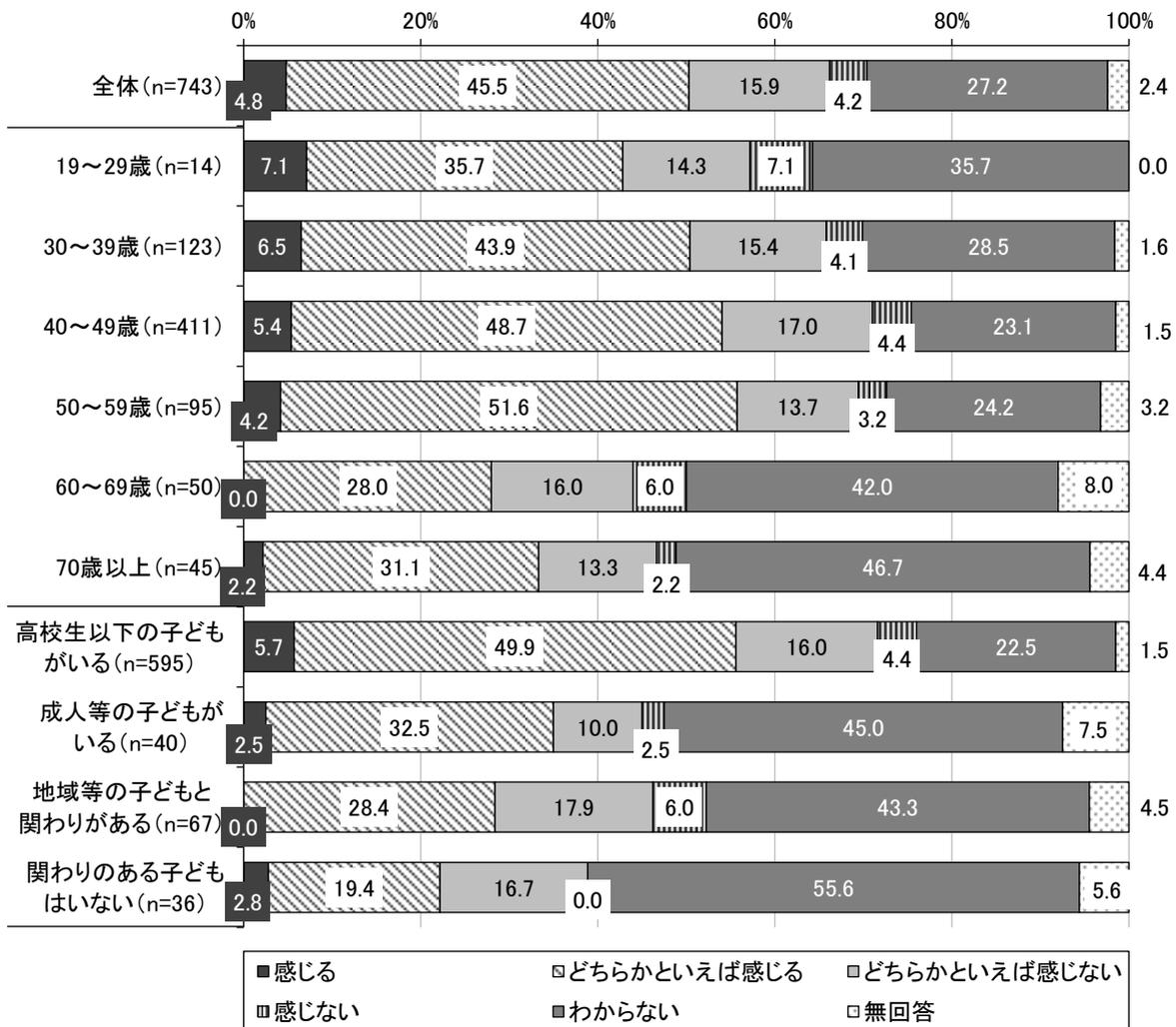
単位：%		匿名で（自分の名前を乗らずに）相談できる	子どもだけでも直接相談できる	何時でも相談できる	電話代などが無料	メール・SNSで相談できる	相談内容の秘密を厳守してくれる	問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる	その他	特になし	無回答
年齢別	19～29歳(n=14)	78.6	85.7	78.6	50.0	71.4	85.7	64.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=123)	67.5	73.2	62.6	51.2	52.0	74.8	68.3	2.4	0.8	0.8
	40～49歳(n=411)	72.5	69.1	55.5	53.3	56.7	80.0	64.2	2.2	1.7	1.2
	50～59歳(n=95)	80.0	73.7	54.7	52.6	54.7	73.7	68.4	0.0	1.1	2.1
	60～69歳(n=50)	58.0	54.0	52.0	42.0	44.0	64.0	54.0	4.0	2.0	8.0
	70歳以上(n=45)	62.2	55.6	53.3	35.6	40.0	68.9	62.2	0.0	2.2	8.9
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる(n=595)	72.4	70.3	56.3	52.9	55.6	78.0	65.2	2.2	1.5	1.3
	成人等の子どもがいる(n=40)	65.0	62.5	55.0	42.5	47.5	70.0	70.0	2.5	2.5	7.5
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある(n=67)	64.2	61.2	61.2	47.8	50.7	71.6	62.7	1.5	0.0	4.5
	関わりのある子どもはいない(n=36)	75.0	69.4	58.3	38.9	44.4	77.8	55.6	0.0	2.8	2.8

問15 あなたは、普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、「どちらかといえば感じる」が45.5%と最も多く、次いで「わからない」が27.2%、「どちらかといえば感じない」が15.9%となっています。また、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”が50.3%と、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の20.1%を30.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で“感じる”が5割台、60歳以上では「わからない」が4割を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

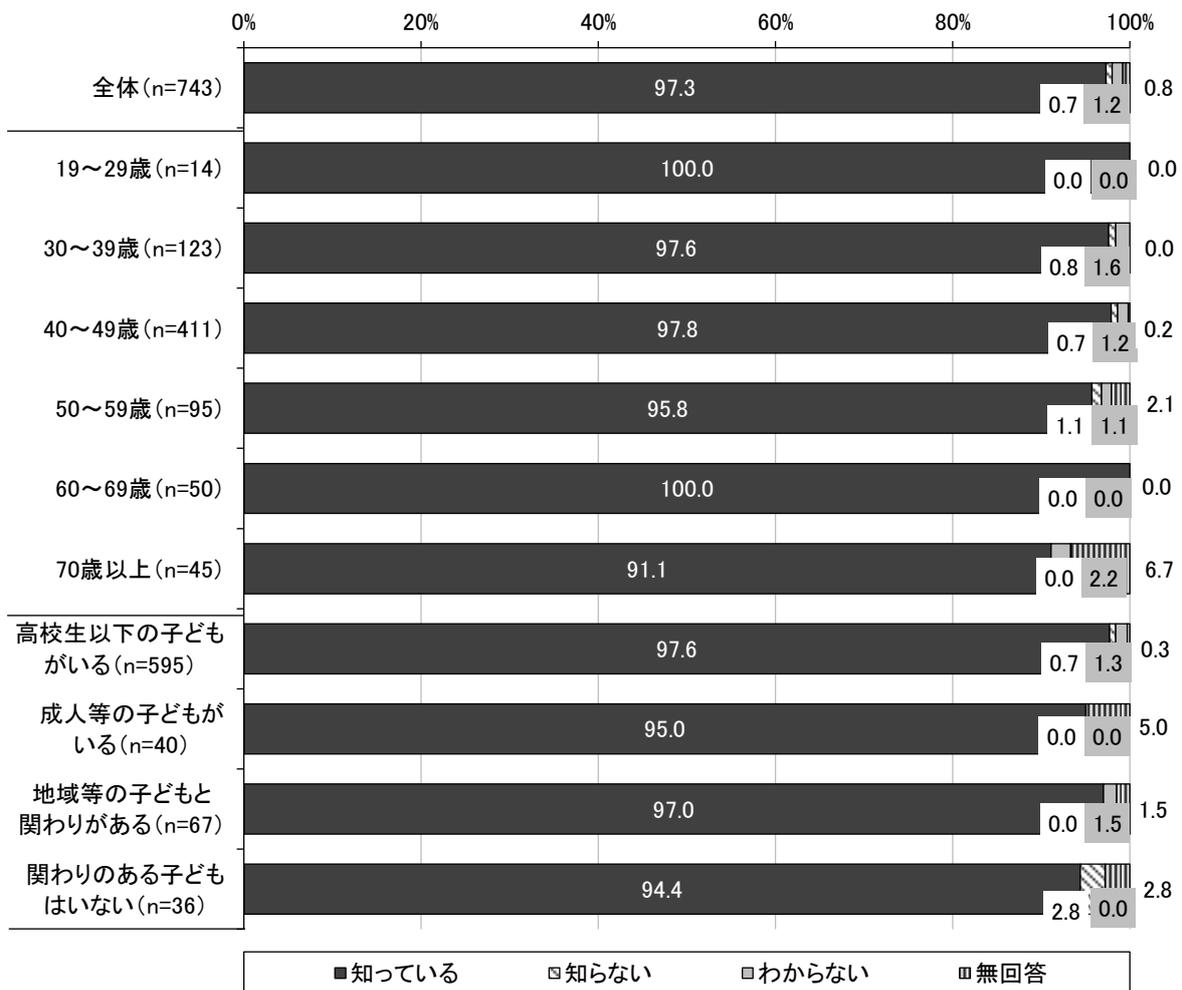
関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では“感じる”が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



民法の一部改正により、令和4（2022）年4月1日から、日本の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。

問16 あなたは、成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っていますか。
（○は1つ）

成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っているかについては、「知っている」が97.3%と最も多く、次いで「わからない」が1.2%、「知らない」が0.7%となっています。
年齢別にみると、大きな差は見られません。
関わりのある子ども別にみると、大きな差は見られません。

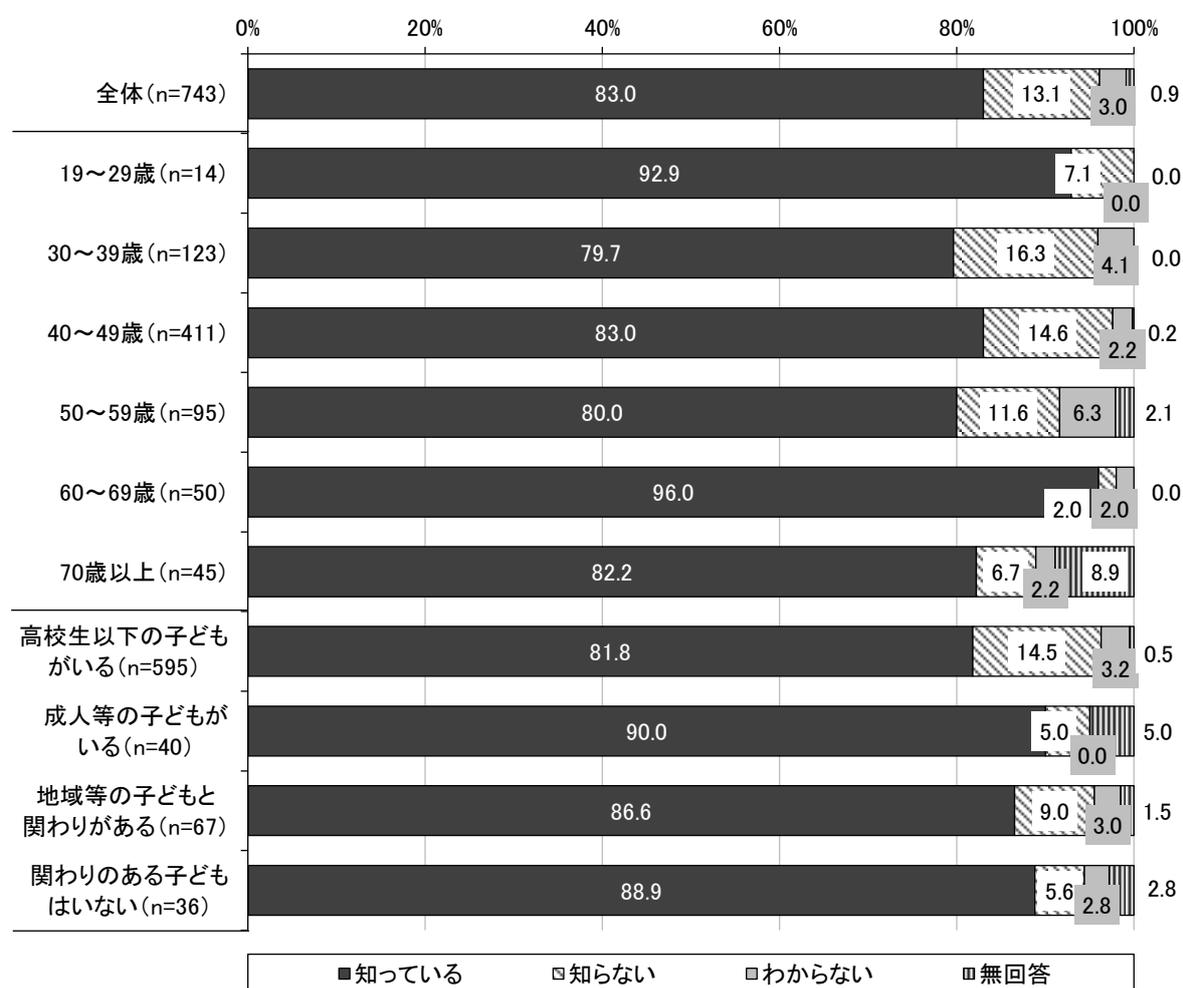


問17 あなたは、成年年齢に達すれば、父母などの同意なく一人で契約できることを知っていますか。(○は1つ)

成年年齢に達すれば、父母などの同意なく一人で契約できることを知っているかについては、「知っている」が83.0%と最も多く、次いで「知らない」が13.1%、「わからない」が3.0%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「知らない」が1割を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では、「知らない」が14.5%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

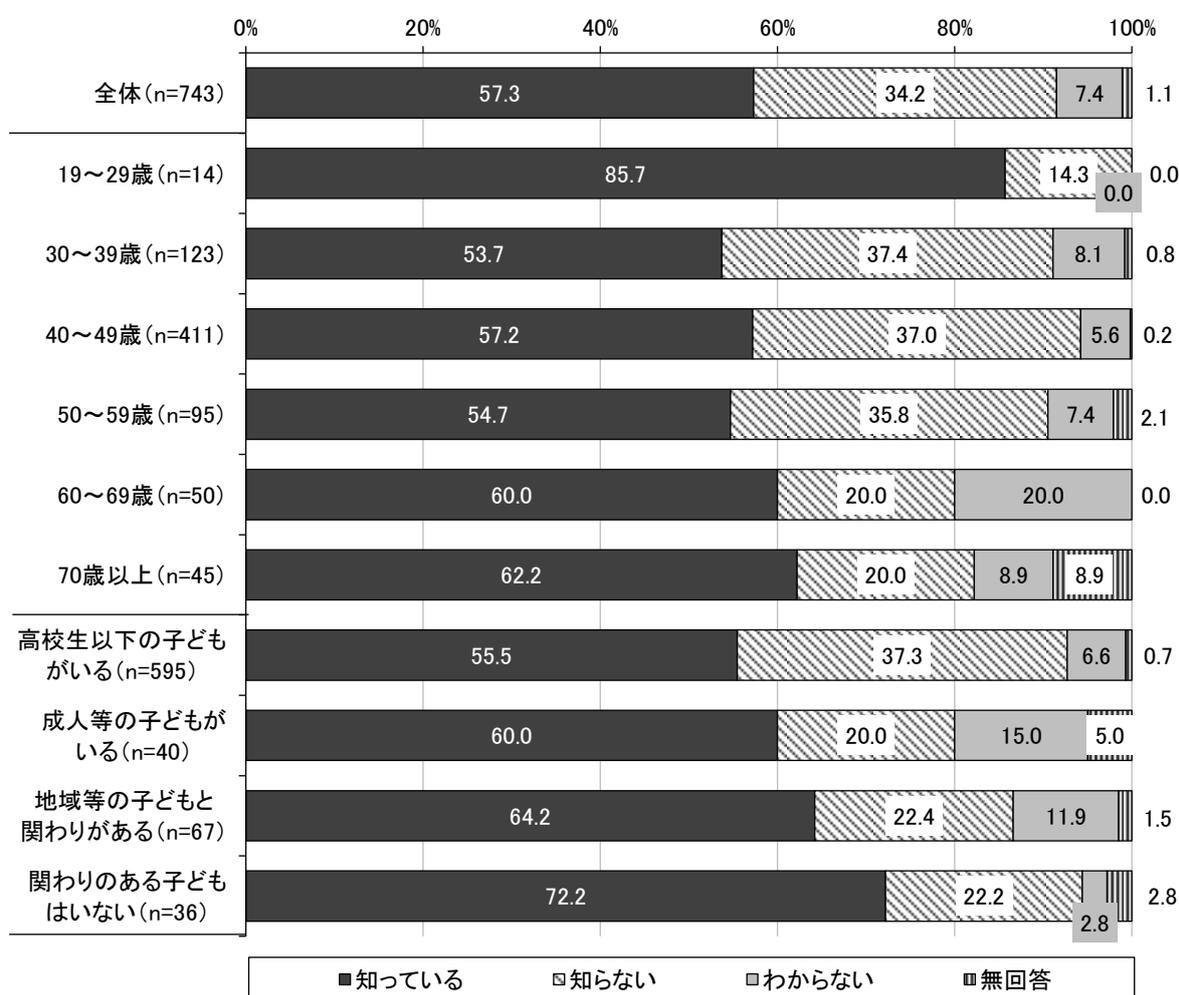


問18 あなたは、成年年齢が18歳に引き下げられた後、18歳、19歳の人が契約した場合は、未成年という理由では取り消せなくなることを知っていますか。(〇は1つ)

成年年齢が18歳に引き下げられた後、18歳、19歳の人が契約した場合は、未成年という理由では取り消せなくなることを知っているかについては、「知っている」が57.3%と最も多く、次いで「知らない」が34.2%、「わからない」が7.4%となっています。

年齢別にみると、30歳以上のいずれの年齢でも「知っている」が「知らない」を上回っています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では、「知らない」が37.3%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

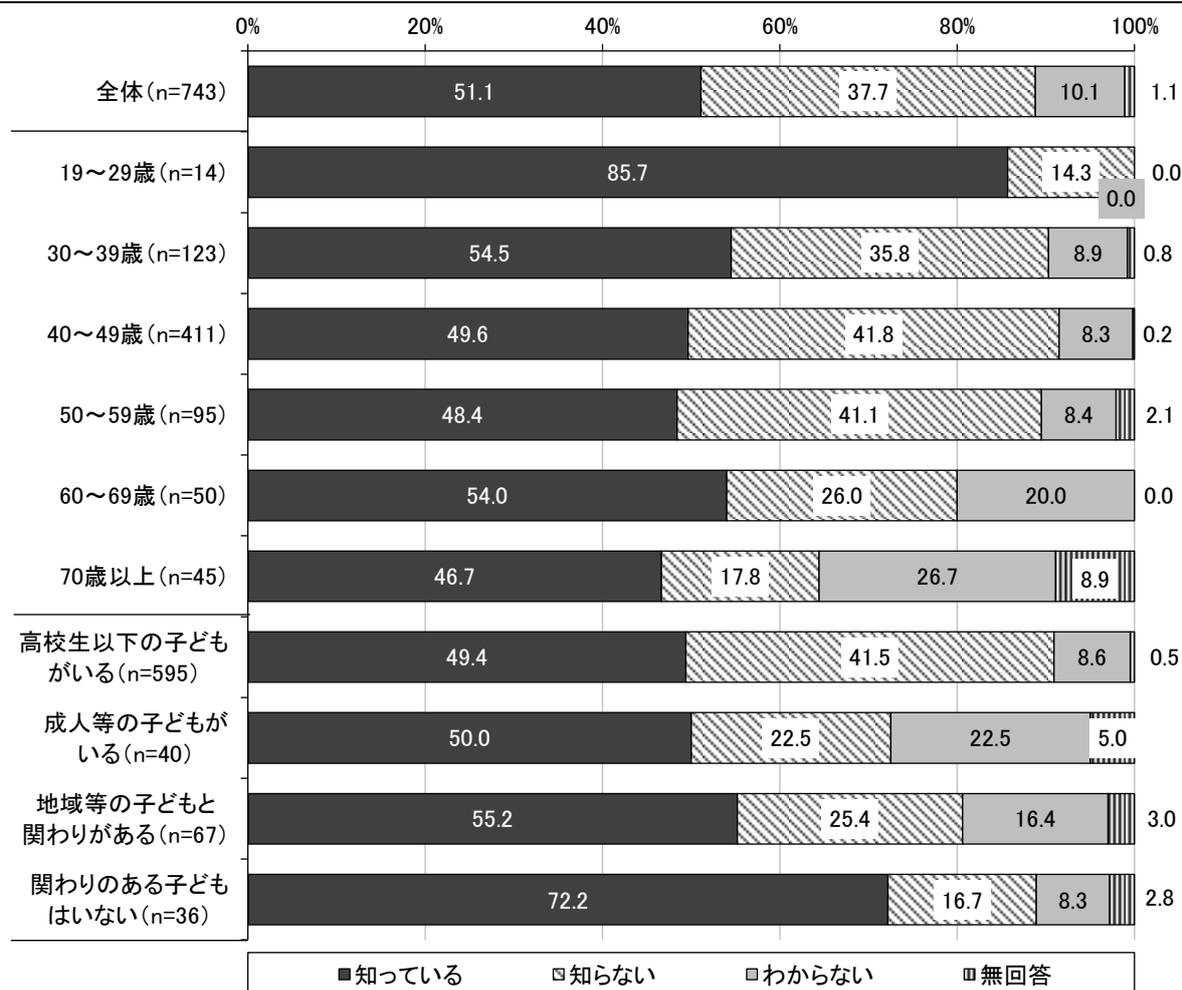


問19 あなたは、成年年齢に達すれば、父母などに従わなくても進学や就職を自分で決められ、財産も管理できることを知っていますか。(○は1つ)

成年年齢に達すれば、父母などに従わなくても進学や就職を自分で決められ、財産も管理できることを知っているかについては、「知っている」が51.1%と最も多く、次いで「知らない」が37.7%、「わからない」が10.1%となっています。

年齢別にみると、30歳以上のいずれの年齢でも「知っている」が「知らない」を上回っています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では、「知らない」が41.5%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



問20 その他、ご意見などがあればご自由にお書きください。

79人の方から、延べ93件のご意見をいただきました。

「学校教育の充実・改善について」が17件と最も多く、次いで「市政・地域での取組について」が16件、「子どもの権利について」が11件となっています。

以下にカテゴリごとに代表的な意見を掲載します。

カテゴリ	件数
学校教育の充実・改善について <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級の先生には、特別支援学級に在籍する子への関わり方など正しい知識や技術を学んでから担当になってもらいたい。 ○1学級当たりの児童・学生の人数を減らし、1クラスに関わる先生の数を増やしてもっとインクルーシブ教育を進めるべきだと思う。 ○給食の黙食をいち早く終えてほしい。 ○各家庭の生活環境によって学力の差や低下が生じている。 ○“責任”という部分を小学生の内から学期に一回ではなく何回も教えて、染み込ませる事が重要。 ○子どもたちにとって親の次に深く関わるのが学校の先生。まずは北本市で勤務する教職員の先生方がしっかり学び、実践して行ってほしい。 ○北本市は、同じ市内にも関わらず、それぞれの小学校の差が大きい。 	17
市政・地域での取組について <ul style="list-style-type: none"> ○現在の状況がどの様になっているのかを多くの市民に周知して、実態を知る事が先で、それによって必要な事をするべきだと思う。 ○民法の一部改正による成年年齢の引き下げについて、広報等に詳しく知らせてほしい。 ○お金に関する教育を受ける場を設けてほしい。 ○多子世帯には手当を支給してほしいです。その家庭の判断で子の出産をしますが、多子世帯になるほど子どもへの生活費や学費がかかります。一人っ子世帯と同じように学力のサポートができるように手当の支給を求めます。 ○北本市はネットの発信が弱い。公式ホームページをもっと見直し、使いやすくし、催し物の案内やスポーツ教養、ボランティアなど、すべてのジャンルを充実し掲載してほしい。 ○相談する窓口がいくつかあって、切羽詰まった子どもがどこに連絡すれば良いかアンケート記入しながら難しいと感じた。 ○北本市は高齢者優先のような感じがする。 ○教育委員会にもっと若いホットな声を取り入れるべきではないか。 	16
子どもの権利について <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの権利条例について広報等に連載し、もっと啓発に努めてほしい。 ○子どもの権利も大切だが、心身の健やかな状態にすることがまずは考えることではないか。 ○教職員のモラルの低下が目立つ。教職員への教育を徹底的にしてほしい。 ○学校等の指導が、従来であり、まったく今時代に沿っていない。人権もなにもないと感じる。市政がもっと介入し、これを正すべきである。 	11

カテゴリ	件数
環境の整備・要望について ○公園で自由に遊べないことにとっても制約を感じる。(ボール遊びなど) ○公園が少ない。 ○子どもたちが夜遅くでも安心して歩けるよう、市内道路の電灯を確認してほしい。 ○中丸小学校の通学路の途中の歩道橋の老朽化が激しく、穴も開いている。大地震があれば崩れそう。補強だけだと不十分だと思う。新しくしてもらいたい。 ○学ぶ機会(大学進学など)を様々な理由(費用面など)で奪わない社会になってほしい。 ○子ども達の通学路歩行者用自転車用と分けてほしい。色々な事件が起きているので防犯カメラの設置をお願いしたい。	9
アンケートについて ○文章が難しすぎてアンケートの内容がよくわからない。 ○子どもに関する子育て支援のアンケートは出来たら今現在子育て中の方にアンケート調査して頂いた方が良いのではないか。 ○アンケートは形式だけでなく、形にしてほしい。	6
相談できる場所の確保について ○もっと身近に子どもの事を相談出来る場所があればと思います。役所の中ではなく、別に場所を設置やLINEで対応など。 ○相談できるところがあるのでありがたく思っている。 ○子どもの相談窓口をもっと有名に気軽に利用できるキャンペーンがほしい。 ○学校とのトラブルを解決しようと幾つかの場所に相談したが、解決されなかった。	5
子どもが意見を言える場の確保について ○十分な訓練や背景知識が無ければ、子どもが意見を物おしせず言う事が出来るのは昔も今も限られた一部の子だけだと思う。それをどのように変えていくかが課題ではないか。	2
その他 ○周りに子どもがいないため回答ができない。 ○私は子どもがいないのであまりいい回答はできないが、将来、自分に子どもができた時のことを想像して回答した。 ○子どもがどの程度知識があって判断しているのかが心配だと思うが、見守ることしか出来ないのが親だと思う。	27
合 計	93